

vol. 2

An alumni association of Osaka Dental University

大阪歯科大学 同窓会報

2019 SUMMER
Special issue



Osaka Dental University
Reunion 2020



表紙のことば

皇居 正門 石橋 伏見櫓を望む
会報200号記念に寄せて、お堀に映る影が「200」とみえませんか。
坂田 秀敏（大 21）

Contents

同窓会報200号記念発刊に寄せて 生駒 等 会長	2
同窓会報200号発刊を祝して 川添堯彬 理事長・学長	3
同窓会設立100周年記念事業	4
平成30・31年度第4回同窓会設立100周年記念事業実行委員会	8
第3回常務理事会・理事会（合同）	9
平成30年度 通常総会	10
2018年度卒業式・2019年度入学式	28
日歯代議員・日歯役員懇談会	33
女性歯科医師支援委員会	38
【学術】がん治療における周術期口腔機能管理の必要性和今後の課題	39
【学術】高精度舌癌高線量率組織内照射～究極の四次元追跡治療～	45
2019年度 ポストグラデュエートコース開催報告	48
支部だより	51
関東支部／石川県／福井県／京都府／奈良県／和歌山県／大阪府／ 兵庫県／岡山県／広島県／島根県・鳥取県合同／香川県／徳島県／ 高知県／福岡県／佐賀県／熊本県／大分県／鹿児島県	
クラス会だより	70
大4／大7／大8／大10／大11／大12／大13／大14／大16／大20／ 大21／大22／大23／大26／大27／大28／大29／大33／大38／大55	
紫媛会だより	93
クラブOB会だより	95
コントラクトブリッジクラブ OB会／ラグビー部 OB会／ 日本拳法部 OB会／仏教青年会／同窓美術展	
会員投稿	104
大阪歯科大学入学試験日程（歯学部・医療保健学部）	116
学位取得者紹介	118
大阪歯科大学公開講座	120
訃報のお知らせ 故 三谷 卓先生	122
編集後記	123
広告	126



同窓会報200号記念 発刊に寄せて

会長
生 駒 等

今年の年頭所感（199号）で申し上げましたように、同窓会は大阪歯科大学の発展に寄与し、歯科医師として社会に貢献し、使命感と気概を持ち、生涯にわたる知識の向上と共に助けあい、人間として互いを高め合う目的で設立されました。

大阪歯科大学同窓会の100年に及ぶ道のりは会報毎号に如実に記されています。本号は、同窓会報が創刊されてから節目の200号になります。その起源は、1926年（大正15年）11月に発刊された「大阪歯科医学専門学校々友会 校友会誌」に遡るが、同窓会誌としての創刊は1954年（昭和29年）9月10日に「大阪歯科大学学報」として発刊されてから1968年（昭和43年）の春号まで「大阪歯科大学校友会報」として年4回発行され、14年間で52冊が発刊されました。

1968年（昭和43年）4月に「校友会」から「同窓会」と改称されたことにより、7月に発刊された53号（夏号）からは「大阪歯科大学同窓会報」と題字も変わり、1980年（昭和55年）10月発刊時に100号を、それから39年を経て200号にいたりました。この間、会報編集に携わられた関係者各位に心より敬意を表しますと共に感謝を申し上げます。

同窓会報は、大学、同窓会の歴史・伝統を紡いでゆくものであり、大学の校風を確立するための大切な財産であるといえます。同時に大学と同窓会の情報などを発信して、今日まで16,000人を越える同窓に強い母校愛を培ってきた誇りを忘れることなく、今後も輝かしい姿を見せてほしいと思います。

来年、同窓会は同窓会設立100周年を迎えます。同窓会報200号の発刊が、新たな時代に向けた記念号になるという偶然も何かの縁だと感じます。

同窓会設立100周年大会を「感謝 そして 新時代への挑戦」をテーマとして、2020年（令和2年）10月24日に大阪リーガロイヤルホテルで開催いたしますが、先師先人に感謝の誠を表し、後輩にエールを贈る「大歯魂」溢れる厳粛な大会にしたいと準備を進めております。

「而今」という禅の言葉があります。

人生には「今」というこの時しかありません。

「一瞬一瞬が勝負の時という自覚を持って生きよ。」という教えです。

その時は、突然来るものではありません。

「今がその時、その時が今と自覚を持って日々をつとめきる。」ことと説いています。

皆様、「その時どう動く」ではなく、「今がその時」です。

最後になりましたが、同窓会報の今後の展望に期待をするとともに、会報により会員の絆がより一層深まることを願い200号発刊のご挨拶といたします。

同窓会報200号 発刊を祝して

大阪歯科大学理事長・学長
川 添 堯 彬



2020(令和2)年に本学の同窓会が設立100周年を迎えることは、母校大阪歯科大学にとりましてもこの上ない慶事と感じております。

生駒等現同窓会長も、常々16,000人を超える全卒業生のお力の賜に他ならないと、くり返し感謝のことばを申しております。

さらに加えてこの同窓会設立100周年の節目の時に、同窓会報が200号を発刊される運びとなったことは、単に記念の時が2つ揃った、あるいは重なったという喜びにとどまらない大きな力の蓄積と達成を、私は感じております。

大学と同窓会はいつの時にも未来に向かって共通認識の上に立ち、正しく車の両輪となって進む必要があることは言うまでもありません。

長い道程には、苦しい時もあるだろうが「vision & work hard (使命と切磋琢磨)」との心意気を同じくして続ければ、必ず目指すものが成就するに違いありません。

同窓会の記念日は、時を待てば必ず到来するかも知れませんが、同窓会報の発刊は、コツコツと続ける努力なしには、次の300号記念号、400号記念号の実現はできないかも知れません。

決して途絶えさせることのない永続に満腔からの希望をわが生ある限り持ち続けます。

重ねて、これまでの永続に対し努力を傾倒された同輩方々に最大の敬意を払います。

令和元年 夏

同窓会設立100周年記念事業

◆事前申込み状況

現在、1,234名の会員申込み（入金済）があります。また、以下の各支部においては、「全員登録」をすることを総会などで決議されていますので、支部登録されている会費のご入金が完了すれば、現状でも約3,400名の先生方に登録をしていただけたことになります。

まだ登録がお済でない先生は、是非ご登録をお願いいたします。

全員登録支部（2019年8月10日現在）

静岡県支部、愛知県支部、三重県支部、富山県支部、石川県支部、福井県支部、京都府支部、奈良県支部、和歌山県支部、兵庫県支部、岡山県支部、広島県支部、山口県支部、鳥取県支部、島根県支部、香川県支部、徳島県支部、愛媛県支部、福岡県支部、佐賀県支部、長崎県支部、熊本県支部、大分県支部、宮崎県支部、鹿児島県支部

全員登録クラス会（2019年8月10日現在）

庚申会（大28）

◆災害見舞準備積立金の創設

我が国において、平成21年から平成30年の間にマグニチュード3以上の地震が3,611回発生しています。単純計算で一日1回は、マグニチュード3以上の地震が日本のどこかで発生している計算になります。また、令和に入ってからこの3ヶ月で、マグニチュード3以上の地震が40回以上発生しております。

日本の国土の面積は、全世界の0.28%ですが、活火山の7%が日本にあり、世界中で発生したマグニチュード6以上の地震の20%が日本で発生しています。

地球温暖化の影響もあり、日本は諸外国に比較べ台風、大雨、洪水、土砂災害など自然災害が発生しやすい国であるといえます。地球温暖化のこともあり、今後も災害が発生しやすい状況にあります。

大阪歯科大学同窓会では、このような状況を踏まえ、同窓会の大きな底力を発揮して今後発生するであろう大規模災害に対し、会員の団結と絆で、同窓が助け合い、力を合わせることで乗り越えていきたいという思いから100周年記念事業のひとつとして災害見舞準備積立金を創設することとしました。

何卒趣旨をご理解賜り、会員諸氏の絶大なるご協力をお願いするものです。

目標額 30,000,000円

◇天神祭り（船渡御乗船）のご案内

100周年記念事業のひとつとして、天神祭りで行われる船渡御乗船を計画いたしましたのでご案内します。

天神祭は、東京の神田祭、京都の祇園祭とともに日本三大祭のひとつで、1000年以上の歴史があるお祭りです。天神祭の最大の盛り上がりは25日に行われる「陸渡御」と「船渡御」ですが、中でも約100隻の船が大阪歯科大学天満橋学舎前の大川を行きかう「船渡御」は天神祭りの代表的な光景です。また、大川縁では約5,000発もの奉納花火が目の前で打ち上がり、夜空を舞う光景は幻想的であり迫力満点です。

「奉拝船」を一艘貸し切りにしていますので、気兼ねなくご乗船いただけます。船上で食事をしながらお酒を飲み、行きかう「奉拝船」や橋上の行きかう人達と手打ち（大阪締め）を交わしたりの約3時間、川面の風を感じながら真夏の夜の一時を楽しんでお過ごしいただければどうでしょうか。

なお、参加費、申込み方法などについては、現在協議中ですので決まり次第ご案内しますが、ご家族の方のご参加も歓迎しますので是非ご参加ください。楽しい一夜になることは間違いありません。ご参加お待ち申し上げます。



開催日 2020年7月25日（土）18時から約3時間（集合17時）

会場 大川界限

乗船場所 飛翔橋東側（大阪市都島区）

募集人員 180名

◇記念ゴルフ大会

《開催日時・実施会場が決定 募集要項は決まり次第、案内 !!》

記念事業のひとつである100周年記念ゴルフ大会の開催日並びに会場が決定いたしましたのでお知らせします。

ゴールデンウィークの真っ只中ですが、奮ってご参加いただきますようよろしくお願いいたします。なお、参加費、申込み方法及び宿泊などについては、決まり次第ご案内します。

開催日 2020年5月5日（火・祝）

ゴルフ場 伏尾ゴルフ倶楽部（大阪府池田市）

募集人員 160名

プレイ費 20,000円（昼食代、ワンドリンク込み）

参加費 5,000円



◇クラス会開催会場のご手配

各クラス会では、100周年記念大会にあわせて記念事業とは別に個別のクラス会開催が計画されています。

事務局では、当日の記念大会会場となるリーガロイヤルホテルに、記念大会とは別の会場をリザーブしております。

大会当日にクラス会の開催を予定されているクラスなどがありましたら、ご相談に応じていただけますので以下の担当者まで直接ご連絡ください。

<お問合せ先>

株式会社ロイヤルホテル 大阪営業一部 奥 蘭 学

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68

直通 TEL : 06 (6448) 3431 FAX : 06 (6448) 3921

◇100周年記念誌掲載原稿の提出状況

支 部（ブロック含む）

<提出済>

北海道支部	東 北 支 部	関 東 支 部	静岡県支部	愛知県支部
岐阜県支部	三重県支部	富山県支部	石川県支部	福井県支部
京都府支部	奈良県支部	和歌山県支部	大阪府支部	兵庫県支部
岡山県支部	広島県支部	山口県支部	鳥取県支部	島根県支部
香川県支部	徳島県支部	愛媛県支部	高知県支部	佐賀県支部
長崎県支部	熊本県支部	大分県支部	宮崎県支部	鹿児島県支部

<未提出>

新潟県支部	長野県支部	滋賀県支部	福岡県支部	沖縄県支部
四国ブロック	中国ブロック	九州ブロック		

*未提出支部については、至急原稿をご提出ください。

クラス会

<提出済>

専 28	専 30	大 3	大 4	大 5	大 6	大 8	大 9	大 10	大 12
大 13	大 14	大 15	大 16	大 17	大 18	大 19	大 20	大 21	大 22
大 23	大 25	大 26	大 27	大 28	大 30	大 31	大 32	大 38	大 40
大 43	大 47	大 52	大 55	大 56	大 59	大 61			

<未提出>

専 29	専 31	専 32	大 1	大 2	大 7	大 11	大 24	大 29	大 33
大 34	大 35	大 36	大 37	大 39	大 41	大 42	大 44	大 45	大 46
大 48	大 49	大 50	大 51	大 53	大 54	大 57	大 58	大 60	大 62
大 63	大 64	大 65	大 66	大 67					

*未提出クラス会については、至急原稿をご提出ください。

*専門 27 回以前のクラス会は、代表者が不在ですので原稿依頼ができていません。

ご寄稿いただける先生が居られましたら事務局までご連絡ください。

クラブOB会

クラブOB会については、同窓会でも掲載クラブの全体が括めていませんので、記載漏れの場合があります。記念誌に掲載を希望されるクラブOB会は、廃止クラブを含めご連絡いただければ掲載したいと考えています。以下に記載されていないクラブOB会の関係者の先生方は、是非同窓会事務局までご連絡ください。

<提出済>

柔道部	空手道部	日本拳法部	剣道部
準硬式野球部	ラグビー部	サッカー部	アイスホッケー部
ハンドボール部	硬式野球部	ワンダーフォーゲル部	バドミントン部
洋弓部	ヨット部	ゴルフ部	陸上競技部
スキー部	バレーボール部	バスケットボール部	漕艇部
軟式庭球部	相撲部	仏教青年会	救ライ奉仕団
コントラクトブリッジ			

<未提出>

卓球部	弓道部	硬式庭球部	山岳部
ボウリング部	ボクシング部		

* 未提出クラブOB会については、至急原稿をご提出ください。

* 文芸系クラブOB会は、OB会の有無が判らないこともあり正式な原稿依頼ができていません。調査の上、ご依頼をさせていただきますが、ご寄稿いただけるOB会がございましたら事務局までご連絡ください。

記念バッチ



大会ロゴマークのバッチ（胸章）を作成しました。
事前申込みしていただいた方には、各支部を通じてお渡しします。

平成30・31年度第4回同窓会設立100周年記念事業実行委員会



記念事業に関し、活発な意見交換

平成31年4月27日（土）母校天満橋学舎の会員研修室において、第4回同窓会設立100周年記念事業実行委員会を開催し、事前登録の拡大や記念事業について審議された。

具体的な進展はなかったが、各支部において全員登録の機運が高まっていることが報告され、引き続き協力をお願いしていくことになる。また、事前登録拡大のために、プロモーションビデオの作成、最新情報はホームページで情報提供し、合わせて事前登録状況を逐次お知らせすることになった。

記念誌編纂委員会からは、ドラフト版が提示され委員の意見を伺った。各支部、各クラス会及び各クラブOB会などに原稿依頼をしているが、提出期限を過ぎても未提出のところも多くあり、委員へも原稿提出に向けた協力方、依頼があった。

記念事業としては、1) 学術講演会の開催 2) 天神祭（船渡御乗船） 3) 記念ゴルフ大会 4) 記念DVDの製作 5) 100周年記念誌の発行 6) 災害見舞金準備積立金（仮称）の創設 7) ピンバッチの製作 8) 美術部展覧会、写真展などについて活発な意見が出された。また、継続して協議していく必要があることから次回（8/28）の開催を決定して閉会した。

第3回常務理事会・理事会（合同）

第3回常務理事会・理事会（合同）が、平成31年2月23日（土）午後2時より大阪歯科大学創立100周年記念館（大講義室）において、平成30年度通常総会に先立ち開催された。

会議は、大塚俊裕常務理事の司会で進行。冒頭、生駒等会長が挨拶し、同窓会100周年記念大会を契機に、同窓会の抱える諸々の問題の解決に向けた取り組みを進めていきたいとし、100年というひとつの区切りを迎えて、次世代に向けて先生方の忌憚のないご意見を頂戴したいと語られた。

第3回常務理事会・理事会（合同）議事日程

日時 2019年2月23日（土）午後2時

場所 大阪歯科大学 創立100周年記念館 4階大講義室

司 会 常務理事 大塚 俊裕

次第

挨拶 会長 生駒 等
議長 副会長 久富 昭宏

議事録署名人

大36 北村 浩之、大38 小林 裕則

報 告

会務報告 専務理事 恩田 信雄
学内報告 副会長 今井 弘一

協 議

1. 平成30年度収支決算（中間）について
2. 2019年度事業計画（案）について
3. 2019年度収支予算（案）について
4. 2019年度臨時総会並びに理事・支部会長・クラス会代表者合同会議の開催について
5. 会費免除について
6. 同窓会設立100周年記念大会について
7. その他





生駒会長挨拶

揺るぎない「大歯魂」は炎の如く!! 強い絆は無限の可能性を秘める!!

平成30年度 通常総会

平成30年度の通常総会は、平成31年2月23日(土) 創立100周年記念会館4階大講義室において、常務理事会・理事会(合同)に引き続き開催された。

早春の穏やかな日和大阪に、全国から多くの先生方が集われた。

生駒会長は、今年度の各支部行脚の際、各所で得られた意見をできる限り汲み取り、反映させると述べられた。また、若い世代への発信が、些か疎かになっていたことを顧みて同窓会100周年記念大会に向け、さらなる発信の強化に取り組む姿勢を述べられた。他方、会員高齢化を踏まえて、「会費免除」の規約についての質疑もなされた。

会務報告、学内報告、日歯・日歯連盟の報告もなされ、提出された議案は協議の結果すべて可決され総会は終了した。

通常総会日程

日時：2019年2月23日（土）午後3時

場所：大阪歯科大学創立100周年記念館

4階大講義室

司会 常務理事 大塚 俊裕

次第

開会のことば 副会長 岡本 学

挨拶 会長 生駒 等

来賓挨拶 大阪歯科大学

理事・学長 川添 堯彬

議長 副会長 久富 明宏

議事録署名人

大9 岸 直樹、大25 阿部 直樹

報告

会務報告 専務理事 恩田 信雄

学内報告 副会長 今井 弘一

日歯報告 専務理事 恩田 信雄

日歯連盟報告 専務理事 恩田 信雄

議案

第1号議案 平成30年度収支決算（中間）について

第2号議案 2019年度事業計画（案）について

第3号議案 2019年度収支予算（案）について

第4号議案 その他

閉会のことば 副会長 和手 甚京



開会のことば：岡本副会長



議長：久富副会長



会務報告・日歯報告・日歯連盟報告：
恩田専務理事



収支報告：加藤副会長



学内報告：今井副会長



閉会のことば：和手副会長



司会：大塚常務理事



生駒 等 会長挨拶

皆さん、こんにちは。本日は、全国からお集まり頂きまして本当に有難うございます。

さて、先ほど理事会におきまして、先生方から貴重なご意見を頂戴致しました。今後の会務運営に生かしていきたいと思ひます。

来年、同窓会設立100周年を迎えます。やはり一番は、いつも申しておりますように大阪歯科大学を卒業したことに誇りを持つということですね。今日、先生方がこの会場に入ってきて、「オッ!」「オッ!」と和やかに挨拶をしておられるお姿をみて、改めてこれが大阪歯科大学同窓会だと思ひました。記念大会に3,000名が一堂に会すれば、大阪歯科大学同窓会の団結は凄いなと感じて頂けると思ひます。しっかりと3,000名を集めて開催したいと思ひています。皆様方には全員登録をお願いしているところですが、既に次々と各支部においては、全員登録をして頂いています。本当に心からなるご協力に感謝いたしております。

先生方は、歯科医師になるという初志を完遂され、その経験というものを伝えていかなければなりません。多少伝え方がおろそかになった部分があつて、若干、若い先生方の同窓会への参加が進

んでいない部分があるかと思ひますが、この記念大会を契機に、クラスとしてまとめ、同窓会との関係を強固なものとしていけたらと考えていますので、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今日は重要な案件を上程していますので、どうぞよろしくお願い致します。



川添堯彬
理事長・学長挨拶

全国同窓会の役員の先生方、大阪にお集まり頂きまして本当に嬉しく思っています。私自身はこの1年、或いはかれこれ2年近くになるかも分かりませんが、全国の先生方、お知り合いの方にお詫びのしようがないほどご無沙汰している次第です。色々な会議が東京の方でもありまして、どうしても全てのところでご無沙汰しております。加えて私の同級の先生方の訃報を各支部で聞くに及んでは、私に元気が残っている間に、できるだけ



全国支部周りをしたいと思っています。

同窓会設立100周年記念大会が、元号が変わった中で来年10月24日にリーガロイヤルホテルで3,000人が集まって開催されます。これには少しでも協力したいという思いで頑張っています。同窓会と大学が、何のわだかまりもなく続いているのが珍しいと思われるほど生駒会長と仲良くやっております。

大学の教学の現況をこの貴重な時間をお借りしまして、若干の未来予測も含めてお話したいのですが、時間の都合で、かいつまんで変化が起こっているところをご報告申し上げたいと思います。

現在、大学では入試の真ただ中で、前期の推薦入試を発表して、3月から後期の入試が始まるところです。前期と後期、また推薦共に昨年よりもかなり入学志願者が増えています。これは非常に嬉しいことです。全国的にみると入学志願者は若干伸び悩んでいます。18歳人口の減少が影響していると思っています。そういう中であって本学は、前期を発表した時点では、何と倍率が4.92倍という数値であります。これから国公立医学部の発表などがあって少し減ってくるかと思いますが、目標はとにかく2倍以上でないと、大学の存在価値がないとまで言われます。本学の現在の目標は3倍以上としています。

次に、第112回の国試が2月3日に終わりました。新聞やメディアでは、今年も昨年に比べてかなり難しかったといわれていますが、特に必修問題は昨年より難解になっているようなので、全体の合格率はかなり下がるだろうという予測がされています。本学は昨年82.2%の合格率でしたが、今年も80%以上の合格率はほぼ間違いのないと思っています。発表は3月18日（月）午後3時です。

とにかく入学志願者人員と国家試験の合格率、これが色々なところへ影響してまいります。そのためか本学は受験生の出身を見えますと、近年、本学の同郷の方の受験生が、以前のように復活して増えてきている傾向があります。それだけに私立の中ではベスト3以内の合格率を常に確保することが望まれます。

もう1つ、牧野学舎を大幅に改築して3年になりますが、そこに医療保健学部という4年制の大学をつくりました。2つの学科があり、1つは歯科衛生士を養成する口腔保健学科、もう1つは歯科技工士を養成する口腔工学科です。それに加えて2年制の大学院修士課程を今年中に認可予定です。博士課程まで設けて認可を受けるつもりです。大学院までつくって志願者があるのかと言われる声や、キャリアの就職先があるのかと言われる声



に、開業医さんが雇ってくれるのかと言われることに対しまして、このように考えています。今、高知県で専門職大学としてリハビリテーション学部4年制が唯一認可されました。これから次々と看護師とか医療保健関係などの専門職に関連する学校がどんどん出てくると思われます。専門学校も短大、四大、大学院も頭に「専門職」が付くようになってと思います。1年前に国会で通ったばかりで、急だったので申請する資格というか、それが間に合いませんでした。100人以上の定員でも却下されていますし、高知県の4年制のリハビリテーション専門職大学だけが認可されました。今年の秋には多くの認可がおりるようで、また来年も多くなると思います。モード学園が大量に申請しています。歯科衛生士の方は非常に志願者が多くなると思われます。認可の時に一番ネックになるのは教員が見つからない、教える教員が見つからないことです。そこへもってきて、例えば大学の4年制を卒業した人がすぐに助教として採用される。それは文科省の基準にもありますので、開業医での採用は勿論、就職に困ることはないと思っています。

もう1つは、医学部の方に歯科医師と同時に歯科衛生士を多数雇用する傾向が出ています。これは地域包括ケアも関連し、歯科医師と歯科衛生士がチームになってやってもらわないと、術前・術後で歴然の差が出てくるということが分かっています。しかし今、歯科衛生士が複数いる医学部、歯科医師が複数いる医学部というのは僅か21%、79%がまだ医師と看護師の現状です。ST、言語聴覚士が医学部にはいますが、歯科衛生士を10人以上も同時に雇用するようになります。ただでさえ歯科衛生士が足りていないのに、医学部で多くの歯科衛生士を雇いだすと、当分歯科衛生士の不足が続くと思います。

もう1つ、日本では18歳人口が減ってまいります。年々歯学部も減るし、医療保健学部も減ってくるのは止むを得ないと思っております。でも本学ではアジア諸国からの留学生、特に中国から多くの希望者があります。次に台湾から日本人と同じ授業料を払って、大学院に入りたいという人が増えています。何と内モンゴルからも看護師、

歯科衛生士、歯科技工士の大学院に入りたいということです。本学は、当分定員割れはないかと考えている次第です。

申し上げたいのは、歯科衛生士の不足の中で、10年たっても一人前にならないかもしれない。そこで復職支援とか離職防止支援ということに力を入れています。学校の中の学校、スクールインスクールということで、国・私立の大学数校も申請しましたが、惜しくも却下され、東京医科歯科大学と大阪歯科大学の2校だけが認可になりました。附属病院内に歯科衛生士研修センターという場所をつくりまして、厚生労働省から1億円弱の補助金を頂いて、そこに最新型の設備を入れました。50歳以上の方、20年前に歯科衛生士の資格を取ったけれど、子供の手も離れたので復職したいという方などが20万人ほどいらっしゃいます。20万人の方々に勇気づけるためにもう一度学び直しをするという、それを無料で学べるということで、厚生労働省から補助金を頂きました。3ヵ月トレーニングして、1ヵ月休んで、また3ヵ月授業をして、また休むということで年間3クール実施します。

しかし国の方も、1億円では焼け石に水なので5年くらいしか補助金を頂けないようで、本学が一番良い時期に満額を頂けたわけです。この新しい学校を全国から見学に来られています。また、専門学校を出たばかりで就職したけれど仕事が分からないという方の離職を防止するカリキュラムも組んでいます。

こういう形で現在大忙しで、新たな学校作りの中で奔走しているところです。全国の同窓の先生方に来て頂いて、少しでもお助け頂ければ有難いと思っている次第でございます。

本日は貴重な時間を長々とお話をさせて頂きました。本日お集まり頂いた先生方にご理解を頂きたいと思っております。有難うございました。

会務報告

1. 会員数 6,819名（免除者106名、物故者159名を含む）

2. 役員交代

（クラス会代表者）

クラス	新 任	前 任
大25	秋山 淳司	田幡 純
大33	加藤大太郎	萩野 健雄
大56	北埜 亮	足立 淳

3. 褒章、叙勲

褒章（平成30年秋期）

卒 回	氏 名	功 績	支 部
大28	佐藤 修斎	藍綬褒章	徳島県支部

叙勲（平成30年秋期）

卒 回	氏 名	功 績	支 部
大20	山科 透	旭日中綬章	広島県支部
大20	山本 馨	旭日小綬章	福井県支部
大16	生駒 等	旭日双光章	大阪府支部
大19	塩見 聰	旭日双光章	兵庫県支部
大20	徳富 敏信	旭日双光章	長崎県支部
大14	海堀 昭彦	瑞宝双光章	和歌山県支部

4. 大阪歯科大学同窓会設立100周年記念事業

・寄付金

大学16回（天章会） 500,000 円

大学19回（一九会） 100,000 円

大学21回（咬龍会） 2,000,000 円

5. 罹災見舞金の支給

・大阪北部地震（6月18日）に伴う被害

大10 山仲一暢（大阪府）

大11 向井隆子（大阪府）

大30 北村 理（大阪府）

・西日本豪雨（6月28日）に伴う被害

大16 米田征司（愛媛県）

大20 前田芳久（高知県）

大31 小野 隆（大分県）

大38 畦平智友美（岡山県）

大66 水川弘規（岡山県支部）

・北海道地震（9月6日）に伴う被害

大14 榊 隆（北海道）

大14 由川 一（北海道）

6. 役員出張（平成30年度臨時総会資料より続く）

開催日	会 合 名	場 所	役 員
9月30日(日)	中道雄司先生藍綬褒章受章記念 祝賀会	神戸ポートピアホテル	祝電
10月6日(土)	みずほの会	金鍋	会長、徳富副会長、 専務、大塚常務、四元 理事、近藤支部会長
10月8日 (月・祝)	甲寅会（大22）クラス会	新神戸ANAクラウンプラザ ホテル	和手副会長
10月13日(土)	青松会	K K Rホテル大阪	祝電
10月14日(日)	三重県同窓会会員大会	ホテルグリーンパーク津	会長、大塚常務
〃	滋賀県同窓会総会・懇親会	琵琶湖ホテル	三谷名誉会長、会長、 大塚常務
10月20日(土)	みとわ会（専30）懇親会	河久	会長
〃	鳥取県支部総会	鳥取ワシントンホテルプラザ	松三副会長、専務
〃	とわ会（大18）総会・懇親会	皇家龍鳳	会長
〃	一九会（大19）総会	プラザ14	会長

開催日	会 合 名	場 所	役 員
10月21日(日)	小正教授、大浦教授退職祝賀会 (大23クラス会)	プラザ14	祝電
10月27日(土)	九州ブロック会総会 (佐賀県)	楊柳亭	会長、専務、大塚常務
10月28日(日)	高橋一也教授就任記念祝賀会	リーガロイヤルホテル	会長
10月31日(水)	六歯科大学歯学部校友会同窓会 懇談会	ホテルグランドパレス	会長、専務、加藤常務、 大塚常務、梅垣理事
11月 3日(土)	富永和也教授就任記念祝賀会	リバースイーツ大阪	会長
11月10日(土)	天章会 (大16) 50周年記念総会・ 祝賀会	リーガロイヤルホテル	会長
"	山口県支部総会	ホテルニュータナカ	松三副会長、専務
11月11日(日)	大阪歯科学会・同窓会学術研修会	大阪歯科大学創立100周年 記念館	役員
"	愛知県支部総会、懇親会	名古屋ガーデンパレス	会長、専務
11月17日(土)	錦会 (大24) クラス会	森の栖 (山代温泉)	扇谷副会長
12月1日(土)	岡山県支部総会・中国地区 役員連絡協議会	ホテルグランヴィア岡山	会長
"	石川県支部総会	和倉温泉	専務、大塚常務
2019年 1月20日(日)	東京医科歯科大学同窓会 新年名刺交換会	ホテルメトロポリタン	杉田関東支部会長、 西嶋関東支部理事
1月27日(日)	徳富敏信先生受章祝賀会	ホテルオークラ JR ハウステンボス	会長、専務

7. 会議一覧 (平成30年度臨時総会資料より続く)

開 催 日	会 議 (場 所)	協 議 題
11月7日(水)	第3回ポストグラデュエート コース委員会 (梅垣歯科診療所)	1. 平成31年度ポストグラデュエートコースプログラムについて 2. ポストグラデュエートコース委員会の会計責任者の選任について 3. その他
12月13日(木)	女性歯科医師支援委員会 (天満橋学舎)	1. 委員長の選出について 2. 事業運営について 3. その他
12月15日(土)	第1回福祉部会 (天満橋学舎)	1. 部長、副部長の選出について 2. 大規模災害への対応について 3. その他
	第3回同窓会設立100周年 記念事業実行委員会 (天満橋学舎)	1. 事前登録について 2. 関連事業について 1) 学術講演会 2) 天神祭 (船渡御) 3) 記念ゴルフ大会 4) 記念DVDの製作 5) その他 3. ホームページの開設について 4. 同窓会災害見舞金 (仮称) について 5. その他
12月20日(木)	第1回編集部会 (天満橋学舎)	1. 同窓会報 (2019年冬号199号) について 2. 同窓会報 (2019年夏号200号) 記念号について 3. その他

開 催 日	会 議 (場 所)	協 議 題
2019年 1月17日(木)	第2回会計部会 (天満橋学舎)	1. 平成30年度収支中間決算について 2. 2019年度事業計画(案)について 3. 2019年度収支予算(案)について 4. その他
2月23日(土)	第2回学術部会 (創立100周年記念館)	1. 2019年度学術事業について 2. その他
	第2回福祉部会 (創立100周年記念館)	1. 同窓会災害見舞金基金(仮称)について 2. その他
	第3回正・副会長打合せ会 (天満橋学舎)	1. 常務理事会・理事会(合同)及び通常総会の報告並びに 議案について 2. その他
	第3回常務理事会・理事会 (合同) (創立100周年記念館)	1. 平成30年度収支決算(中間)について 2. 2019年度事業計画(案)について 3. 2019年度収支予算(案)について 4. 会費免除について 5. その他
	平成30年度通常総会 (創立100周年記念館)	第1号議案 平成30年度収支決算(中間)について 第2号議案 2019年度事業計画(案)について 第3号議案 2019年度収支予算(案)について 第4号議案 その他
	第3回同窓会設立100周年 記念誌編纂委員会 (創立100周年記念館)	1. 記念誌掲載内容について 2. 原稿依頼の進捗について 3. その他

8. 各部報告

【編 集 部】

会報 199号 2019年1月25日 発行

【学 術 部】

日 時：平成30年11月11日(日) 午後1時～午後3時

場 所：大阪歯科大学創立100周年記念館 大講義室

演 題：「最新医療を学ば一切らずに治す放射線治療」

講 師：手島昭樹先生(大阪国際がんセンター放射線腫瘍科 主任部長)

参加者：同窓会関係34名、学会関係者27名(院生12名含む)、その他6名

【ポストグラデュエートコース委員会】(平成30年度臨時総会資料より続く)

開催日	テ ー マ	講 師	受講者(募集)
7月8日(日)	安心・安全なインプラント治療を実践するために ～インプラント治療の材料から手技までの知識を アップデートしませんか～	寺本 昌司	20名(40名)
10月28日(日)	歯科用 CAD/CAM テクノロジーの現状とその方向 性～口腔内スキャナーを体験しよう～	末瀬 一彦	12名(25名)
11月25日(日)	いかにして日本国民を歯科医療に覚醒させるか？ ～そのために必要な知識とコミュニケーション技術～	西田 亙	38名(80名)
12月9日(日)	歯周病患者に対する包括的治療における Soft & Hard Tissue Management	北島 一	60名(100名)

9. 物故者（平成30年度臨時総会資料より続く）

（本人）

年 月 日	卒回	支 部	氏 名
30.9. 2	大14	大阪府	青 木 泰 彦
9. 5	大25	兵庫県	佐 多 利 雄
9. 8	大24	兵庫県	頭 司 康 二
9. 9	大 3	広島県	吉 光 卓 三
9.15	専29	大阪府	木 邨 源 一
9.15	大13	大阪府	藤 田 徳 三
9.16	専29	兵庫県	伊 東 大 吾
9.16	大24	和歌山県	森 紀美雄
9.16	大30	大阪府	藤 川 智
9.18	専29	兵庫県	八 木 希 一
9.20	大 6	大阪府	岩 本 章
9.21	大14	大阪府	徳 留 成 憲
9.24	専30	大阪府	木 下 善之介
9.24	大 9	広島県	牧 平 幹 生
9.26	大 2	大阪府	和 田 源 蔵
9.27	大 2	大阪府	田 村 喜
9.27	大13	鹿児島県	坂 元 宏 海
9.29	大22	大阪府	石 野 和 志
10. 4	大 7	関 東	谷 信 男
10. 5	専32	兵庫県	志 水 和 夫
10. 9	大14	大阪府	小 川 清
10.12	大 8	大阪府	安 田 昭 二
10.24	大12	兵庫県	大 橋 隆 元
10.25	大 9	大阪府	薩 摩 弘 友

（平成30年12月31日現在）

年 月 日	卒回	支 部	氏 名
30.10.26	大22	関 東	村 山 茂 樹
11. 2	大10	京都府	堀 川 洋 三
11. 3	専29	兵庫県	武 下 昭 典
11. 3	大18	大阪府	前 田 敏
11. 6	専32	大阪府	常 喜 郁
11. 6	大14	大阪府	松 谷 文 雄
11. 7	大16	兵庫県	福 迫 隆
11. 8	大13	兵庫県	三 木 英 幸
11.17	大15	兵庫県	大 前 正 史
11.17	大31	和歌山県	稲 垣 守 久
11.19	専28	奈良県	木 村 雅 行
11.27	専31	大阪府	寺 嶋 茂 一
11.27	専32	大阪府	柳 生 喜久代
11.29	専28	兵庫県	磯 貝 連 治
12. 3	専30	広島県	杉 原 洋 通
12. 3	大 6	大阪府	杉 岡 守 三
12. 3	大29	奈良県	上 田 佳 史
12. 7	大 5	大阪府	今 田 英 彦
12.16	大10	京都府	山 口 文一郎
12.17	専30	愛知県	松 山 亮
12.21	専29	愛知県	坂 忠 往
12.22	大12	愛知県	宮 地 照 夫
12.27	大10	兵庫県	和 田 透

（以上 47名）

(家族)

年 月 日	卒回	支 部	氏 名	続柄
30.9. 1	大38	島根県	河 原 麻 美	母
9.04	大24	京都府	白 敷 博 司	母
9.08	大56	兵庫県	頭 司 圭 介	父
9.09	大30	広島県	近 藤 令 依	父
9.10	大33	広島県	坂 本 順 一	母
9.13	大30	奈良県	細 山 勝 道	母
9.20	大25	奈良県	矢 入 隆 史	父
9.21	大21	福井県	大 森 正 男	父
9.22	専32	三重県	佐々木 浩	妻
9.24	大37	大阪府	木 下 三樹夫	父
9.28	大31	大阪府	正 木 宏 明	母
10. 5	大31	兵庫県	志 水 秀 郎	父
10. 8	大32	岡山県	岡 崎 景	母
10. 9	大21	兵庫県	入 船 忠 史	母
10. 9	大43	大阪府	小 川 大 樹	父
10.11	大 3	大阪府	石 田 尚	妻
10.11	大36	大阪府	石 田 裕 将	母
10.12	大34	大阪府	安 田 明	父
10.23	大24	広島県	福 永 健 一	父
10.25	大36	兵庫県	薩 摩 浩 史	父
11. 2	大41	京都府	堀 川 和 徳	父
11. 3	大31	京都府	前 田 潤一郎	母
11. 3	大51	大阪府	前 田 真規子	父
11. 6	大46	大阪府	松 谷 善 雄	父
11. 7	大26	奈良県	宮 川 正 樹	母
11. 8	大41	兵庫県	三 木 俊 吾	父
11.10	大44	大阪府	小 田 一 美	父
11.11	大35	大阪府	山 田 裕	母
11.12	大16	京都府	久 富 明 宏	母

(平成30年12月31日現在)

年 月 日	卒回	支 部	氏 名	続柄
30.11.12	大22	京都府	久 富 和 広	母
11.13	大23	兵庫県	糸 永 茂 雄	母
11.13	大29	兵庫県	糸 永 雄二郎	母
11.18	大20	大阪府	金 上 喬 昭	母
11.19	大29	奈良県	木 村 雅 年	父
11.23	大25	奈良県	矢 入 隆 史	母
11.24	大22	兵庫県	堀 沢 等	父
11.24	大22	京都府	山 口 洋 史	母
11.24	大25	京都府	山 口 昌 之	母
11.24	大28	奈良県	東 浦 宏 守	母
11.24	大31	京都府	松 尾 亮	母
11.24	大34	京都府	松 尾 厚	母
11.27	大 2	大阪府	柳 生 嘉 博	妻
11.27	大34	大阪府	寺 嶋 洋 幸	父
11.28	大31	徳島県	中 野 晃	父
11.29	大32	徳島県	佐 賀 俊 文	母
11.30	大30	兵庫県	松 田 義 弘	母
12. 2	大27	大阪府	高 端 章 夫	母
12. 5	大28	奈良県	吉 村 佳 伸	父
12.12	大27	愛媛県	田 中 徹	母
12.12	大37	奈良県	岡 村 大	母
12.16	大42	京都府	浅 野 千 里	父
12.16	大46	京都府	山 口 晋	父
12.19	専28	大阪府	岩 本 昭	妻
12.19	大32	大阪府	岩 本 浩	母
12.21	大24	奈良県	近 藤 茂 男	母
12.22	大27	兵庫県	竹 腰 恵 治	父
12.22	大29	大阪府	竹 腰 将 典	父
12.31	大34	京都府	内 田 勝 己	母

1. 教員人事 ー抜粋ー

1) 大学役職者

副学長 田中 昌博(任期：2019年1月1日～2020年3月31日)

2) 歯学部主任教授任用

薬理学講座 博士(医学) 野崎 中成

口腔外科学第一講座 歯学博士 井関 富雄

(以上 2018年11月1日付)

内科学講座 博士(医学) 志水 秀郎

(任期：2018年11月1日～2023年10月31日)

2. 2018年度FDセミナー開催

- ・第1回 5月1日「CBT 問題作成について」
- ・第2回 6月14日「成人教育学に基づいた授業(教授方法)の実践」
- ・第3回 10月12日「シラバス作成について」
- ・第4回 10月15日「アウトカム基盤型教育等」
- ・第5回 10月18日「厚生労働行政と地域包括ケアの推進」
- ・第6回 11月6日「大学の生残り戦略-ブランド化, 社会連携, グローバル化-」
- ・第7回 12月5日「コミュニケーションの心理学」

3. 2018年オープンキャンパス

【歯学部】

- ・第1回 7月16日 220名参加(うち, 学生 103名)(於: 楠葉学舎)
- ・第2回 8月13日 144名参加(うち, 学生 70名)(於: 天満橋学舎)
- ・第3回 9月17日 175名参加(うち, 学生 95名)(於: 楠葉学舎)

【医療保健学部】

- ・第1回 3月18日 91名参加(うち, 学生 48名)(於: 牧野学舎)
- ・第2回 5月27日 55名参加(うち, 学生 30名)(於: 牧野学舎)
- ・第3回 7月15日 81名参加(うち, 学生 46名)(於: 牧野学舎)
- ・第4回 7月22日 130名参加(うち, 学生 67名)(於: 牧野学舎)
- ・第5回 8月14日 119名参加(うち, 学生 67名)(於: 天満橋学舎)
- ・第6回 8月26日 82名参加(うち, 学生 48名)(於: 牧野学舎)
- ・第7回 9月24日 88名参加(うち, 学生 51名)(於: 牧野学舎)

4. 枚方産学公連携プラットフォームキックオフイベント（9月25日）（於：楠葉学舎）
5. 高大連携・香里ヌヴェール学院高等学校来学（10月4日）
6. 2018年度大学祭（テーマ：TRY ～50steps～）
体育祭：10月20日（於：牧野学舎）、楠葉祭：10月27日・28日（於：楠葉学舎）
7. 国際交流関係
四川大学華西口腔医学院学生 2名受入（引率教員 1名）：12月8日～12日
シドニー大学歯学部学生 5名（3年）受入：12月10日～14日
8. 共用試験2018歯学系臨床能力試験トライアル
臨床実地試験：12月21日（医療系大学間共用試験実施評価機構視察者等来学）
（於：天満橋学舎）
一斉技能試験：12月22日（於：楠葉学舎）
9. 大阪歯科大学歯科衛生士研修センター第1期生研修開始（12月3日）
10. 第8回臨床ゲノム医療学会大阪学術大会開催（12月9日）
大会長：川添理事長・学長、434名参加（於：100周年記念館）
11. ODU 緊急セミナー「歯科技工士に新たな歯科医療の役割を！」（12月15日）
（於：100周年記念館）
12. 附属病院診療時間延長（2019年1月～）
午前・午後の診療時間と初診・再診受付時間を30分間延長
13. 学校法人関西医科大学、学校法人常翔学園と包括連携協定締結（1月22日）
14. 教授定年退職記念講演会（2月11日）（於：100周年記念館）
今井 弘一 主任教授（14:10～）
竹村 明道 主任教授（14:55～）
西川 哲成 専任教授（15:40～）

15. 寄贈

- ・大阪歯科大学第36回卒業生（嵩山会）から、卒業30周年を記念して、
学術研究奨励資金として 金 300,000円（9月16日）
- ・大阪歯科大学第16回卒業生（天章会）から、卒業50周年を記念して、
金 500,000円（11月10日）

16. 平成30年秋の褒章・叙勲受章者

【褒章】

- ・大学28回 佐藤 修斎（さとう しゅうさい） 徳島県 藍綬褒章

【叙勲】

- ・大学14回 海堀 昭彦（かいほり あきひこ）和歌山県 瑞宝双光章
- ・大学16回 生駒 等（いこま ひとし） 大阪府 旭日双光章
- ・大学19回 塩見 聰（しおみ さとし） 兵庫県 旭日双光章
- ・大学20回 徳富 敏信（とくとみ としのぶ） 長崎県 旭日双光章
- ・大学20回 山科 透（やましな とおる） 広島県 旭日中綬章
- ・大学20回 山本 馨（やまもと かおる） 福井県 旭日小綬章

17. 行事予定

- 1) 大学歯学部・大学院卒業式：3月8日（金）10：00（於：楠葉学舎）
- 2) 歯科衛生士専門学校卒業式：3月12日（火）10：00（於：楠葉学舎）
- 3) 大学歯学部・大学院歯学研究科入学式：4月5日（金）10：00（於：楠葉学舎）
- 4) 大学医療保健学部・大学院医療保健学研究科入学式：4月5日（金）14：00（於：楠葉学舎）

18. お悔やみ

木下 善之介 名誉教授（9月24日ご逝去）

第 1 号議案 平成30年度 収支中間決算

平成30年度 収支中間決算報告書
(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(収入の部)

(円)

科 目	予 算	決 算	増 減
第1項 会 費	69,840,000	55,510,000	△ 14,330,000
第1目 現年度会費	68,000,000	55,270,000	△ 12,730,000
第2目 過年度会費	500,000	240,000	△ 260,000
第3目 次年度会費	1,340,000	0	△ 1,340,000
第2項 入 会 金	2,010,000	0	△ 2,010,000
第3項 雑 収 入	1,201,000	1,014,908	△ 186,092
第1目 利 息	1,000	42	△ 958
第2目 雑 入	1,200,000	1,014,866	△ 185,134
第4項 繰 越 金	10,000,000	15,814,443	5,814,443
第1目 前年度繰越金	10,000,000	15,814,443	5,814,443
合 計	83,051,000	72,339,351	△ 10,711,649

(支出の部)

(円)

科 目	予 算	決 算	増 減
第1項 事務費	23,500,000	15,540,447	△ 7,959,553
第1目 費用弁償費	9,000,000	6,023,400	△ 2,976,600
第2目 需要費	1,000,000	591,738	△ 408,262
第3目 通信費	800,000	347,408	△ 452,592
第4目 交際費	1,000,000	699,742	△ 300,258
第5目 役職員厚生費	400,000	365,883	△ 34,117
第6目 職員人件費	11,000,000	7,174,326	△ 3,825,674
第7目 雑費	300,000	337,950	37,950
第2項 会議費	9,600,000	6,662,334	△ 2,937,666
第1目 総会費	3,000,000	526,172	△ 2,473,828
第2目 理事会費	1,800,000	1,944,040	144,040
第3目 委員会費	1,000,000	828,600	△ 171,400
第4目 その他の会議費	3,800,000	3,363,522	△ 436,478
第3項 事業費	23,000,000	19,078,186	△ 3,921,814
第1目 組織部費	7,000,000	6,119,252	△ 880,748
第2目 学術部費	1,000,000	610,757	△ 389,243
第3目 福祉部費	5,000,000	3,740,000	△ 1,260,000
第4目 編集部費	5,500,000	2,579,464	△ 2,920,536
第5目 編集発送費	2,000,000	1,045,664	△ 954,336
第6目 渉外部費	2,500,000	2,765,064	265,064
第7目 100周年事業費	—	2,217,985	2,217,985
第4項 支部交付金	0	0	0
第5項 積立金	19,000,000	16,922,000	△ 2,078,000
第1目 名簿作成準備積立費	2,000,000	2,000,000	0
第2目 会員大会準備積立費	5,000,000	5,000,000	0
第3目 時局対策積立費	3,500,000	3,500,000	0
第4目 研究助成積立金	0	0	0
第5目 基本資金積立金	1,000,000	1,000,000	0
第6目 機器充実積立金	0	0	0
第7目 100周年事業積立金	7,500,000	5,422,000	△ 2,078,000
第6項 補助金	450,000	400,000	△ 50,000
第1目 大阪歯科学会	※研究助成積立金より支出	※研究助成積立金より支出	
第2目 地方大会	200,000	150,000	△ 50,000
第3目 地方研修会	※研究助成積立金より支出	※研究助成積立金より支出	
第4目 学友会	100,000	100,000	0
第5目 紫媛会	150,000	150,000	0
第7項 次年度繰越金	7,501,000	13,736,384	6,235,384
合 計	83,051,000	72,339,351	64,838,351

平成30年度 財産目録

(平成30年12月31日現在)

名 目	金 額	備 考
(1) 名簿作成準備積立金	4,188,830円	(りそな銀行) 普通4479649
(2) 会員大会準備積立金	30,324,191円	(三井住友銀行) 普通1338791
(3) 時局対策積立金	4,446,111円	(三井住友銀行) 普通1338765
(4) 研究助成積立金	43,042,987円	(三井住友銀行) 普通1338753
	14,675,205円	(りそな銀行) 普通4479670
(5) 基本資金積立金	37,618,534円	(三井住友銀行) 普通1338777
	30,355,767円	(りそな銀行) 普通4479678
(6) 機器充実積立金	20,238,457円	(三井住友銀行) 普通1338789
(7) 100周年記念事業 積立金	12,696,048円	(三井住友銀行) 普通1626227
(8) 100周年記念大会 登録費	8,560,000円	(りそな銀行) 普通0569059
合 計	206,146,130円	

平成30年度
ポストグラデュエートコース 収支中間決算報告書
(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(円)

収 入		支 出	
前年度からの繰越金	6,984,173	会議費（出張旅費含む）	351,891
研修会費 （2019年度研修費含む）	1,170,000	講師謝礼金	1,298,000
利 息	28	材料費	582,920
		通信費	18,596
		印刷費	83,084
		需要費	379,836
		備品費	208,440
		雑 費	3,672
		小 計	2,926,439
		次年度繰越金	5,227,762
合 計	8,154,201	合 計	8,154,201

(内 訳)

現 金 143,615円
預 金 5,084,147円 三井住友銀行 天満橋支店
普通預金 1167142

(特別会計)

積 立 金 2,781,277円 三井住友銀行 天満橋支店
スーパー定期 #711203

2019年度 事業計画（案）

大阪歯科大学同窓会

会員一人ひとりが同窓会員としての強い自覚を持ち強固な団結と絆を誇る同窓会の伝統が継承できるように以下の事業を展開する。

(1) 大阪歯科大学への協力と支援

同窓会の目的に沿って、また法人運営に参画する立場から母校の健全な発展の達成のため同窓会としての全面的な協力と支援に努める。

(2) 組織の機構改革

同窓会として引き続き組織改革を実行し活性化に努める。

(3) 会員の研修

会員研修の質的向上を目指すため、これからの歯科医学と医療がめざす、より充実した研修事業を企画、助成し組織強化に努める。そのために同窓会員の積極的な参加をより強力に呼びかける施策を推進する。

大阪歯科学会と合同で開催する学術研修会をはじめ、ポストグラデュエートコースの企画内容を更に充実し、会員の参加を促し、会員相互の連帯の基としての研修事業を拡大する施策を実施する。また、女性会員の現場復帰への支援をする。

(4) 会員の親睦と福祉

支部会総会、クラス会、地区会員大会等の積極的開催を目指す。

2020年に同窓会設立100周年を迎えるにあたり、全同窓会員に参加を呼びかけると共に、支部会並びにクラス会に働きかけを行い登録者数の増加を積極的に進める。記念大会及び記念事業などについても同窓会設立100年記念事業実行委員会を中心に内容の具体化を計る。

(5) 支部会、クラス会の組織強化と本部との連携

支部会、クラス会と本部との連携をより緊密に、大学並びに学生と同窓会の組織的連携を図る。また、若い世代の会員及び女性会員の同窓会活動に対する関心を高め、意識改革と積極的な活動参加を促し、更に会務の推移を迅速に情報提供するためにホームページの更新と充実を図る。

(6) 歯科医師会事業への積極的参加

歯科界の発展のため同窓会組織として適切な施策に参加する為、その厳しい現況を十分に認識し、新しい価値観を生み出す創造力と相互信頼を基盤として各都道府県の歯科医師会事業に対し積極的に参加するよう呼びかける。

(7) 全国歯科大学歯学部同窓・校友会との交流

全国歯科大学歯学部同窓・校友会懇話会を通して情報交換、交流を深め歯科界の発展に努める。

以上

第3号議案 2019年度 収支予算案

2019年度 収支予算書（案） （2019年4月1日～2020年3月31日）

（収入の部）

（円）

科 目	平成30年度予算額	2019年度予算額	増 減
第1項 会 費	69,840,000	69,390,000	△ 450,000
第1目 現年度会費	68,000,000	67,500,000	△ 500,000
第2目 過年度会費	500,000	300,000	△ 200,000
第3目 次年度会費	1,340,000	1,590,000	250,000
第2項 入 会 金	2,010,000	2,385,000	375,000
第3項 雑 収 入	1,201,000	1,200,500	△ 500
第1目 利 息	1,000	500	△ 500
第2目 雑 入	1,200,000	1,200,000	0
第4項 繰 越 金	10,000,000	10,500,000	500,000
第1目 前年度繰越金	10,000,000	10,500,000	500,000
合 計	83,051,000	83,475,500	424,500

（支出の部）

（円）

科 目	平成30年度予算額	2019年度予算額	増 減
第1項 事務費	23,500,000	23,300,000	△ 200,000
第1目 費用弁償費	9,000,000	9,000,000	0
第2目 需要費	1,000,000	800,000	△ 200,000
第3目 通信費	800,000	800,000	0
第4目 交際費	1,000,000	1,000,000	0
第5目 役職員厚生費	400,000	400,000	0
第6目 職員人件費	11,000,000	11,000,000	0
第7目 雑費	300,000	300,000	0
第2項 会議費	9,600,000	9,600,000	0
第1目 総会費	3,000,000	3,000,000	0
第2目 理事会費	1,800,000	1,800,000	0
第3目 委員会費	1,000,000	1,000,000	0
第4目 その他の会議費	3,800,000	3,800,000	0
第3項 事業費	23,000,000	25,500,000	2,500,000
第1目 組織部費	7,000,000	7,000,000	0
第2目 学術部費	1,000,000	1,000,000	0
第3目 福祉部費	5,000,000	5,000,000	0
第4目 編集部費	5,500,000	5,500,000	0
第5目 編集発送費	2,000,000	2,000,000	0
第6目 渉外部費	2,500,000	3,000,000	500,000
第7目 100周年事業費	0	2,000,000	2,000,000
第4項 支部交付金	0	0	0
第5項 積立金	19,000,000	20,500,000	1,500,000
第1目 名簿作成準備積立費	2,000,000	3,000,000	1,000,000
第2目 会員大会準備積立費	5,000,000	6,000,000	1,000,000
第3目 時局対策積立費	3,500,000	3,000,000	△ 500,000
第4目 研究助成積立金	0	0	0
第5目 基本資金積立金	1,000,000	1,000,000	0
第6目 機器充実積立金	0	0	0
第7目 100周年事業積立金	7,500,000	7,500,000	0
第6項 補助金	450,000	450,000	0
第1目 大阪歯科学会	※研究助成積立金より支出	※研究助成積立金より支出	—
第2目 地方大会	200,000	200,000	0
第3目 地方研修会	※研究助成積立金より支出	※研究助成積立金より支出	—
第4目 学友会	100,000	100,000	0
第5目 紫媛会	150,000	150,000	0
第7項 次年度繰越金	7,501,000	4,125,500	△ 3,375,500
合 計	83,051,000	83,475,500	424,500



2019年3月8日 楠葉学舎

2018年度 大阪歯科大学

大学卒業式 大学院学位認証式

<式次第>

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 開式の辞 | 1. 大学院優秀論文賞表彰 |
| 1. 国歌斉唱 | 1. 学友会記念品贈呈 |
| 1. 大学卒業生 <small>卒業証書
学位記</small> 授与 | 1. 共済会記念品贈呈 |
| 1. 大学院修了者学位記授与 | 1. 学友会関係学生感謝状贈呈 |
| 1. 理事長・学長式辞 | 1. 卒業生記念品寄贈 |
| 1. 来賓祝辞 | 1. 学歌斉唱 |
| 1. 祝電披露 | 1. 閉式の辞 |
| 1. 大学院特別優秀論文賞表彰 | |



理事長・学長 式辞

大阪歯科大学理事長・学長 川 添 堯 彬

1200年前の奈良時代から、東大寺二月堂のお水取りの行事が終われば春が来るといわれてきました。この行事は3月1日から始まり、5月の啓蟄をすぎて来週14日木曜日に満行日の修仁会を迎えます。周辺の梅林も今、満開で、春の到来がすぐそこに感じられるこの頃でございます。

本日、まさにこの春の近い良き日に、第67回大阪歯科大学卒業式を迎えられます97名の新歯学士諸君、並びに第55回大学院学位認証式を迎えられる22名の新博士の皆さん、本日は誠にありがとうございます。同時に、本席にご臨席いただきましたご来賓の方々に深く感謝申し上げます。また保護者・ご家族の皆様におかれましても、ひとしおの感慨に胸を膨らませておられることと拝察いたします。さて、新歯学士の皆さんに申したいと思います。皆さんは間もなく難関の国家試験に見事に合格されて歯科医師になられるわけですが、それからさらに1年間の臨床研修で研鑽する義務があります。その後は大学院博士課程への進学や、社会人歯科医師として、各分野に分かれて活躍していくことになります。それぞれに使命感ややりがいを見つけてくれるものと思います。

本日ここに卒業式を迎えられた新歯学士の皆さんは、6学年の最終課程を精一杯勉学に励み、目覚しい成績を挙げられた精鋭揃いの方々であることを担当教員共々と私たちはよく知っています。そのような卒業生の方々へ次の言葉を贈りたいと思います。これからの人生に立ち向かう心がまえについて、明治維新の立て役者となる多くの人材を育成された吉田松陰先生の教えは「まずこころざし立てることを最優先事項とせよ」、また105歳まで現役医師を勤められた故日野原重明先生は

「歳をとっても常に新しく創めることを考え、実行せよ」、そして108年前に本学を創立された藤原市太郎先生は学校を卒業したら、「博愛と公益に努めよ」という言葉を残されました。私はこれらの言葉に「苦境にあっても希望をもて、そして前へ進め」という言葉を加えて、皆さんに贈りたいと思います。

次に、めでたく大学院を修了された新博士の皆さんへ申したいと思います。歯学部を卒業後、さらに上級のコースへ進まれ、勉学意欲、研究意欲に燃えて、ここまでの苦労や努力に耐えてこられ、このたび見事に「博士」の学位を授与されました。このご苦労の成果を、皆さんのこれからの各自の職業人生や、あるいは研究人生においてさらに磨いていただき、歯科界の各分野のリーダーになっていただきたく、存分に活躍していただきたいと祈念します。

そしてさらに期待したいことは、皆さん方は恵まれて、また幾多の努力を経てここまで進んでこられた、まさに国の宝となるエリート人材であります。今後の方向として、できましたらお一人でも多くの方が大学に帰ってきて、将来、教育研究機関の「教授」になって頂き、次世代の医療人材を多く育ててもらう道を期待します。あるいは別の道として、直接に患者さんに喜んでもらえる「イノベーション治療法」を開発することも大学院卒の重要な役割であると思います。そして将来、いつの日か、「博愛」と「公益」という究極の目標へ一歩でも近づいてほしいのであります。同時にこの大学の力を一段と高めていただきたいとお願いいたします。

以上、新歯学士と新歯学博士の皆さんへの私からの式辞といたします。



祝 辞

大阪歯科大学同窓会会長 生 駒 等

平成30年度・大阪歯科大学卒業式並びに大学院学位認証式に際し、9千余名の同窓会会員を代表してお祝いを申し上げます。

大学67回卒業生の皆様、大学院博士課程を修了された新進気鋭の先生方、並びに今日、晴れの舞台を待ち望まれたご参列のご父兄の皆様に心から祝福とお慶びを申し上げます。

私は昭和43年3月、大学16回生として卒業し、昨年秋に50周年記念クラス会が開かれました。その折に私達16回生の卒業時の答辞が披露されました。私達の初心と想いを餞として皆様に送りたいと思います。

『顧みますれば昭和37年4月、歯科医学への大きな希望と限りない情熱と一抹の不安を胸に牧野学舎の門をくぐって、より6年。人体の複雑、神秘精緻な機構に驚き、歯科医の使命を認知し、石膏にまみれ、模型の上に涙を落とした事もありましたが、歯を食いしばって一生懸命頑張ってきました。しかし、その間私達の若さ未熟さの為、ややもすると学びの道、学生の道から脱線し、諸先生方にご心労をおかけすることもございましたが、常に温かいご理解ある態度で私達をお導きくださいましたご高恩は生涯忘れることはありません。また、歯科大生の根性を示した対外試合をはじめ、文化祭、体育祭、クラブ活動など、その思い出の一つ一つを小箱に入れて大切にしたいと思っています。私達卒業生一同、諸先生方より教えていただいたこと6年間、自分の身をもって体験したこと等を基礎として、一生勉学に励んでいきます。』

今後、私達は大学にて研究に携わる者、臨床医として直接患者に接する者、各々道は違っていても目的は医道の追求にあると考えます。しかし、前途は決して安易な一本の道ではなく、時には絶望感すら抱くこともあるでしょうが、歯科医学を通じて人類の健康と福祉に尽くさねばならぬその責任の重大さを考える時、自己の最善を尽くして大阪歯科大学卒業生としての自覚と誇りを失うことなく、歯科医人として、人間として正義をつらぬき前進したいと思います。

6年前の入学式より今日まで、学長先生はじめ諸先生方の終始変わらない恩愛あふるるご指導によりまして、本日ここに全過程を終了できましたことを一日千秋の想いで待たれ、遠路よりご出席くださいましたご父兄の方々に報告できますことは、私達、卒業生の限りない喜びであり大きな誇りであります。

私達卒業生一同は、本学が今後とも歯科医学の殿堂として、学問研究に益々発展され、優れた歯科医人として強く、正しく、明るく生き、社会の為になる人物を多数輩出するところの世界一の大学として繁栄・発展の道をたどられることを確信いたします。

以上が私達大学16回生の答辞です。

皆さん、思想とか、信念とか、信仰は、個人の魂、個人の人格を通じて発してくるものでなくてはなりません。どんなに立派な理論や信仰でもそれが自分の中に通じてこなければ、決して生きた力にはなりません。私達先輩は、いつも皆さんの精進を見守っています。輝かしい光輝く未来に栄光あれとエールを送り祝辞といたします。

平成31年3月8日

大阪歯科大学同窓会
会長 生駒 等



2019年4月5日 楠葉学舎

2019年度 大阪歯科大学

大学・大学院入学式

<式次第>

- | | |
|---------|-------------|
| 1. 開 式 | 1. 理事長・学長式辞 |
| 1. 国歌斉唱 | 大学入学生宣誓 |
| 1. 大 学 | 1. 特待生表彰 |
| 入学生点呼 | 1. 皆勤賞授与 |
| 入学許可 | 1. 学歌斉唱 |
| 1. 大学院 | 1. 閉 式 |
| 入学生点呼 | |
| 入学許可 | |





理事長・学長 式辞

大阪歯科大学学長 川 添 堯 彬

ひと月前の啓蟄の頃には、まっ白く、おだやかに咲きほこっていた梅の花に押されて、今年もようやく桜の花と春光が広がって参りました。

本日、大学新入学生・大学院新入学生にとって、ともにこの日が新しい環境へ入るとき、社会へ向けての決意と誓いのときであり、新たなスタート地点であります。先ほど来、点呼におきまして、呼ばれた場合に「はい」という元気のよい声をした人、これはきょう1日の1つの決意を立派に済まされたということで、本人の態度に敬意を表します。

本日、大学院へ留学される中国からの新入生のご家族が30名以上ご臨席下さり、心からお礼申し上げます。

また、新入学生のご父兄・保護者の方々、ご家族の方々にとりましても、きょうの日が、期待と願いを込めた始まりのときであると胸に刻んでおられることと拝察いたします。

本日、歯学部大学並びに大学院博士課程に入学されたそれぞれ134名と28名の方々、両方の皆さんにこの式辞を贈りたいと思います。

本学は、1911年、明治44年に創立され今年で108年目になります。

2011年11月には、その100周年記念のいろいろな行事を取り行いました。一万数千の卒業生を輩出しております。本学は、そういった長い伝統に支えられた大学であります。あなた方も、きょうから我々とともに諸先輩の築かれた大学愛、母校愛、そして同窓としてのきずなを汚すことなく受け継いでいくわけでございます。

本学の創設者であります藤原市太郎先生は、明治44年12月12日にある思いを抱いてこの学校を創立されました。その当時、日露戦争が終結して

間もないころで、まだ世の中は騒然とし、社会は経済的にも緊縮状態であったと思われます。その中であって、藤原市太郎先生は、この大学を現在の大阪市福島区野田4丁目に創立されたわけがあります。その思いとは、「学校経営事業は営利に非ず、博愛公益のために努力するものなること」。この言葉が、2代目の理事長でありました古川賢治先生に申し伝えられ、この言葉だけはぜひとも将来に受け継いでいってほしいとの願いをもってバトンを渡された、大変尊い、また貴重で崇高な本学の建学の精神であります。

そして私は、この100周年の記念事業の中で発見しましたのは、100年たってもこの言葉はこれほど輝いて、またこれほど有益で私たち学ぶ者の心を勇気づけてくれる言葉はないのではないかと。この言葉は、世界の国々、欧米先進国やアジア諸国のみならず、全世界のどの国へ行っても胸を張って通じるスピリットではないかと誇りに思っています。

マザー・テレサの象徴ともなっております博愛（フィラントロフィー）の精神を思い出すまでもなく、これは本学に脈々と続いていることを実感するわけであります。どうか皆さんも、この精神を少しでも実践に向けて活動するとともに、究極の目標として胸に刻印され、また後輩にもこのスピリットを引き継いでいっていただきたいと思っています。

この言葉は、まさに学部学生諸君にとりましても、大学院生諸氏にとりましても、時や国を越えて通じるものであると思います。これほど崇高で誇れる言葉はほかにありませんか。私たちは、これをとてもすぐには達成できないかもしれませんが、少しでもその方向へ進む志を持ちたいと願っているわけであります。この我が校の誇れる建学の精神を、今私も大切に守り続けたいと強く肝に銘じているところであります。皆さん方もどうかお忘れのないように進んでいっていただきたいと思っています。

以上、理事長・学長の式辞といたします。

日歯代議員・日歯役員懇談会

日時：2019年3月14日（木）午後6時

場所：ホテルニューオータニ東京「ACERO（アーチェロ）」

（ザ・メイン宴会場階）



大阪歯科大学同窓会 生駒 等 会長挨拶

皆さん、こんばんは。今日はお疲れ様でした。大阪歯科大学同窓会は、堀会長を支えてまとまっていますので、先生方もよろしく願いしたいと思います。

本日は、大学がお忙しい中を川添理事長・学長にお越し頂いています。本日のこの席は大学の会ですので、心置きなくご馳走になって頂ければと思います。それと太田本部副会長にも出席いただいておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、日歯の三本柱の一つに組織の強化というのがあります。我々の同窓会も三部構造で、本部を中心に支部会、クラス会という形になっていま

す。日歯も当然のことながら市町村、支部、そして日歯という形の中で、この三部構造は同じです。現在、未入会会員が問題になっていますが、是非未入会会員の組織への参加というものについて、大阪歯科大学或いは大阪歯科大学同窓会のブランド力を高めておられる先生方に是非お力添えを頂きたいと思っています。

ところで「笑顔の向こうで」を観られた方はおられますか？ほとんど全員の方が観られたと思います。感想としては、もう一步踏み込めば、もっともっと良かったのではないかとこの部分はありますが、非常に良い映画だったように思います。

堀執行部には、益々頑張ってもらいますように先生方にお力添えを願いたいと思います。本日は本当にご出席を頂きまして有難うございました。

（日本歯科医師会）

理 事	奈良県	大19	森口	浩充
代議員	滋賀県	大18	芦田	欣一
〃	奈良県	大28	東浦	宏守
〃	京都府	大30	安岡	良介
〃	大阪府	大28	大塚	俊裕
〃	〃	大29	堤	佳代子
〃	〃	大31	深田	拓司
〃	〃	大32	丹田	博巳
〃	〃	大32	林	正純
〃	〃	大35	辻坂	智矢
〃	兵庫県	大17	澤田	隆
〃	〃	大23	高橋	仁志
〃	岡山県	大20	酒井	昭則
〃	〃	大23	藤井	龍平
〃	広島県	大20	神原	和暢
〃	徳島県	大22	森	秀司

（法 人）

理事長・学長 大14 川添 堯彬

（同窓会）

会 長 大16 生駒 等
副 会 長 大23 太田 謙司
専務理事 大21 恩田 信雄
理 事 大33 平田 哲也
〃 大38 岡田 修二



大阪歯科大学 川添堯彬 理事長・学長挨拶

お久しぶりでございます。今日は先生方をお招きする方でございます。日頃より先生方に中央で活躍頂いていることは、我々にとりまして本当に心強い気持ちでいっぱいです。

念願であります来年の同窓会設立100周年記念大会、燃えに燃えた状態で、生駒会長も幾分瘦せられたのではないかと思います。健康面は非常に元気なようです。大学としましては微力ですが、少しでも生駒会長を支えて、久しぶりのセレブレーション、これから始まります様々な行事をサポートあるいはアシストしていきたいと思っている次第です。

大学の方は、現在入試の真っただ中ですが、歯学部はお蔭様で順調にいらしています。3年前に開校致しました4年制の医療保健学部では、口腔保健学科は2倍近くの志願者で定員オーバーし、不合格を出さないといけないぐらいに伸びております。もう一つの口腔工学科では、まだ少し定員に充足しない状況で問題はありますが、外国からの留学生が随分増えていますので、そういう人達も含めて、来年は定員充足間違いのないと思っており、経営的にもほぼ順調にいらしている次第です。

大学も何とか歯科医師会先生方のご活躍に恥じないように頑張らねばという思いであります。今日はお疲れの後のしばしの時間ではありますが、心置きなく楽しんで頂きたいと思っております。どうも有難うございました。

来賓挨拶



堀 憲郎 日本歯科医師会 会長

先生方、こんばんは。今日はこのようなご挨拶の機会を頂戴しまして、生駒会長はじめ大阪歯科大学同窓会の皆様、本当に有難うございます。また、ご出身の森口理事、そして牧野副会長に対する皆様からのご支援にも重ねて御礼申し上げたいと思います。

昨年10月には6歯科大学同窓・校友会のお名前で、会長選挙のご推薦を頂戴しまして、お蔭様をもちまして当選をさせて頂きました。本当に有難うございました。

前回6月のこの場で、様々な取り組みの中で色々和明るい話題もあると申し上げました。今日、代議員会で申し上げた通り、多くの成果もあがっています。未来都市会議への書き込み、それから平成29年度概算歯科利益の伸び、消費税対応の成果、個人版事業承継税制の創設、それと何よりも映画の成功と言ったことで、本当に各職員一丸となった努力と先生方のお力の賜物と御礼申し上げます。後3ヵ月の任期ですが、しっかりと今の取り組みを仕上げて、引き継いでいきたいと思っておりますので変わらぬご理解、ご支援をお願い申し上げます。御礼のご挨拶と致します。

本当に今日は有難うございました。



高橋英登
日本歯科医師連盟 会長

今、堀会長のご挨拶にもありましたように、我々の役目は堀執行部をしっかりと支えるということです。特に、堀執行部では川野先生からいつもご指導を頂いております。川野先生のお力添え、そして武田先生にもしっかりと支えて頂いており、大阪歯科大学の先生方のお蔭で道を誤らず

に、しっかりと事業運営をさせていただいています。

堀会長には毎日のようにお電話を頂いて、連携もばっちりとれていますので、これからもしっかりとやっていきます。歯科医療保健費がもうすぐ3兆円に乗る可能性が大きいのは凄いことです。本当に素晴らしいことだと思います。それから初再診も増点の可能性が大きくなってきています。先生方の頑張りに応えられるよう、我々もしっかりと後ろから支えて参りますので、これからもご協力・ご支援の程よろしくお願い致します。

日時：2019年6月13日（木） 午後6時

場所：ホテル ニューオータニ東京「AZALEA（アザレア）」

（ザ・メイン宴会場階）



大阪歯科大学同窓会 生駒 等 会長挨拶

皆さん、こんにちは。本日はお集まり頂きまして本当に有難うございます。例年申し上げておりますが、先生方は母校の誇りですのでよろしくお願いしたいと思います。

なかなか今の経済状況の中で、人のため、会員のために尽くすというのは非常に難しく大変だろうと思いますが、先生方には使命感に燃えて頑張っていると思います。その点については会員の皆様も先生方に敬意を表さないといけないと思うのですが、代表して先生方に敬意を表したいと思います。本当にご苦労様でございます。

さて、日本歯科新聞が母校の平成年間の五大ニュースを挙げて、それを同窓会の側から会長のコメントとして述べてほしいという依頼がございました。川添理事長・学長ともお話をしましたが、1989年の楠葉学舎の建設と天満橋学舎の新附属病院建設、そして何と言っても2011年に母校創立100周年記念がありました。また100周年記念会館の建設と最後に医療保健学部の新設並びに医

療保健学部の修士課程の設立が挙げられます。本当に理事長・学長に頑張って頂きました。やはり同窓会として同じ方向で協力していかなければいけないと思います。来年、同窓会も設立100周年を迎えますが、100周年を契機として母校により一層の支援をしていきたいと考えています。

本日は、芦田議長のお蔭で代議員会も随分早く終わりました。日歯の芦田先生、連盟の川野先生、非常に素晴らしいパーソナリティですので、大歯としては非常にお二人に感謝をしております。本日は懇親の輪を深めて頂いて、明日また日歯代議員会で頑張りたいと思います。

どうぞ皆さん、楽しんで下さい。本日はありがとうございました。



(日本歯科医師会)

理事	奈良県	大19	森口 浩充
代議員	滋賀県	大18	芦田 欣一
〃	奈良県	大28	東浦 宏守
〃	京都府	大30	岡本 肇
〃	〃	大30	安岡 良介
〃	大阪府	大25	巽 久宜
〃	〃	大28	大塚 俊裕
〃	〃	大29	堤 佳代子
〃	〃	大31	深田 拓司
〃	〃	大32	丹田 博巳
〃	〃	大32	林 正純
〃	〃	大35	辻坂 智矢
〃	兵庫県	大17	澤田 隆
〃	〃	大23	高橋 仁志

代議員	岡山県	大20	酒井 昭則
〃	〃	大23	藤井 龍平
〃	広島県	大20	神原 和暢
〃	徳島県	大22	森 秀司

(法人)

理事長・学長 大14 川添 堯彬

(同窓会)

会長 大16 生駒 等
副会長 大20 徳富 敏信
専務理事 大21 恩田 信雄
理事 大33 平田 哲也
〃 大38 岡田 修二



大阪歯科大学 川添堯彬 理事長・学長挨拶

本日はお集まり頂きまして誠に有難うございます。先ほど生駒会長や堀会長のお言葉にもありましたように、先生方には今後益々活躍して頂けたらと思っております。

また、来年10月24日の同窓会設立100周年には、多数の同窓がお集りいただき大会が盛会裏に開催されることを念願しています。大学も全面的に支援をして、100周年記念行事を心待ちに、楽しみにしており、学内でもみんなに参加登録をするよう推奨している次第です。

最近、大学で一番嬉しいことは、全国的には18歳人口がどんどん減っていく中であって、歯学部受験生が4倍近くになりました。一時は1.9倍だったことを思いますと、随分と受験生応募率が高くなって、かなり難関の歯学部になってまいりました。それだけに学生の学力も随分上がってきたという感触をもっています。これからも国家試験の成績をさらにコンスタントに安定化させたいと思っています。また、天満橋の附属病

院の4階において歯科衛生士の復職支援の強化事業をしています。

ただ一つの課題は、附属病院の財務状況があまり良くないということで、これから数年かけて何とか黒字化するよう努力して参ります。そうすれば全体として財務基盤も安定しますので、学生達の授業料を少しでも安くできたらいいなと考えているところです。

大阪には、最近インバウンドの人達が随分と来られていますが、天満橋の附属病院周辺にも医療観光を求めて相当な集団となって来て頂けるというので、最近ではその受け入れ計画、シナリオを作っています。今年の10月～11月ぐらいから幾つかの新しい診療を開始したいと思っています。今後とも、私もできるだけ同窓会を精一杯サポートして頑張りますので、先生方におかれましてもどうか我々の母校をお助け頂きたいと思います。

本日はどうも有難うございました。



堀 憲郎
日本歯科医師会 会長

いよいよこの執行部も明日半日の任期を残すところになりました。本当に2年間、生駒会長はじめ大阪歯科大学同窓会の皆様には執行部を支えて頂きまして心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。

特に大阪歯科大学ご出身の理事としては森口先生、地区推薦理事として医療管理、情報管理と大変なところを担って頂きまして、また常に色々なご発言を頂きまして有難うございました。本当に同窓の皆様のお支えに感謝申し上げます。また、大阪地区ということでは牧野先生には副会長の重責を担って頂きまして、常に歯科界のプライドをかけた発言をしていただき感謝申し上げたいと思っています。

ご承知の通り、明日また新しい執行部が発足しますが、もし会長に当選させて頂くことができれば、引き続き先生方にも歯科界の命運を担うことを背負って頂くことになりますので、同窓の皆様にも本当に全力を挙げてご支援を賜りますようお願いを申し上げたいと思います。

今日の代議員会で申し上げました。この2年間は歯科界発信・提言の段階から実現・実行の時代に入ってやろうということでした。それを試行錯誤してきましたが、次の執行部ではその実現・実行に向けた個々の取り組みを体系化して、しっかりとした取り組みとして進めて行きたいと思っています。どうか引き続き大阪歯科大学同窓会の先生方には叱咤激励、そしてご理解、ご支援をお願い申し上げまして、ご挨拶に代えさせて頂きます。

本日は有難うございました。



高橋英登
日本歯科医師連盟 会長

先生方には平素より日本歯科医師連盟をお支え頂きまして心より感謝申し上げます。

本当に堀執行部は目覚ましい実績をあげておられまして、2兆9,152億円は初めての2兆9,000億円台です。次期は、林先生のもう一頑張りです。3兆円は目の前かなと思っていますので、そのために我々は一生懸命裏で支えたいと思っています。また私の後ろには、指導を受けている川野先生がしっかりと後継人としてついて頂いていますので、川野先生のおっしゃるとおりに今までもやってまいりました。まだまだ足りない点が多々ございます。しっかりと頑張る先生方のためになるような日本歯科医師連盟にしなければいけないと思っています。

そこで一つだけお願いを申し上げます。比嘉奈津美という人物がいます。まだ知名度がありません。他の類似他組織は、既に2年半から3年もの活動をされていて、全国的にも名前が大きく広がっていますが、何と比嘉奈津美は4月24日に公認を得て選挙が始まったばかりです。現在、全国を駆けずり回っておりますが、なかなか一般会員の皆様方に名前が浸透していない、全く知名度がございません。

今回は非常に厳しいです。比嘉奈津美のためではない、日歯連盟のためじゃない、会員のための選挙でございます。歯科界を良くするために一丸となって、後2ヵ月ほどでかなりハードルが高いですが、先生方のお力をお貸しいただけるようお願い申し上げます。先般の「老後2,000万円いぞ」ということで、自民党にまた逆風が吹いております。本当に厳しい中で、私も本当に必死で全国を飛び回っています。頑張りますので力添えを宜しくお願い致します。本日は有難うございました。

女性歯科医師支援委員会

平成30年度 学術講演会

演題：「X線画像をこう診る ～基本情報と応用
そして限界～」

講師：清水谷 公成先生
(大阪歯科大学歯科放射線学講座 主任教授)

平成31年2月17日(日) 本学天満橋学舎西館
5階講義室にて、清水谷公成先生(歯科放射線学
講座 主任教授)をお招きして学術講演会を催し、
60数名の会員、学生にご参加いただきました。

まず、直前に行われた歯科医師国家試験の中
から放射線領域の問題でウォームアップ。その後、
パノラマX線撮影の原理や画像診断、スクリー
ニングの際の注意事項、外せないチェックポ
イント、インプラント可否の診断の考慮すべき
点など、基本的な内容からピットフォール(見
過ごししやすい領域)まで多くの画像を用い
て、基礎から最新のトレンドまでわかりやす
く解説していただきました。

講演後は、ベテランの先生から外部聴講で
参加の現役男子学生まで、誰もが質問しや
すい和やかな雰囲気、皆様とても熱心に
質疑応答に耳を傾けておいででした。

若手や離職後復帰を考える先生方、そ
してベテランの先生方からもたいへん
よい評価をいただき、明日からの診療に
早速活かせる良いヒントを頂けたと喜
びのお声もたくさん頂戴いたしました。

(大36回 高山由希 記)



訪問診療ではじめよう！ 摂食嚥下障害へのアプローチ

日時 2019年11月3日(日)
14時～16時

場所 大阪歯科大学天満橋学舎
(西館5階臨床講義室)

主催 女性歯科医師支援委員会

◎講師紹介



岩山和史 先生
(いwayama かずふみ)

2003年3月 大阪歯科大学卒業

2007年3月 大阪歯科大学大学院博士課程修了
高齢者歯科学専攻

2013年4月 大阪歯科大学非常勤講師 高齢者歯科学
(2019年3月迄)

2019年7月 大阪歯科大学大学院非常勤講師 障害者歯科学

【資格・役職】

日本老年歯科医学会認定医・摂食機能療法専門歯科医師

日本摂食嚥下リハビリテーション学会(認定士)

大阪府歯科医師会 摂食嚥下機能障害対応歯科医師育成事業
実地研修講師(2015-2017)

【講師からのメッセージ】

皆様は訪問診療にどのようなイメージをお持ちでし
ょうか？

ひと昔前は、口腔ケアや歯科診療が主な診療内容で
した。しかし今は、高齢者施設や在宅の現場から「ム
セの原因を知りたい。」「食事形態についての助言が
欲しい。」「嚥めない。飲めない方への対応を教え
てほしい。」等のご依頼をいただきます。歯科はこれ
らの求めに対して、どのように応えていけば良いで
しょうか。

本講演では、なるべく専門的な用語や理論は使わ
ずに、摂食嚥下の基礎を分かりやすく解説し、特別
な機材を使わず、即実践できるアプローチ法を紹
介いたします。

本研修会が皆様の訪問診療を変える一助になれば
幸いです。

女性歯科医師支援委員会では女性歯科医師はもち
ろん男性会員や大阪歯科大学歯学部学生のみならず
無料で受講していただけます。高齢者の訪問診療に
興味、関心のある先生方のご参加をお待ち申し上
げます。



がん治療における周術期口腔機能管理の必要性和今後の課題

大阪赤十字病院 歯科口腔外科

大阪歯科大学附属病院 口腔外科第2科

渡辺 昌広 (大57)

<はじめに>

近年、周術期口腔機能管理という言葉をよく耳にする。一般的に周術期とは入院、手術、術後回復といった、患者の術中だけでなく前後の期間を含めた一連の期間のことを示すが、実際にはがんの化学療法や放射線療法など手術以外の治療も含まれた期間のことを意味する。

周術期の口腔管理の重要性に関しては以前から言われていたが、平成24年度歯科診療報酬改定で「周術期における口腔機能管理等、チーム医療の推進」が重点課題とされて以降、飛躍的な広がりをみせた。

手術時に周術期口腔機能管理介入を行うことは、その後、継続して行われることが予測される化学療法や放射線療法の際に生じる有害事象のマネジメントに大きく貢献する。また、周術期の口腔機能管理が、術前後の誤嚥性肺炎の予防や化学療法、放射線療法中の口腔内に起因した感染の抑制に寄与することによって、在院日数の減少や患者負担の軽減、さらには社会保障費の削減にもつながると期待されている。

現在、全国の医療施設で周術期の口腔機能管理が行われているが、未だ統一された基準や方法はなく施設により様々である。

今回、われわれの医療施設である大阪赤十字病院歯科口腔外科で実際に行われている周術期口腔機能管理について紹介するとともに、特に重要な口腔粘膜炎のマネジメントを中心に説明する。

1. 周術期口腔機能管理の流れ

周術期における口腔機能管理はまず、治療を行

う主科の治療方針の決定から始まる。歯科への周術期口腔機能管理の依頼後、口腔管理計画を立案し（周術期口腔機能管理計画策定料算定）、手術を先行して行う症例は入院までに口腔機能管理や衛生管理を行う（周術期口腔機能管理料（Ⅰ）手術前算定）。入院後、病院内に歯科を併設している場合は、手術前後に口腔衛生管理を中心に行い（周術期口腔機能管理料（Ⅱ）手術前・後算定）、退院後、化学療法や放射線療法などの追加治療の有無を確認する。追加治療を行うのであれば有害事象に適時対応する（周術期口腔機能管理料（Ⅲ）算定）。その後、予定されていた全ての治療が終了となれば、かかりつけ歯科医院へ継続的な口腔管理を依頼する（図1）。



図1 周術期における口腔機能管理のイメージ
(医科で手術をする場合)

2. がん治療に伴う有害事象

がん治療は主に手術（外科療法）、化学療法、放射線療法に分けられ、それぞれの治療において口腔領域にも様々な有害事象が生じる（図2、3）。有害事象は時に治療の妨げや合併症の発現につな



図2 がん治療に伴う有害事象

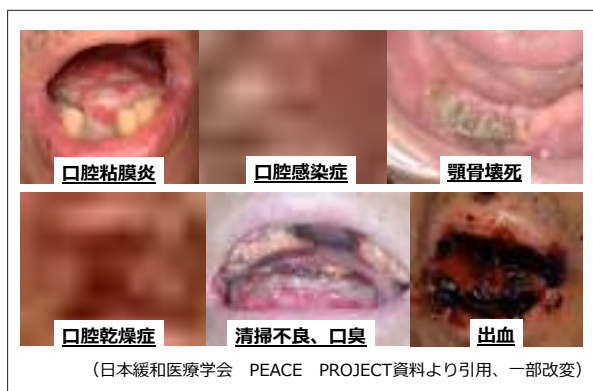


図3 がん患者の口腔トラブル

がるため、周術期口腔機能管理は一般的な口腔ケアだけではなく、それぞれの有害事象に対する適切な診断および粘膜炎の治療などが重要となる。

口腔粘膜炎

化学療法は殺細胞性の抗がん剤と分子標的薬に大きく分類され、共通して口腔粘膜炎が生じる。口腔粘膜炎の発症率は通常の化学療法では5～15%、強い化学療法では50%、造血幹細胞移植時では68～98%、頭頸部癌の化学放射線療法時では97%と言われている¹⁾。粘膜炎は口腔から直腸までのすべての消化管に生じるが、特に口腔では1.口腔粘膜上皮の基底細胞はターンオーバーが早い、2.多種多様な細菌叢の存在、3.歯牙や義歯、食事などの外的刺激を受けやすいため粘膜炎が高い頻度で生じる²⁾。

①口腔粘膜炎の経過：

化学療法に伴う口腔粘膜炎は開始後10日目頃から発症し、発症後2～3週間継続する。また、放射線療法に伴う口腔粘膜炎は開始後2週間目頃から発症し、発症後1～2か月間継続する。

口腔粘膜炎の経過は第1期：開始期、第2・3期：シグナル伝達・増幅期、第4期：潰瘍期、第5期：治癒期に分けられる³⁾ (図4)。

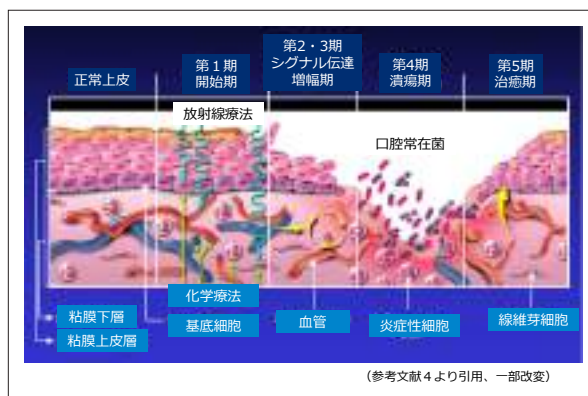


図4

第1期（開始期）

放射線や抗がん剤による細胞毒性で粘膜細胞内に活性酸素が発生し、細胞のDNAを損傷することで細胞死を引き起こす。

第2・3期（シグナル伝達・増幅期）

活性酸素が炎症サイトカインの放出を促し、細胞死を引き起こす。また、炎症性サイトカインによる組織障害が、さらなる炎症性サイトカインを誘導し障害は増幅される。このため粘膜炎はさらに増悪する。

第4期（潰瘍期）

これまでの障害により粘膜表面では上皮層が破壊され、潰瘍を形成する。潰瘍表面には細菌性コロニーが形成され感染が生じる。同時に起こっている顆粒球減少により菌血症や敗血症のリスクが高まる（敗血症のリスクは約4倍に上昇すると言われている）。

第5期（治癒期）

上皮細胞の増殖・分化により粘膜上皮が再生する。

②好発部位：

化学療法に伴う口腔粘膜炎は可動粘膜（口唇裏面や舌下面、舌縁、頬粘膜、軟口蓋など）に発症しやすい。また、歯牙や義歯などの外傷性刺激を受ける部位が重症化しやすい (図5)。頭頸部への放射線療法では、可動性のない角化粘膜も含めて放射線照射野に一致して発症する。

③粘膜障害の原因特定と口腔粘膜炎の重症度評価：

がん治療中の粘膜炎や潰瘍は必ずしも化学療法および放射線療法の副作用とは限らない。義歯接触などによる外的刺激やカンジダ菌、ヘルペスウイルスに起因した粘膜炎の可能性もあるため原因



図5 口腔粘膜炎の好発部位

の正しい特定が重要である。また、口腔粘膜炎の重症度を適切に評価することが、口腔粘膜炎の対症療法の基本になる。

現在、口腔粘膜炎の重症度評価はNCI-CTCAE Ver.3あるいはVer.4に基づいて行われる(図6、7)。

NCI-CTCAE Ver.3.0	
Grade 1	粘膜の紅斑
Grade 2	斑状潰瘍または偽膜
Grade 3	癒合した潰瘍・偽膜、易出血性
Grade 4	組織の壊死・顕著な自然出血(生命の危機)

NCI-CTCAE Ver.4.0	
Grade 1	無症状または軽症：治療を要さない
Grade 2	中等度の疼痛：経口摂取に支障なし 食事の変更を要する
Grade 3	高度の疼痛：経口摂取に支障あり
Grade 4	生命を脅かす：緊急処置を要する
Grade 5	死亡

図6 口腔粘膜炎の重症度評価



図7 口腔粘膜炎の経過 (Ver.3.0)

Ver.4は疼痛と経口摂取の可否で評価を行うため評価の誤差やばらつきを減少できるが、口腔内を診察しなくても評価できるため部位の同定や粘膜炎の正確な情報が不足する。そのため現在もVer.3を使用している施設が多い。

④対応方法：

口腔粘膜炎に対する基本は①口腔内清潔保持、②口腔内保湿、③疼痛コントロールである。口腔粘膜炎の症状がピークを迎える10～12日目頃は抗がん剤の骨髄抑制期(nadir期)と重なるため口腔常在菌に起因した感染に十分注意する必要がある(図8)。



(国立がん研究センター がん情報サービスホームページより引用、一部改変)

図8

また、がん治療中の栄養状態は粘膜炎の経過や治療完遂率にも影響するため^{4, 5)}、継続的な栄養管理も重要である。

<口腔粘膜炎のGrade別の対応>

Grade 1

セルフケア、含嗽、保湿指導、初期の粘膜変化(発赤、浮腫、蒼白化、白色化)の確認を行う。

Grade 2

セルフケアに加えて歯科衛生士による専門的口腔ケア介入を行う。局所表面麻酔薬(4%リドカイン)やNSAIDs(ジクロフェナクナトリウム)、アセトアミノフェン、粘膜保護剤(エピシル®)を適時使用し疼痛緩和に努める。真菌感染やウイルス感染に起因した疼痛が混在していることもあるので、適切に評価を行いGrade3へ移行しないように対応することが重要になる。

Grade 3

オピオイドの使用を開始し疼痛緩和を徹底的に行う。栄養状態の改善のために胃瘻や経鼻胃管、中心静脈栄養を検討する。

Grade 4

Grade3の対応に加えて必要時には主科の担当医と相談し化学療法や放射線療法の中止を検討する。

⑤使用薬剤および機器：

・歯ブラシ・歯磨剤

化学療法中は粘膜が脆弱なため軟毛もしくは超軟毛のヘッドが小さい歯ブラシを使用する。必要に応じてデンタルフロスや歯間ブラシを使用するが、誤った使用方法による粘膜の損傷に注意する。

また、歯磨剤は低刺激性のものの使用する。

・含嗽剤および保湿剤

大阪赤十字病院歯科口腔外科では粘膜炎が生じるまでは水道水での頻回の含嗽を指示する。粘膜炎発症後はアズレンスルホン酸ナトリウム（AZ含嗽）や生理食塩水を用いての含嗽を基本とし、疼痛の程度に応じて塩酸リドカインやジクロフェナクナトリウム、トランサミンを追加する。またポビドンヨードやクロルヘキシジンを使用した含嗽はアルコールを含有しており口腔常在菌叢を抑制するため粘膜炎発症予防や症状改善には有効でない^{6, 7)} ため使用していない。

保湿剤はジェルタイプ、液タイプを口腔内の状態に合わせて使い分ける（図9）。

基本の含嗽剤	
アズレンスルホンNa (AZ含嗽)	創傷治癒促進作用、消炎作用および重曹による中和作用がある。
生理食塩水	等張液のため低刺激である。
AZ含嗽+グリセリン	グリセリンにより保湿効果がある。
口内炎による疼痛が強い場合	
塩酸リドカイン+AZ含嗽	基本は入院中の使用に限定する。知覚麻痺による咬傷、誤嚥のリスクに注意が必要がある。
ジクロフェナクNa+トランサミン+AZ含嗽	ジクロフェナクNaは水に溶けやすく、含嗽として局所に作用するため内服と比較し低用量で鎮痛効果が得られる。
保湿剤	
ジェル	コンクールマウスジェル（ウエルテック） リフレケアH（イーエヌ大塚製薬）
液	バトラージェルスプレー、マウスコンディショナー（サンスター）、コンクールマウスリンス（ウエルテック）

図9 含嗽剤・保湿剤（大阪赤十字病院にて使用）

・粘膜保護剤（エピシル[®]）

2018年度より保険適用となったエピシル[®]口腔用液は化学療法や放射線療法に伴う口内炎で生じる口腔内疼痛の管理及び緩和を物理的作用により行う医療機器である。口腔内の水分を吸収してゲル状の保護膜を形成し、化学療法や放射線療法による口内炎の痛みを軽減する。違和感がほとんどなく味覚にもほぼ影響を与えない。使用5分後から効果を発揮し、8時間効果が持続する。

・半夏瀉心湯

構成する7つの生薬に抗酸化作用、抗炎症作用、抗菌作用および鎮痛作用⁸⁾ があることが基礎研究より明らかになっている。口腔粘膜炎に対しては内服だけではなく含嗽においても効果があるとされている。

・亜鉛

MASCC／ISO Oのガイドラインでは放射線療法または化学放射線療法を受ける口腔がん患者に対し口腔粘膜障害予防のために亜鉛サプリメント

の経口全身投与の有効性を提言している⁹⁾。

・低出力レーザー

MASCC／ISO Oのガイドラインでは大量化学療法を併用する造血幹細胞移植（全身放射線照射の有無を問わない）を受ける患者に推奨されている。また、化学療法を併用しない頭頸部放射線療法を受ける患者に対し提唱している。

3.大阪赤十字病院における 周術期口腔機能管理

大阪赤十字病院歯科口腔外科では2016年10月より図10に示すようなシステムで周術期口腔機能管理を行っている。

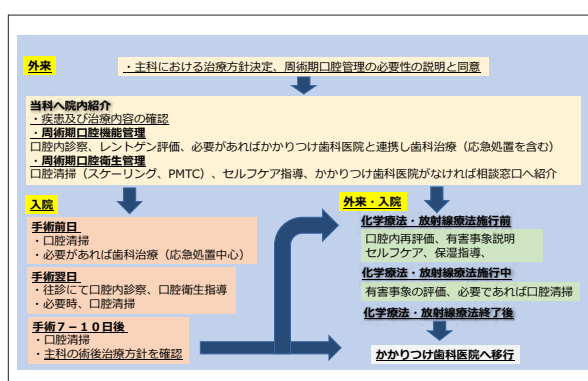


図10 大阪赤十字病院における周術期口腔管理

2016年10月から2019年3月まで入院下で手術のみ施行した男性761例、女性815例、計1576例の患者に対して周術期口腔機能管理介入を行った（図11）。年齢は20歳から95歳にわた

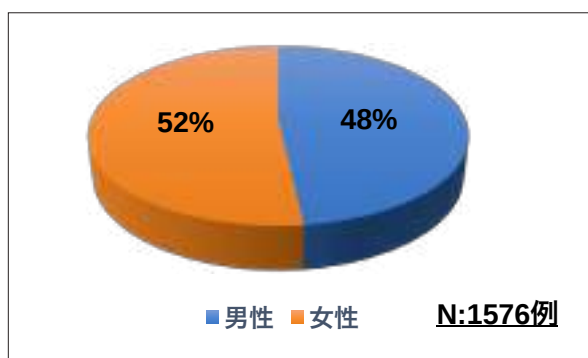


図11 男女比

り、平均値は67.4歳であった（図12）。手術部位は下部消化管、乳房、胃の順に多く、それらで約7割を占めた（図13）。周術期口腔機能管理中に当科で行った治療は歯牙固定が一番多く、義歯調整、C処置、抜歯の順であった。また、全体の

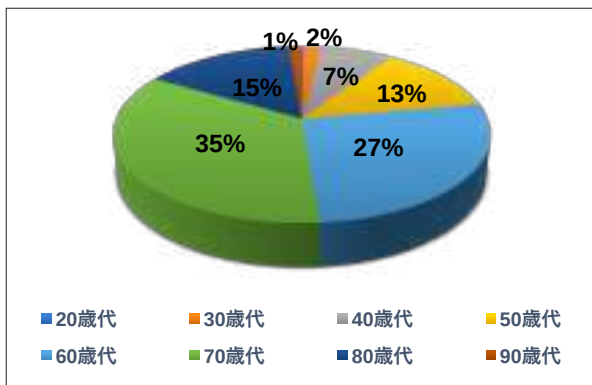


図12 年齢

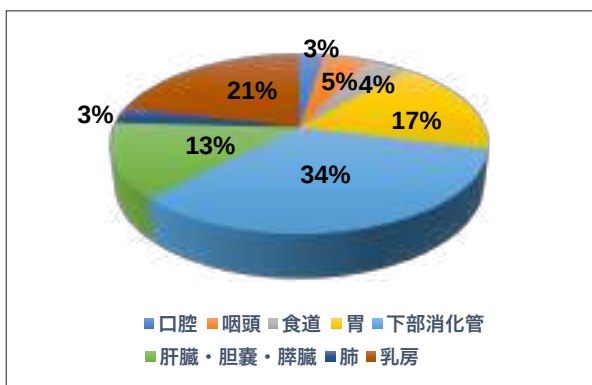


図13 手術部位

67%の患者がかかりつけ歯科を定期的に受診していた。

口腔機能管理の影響について2014年4月から2016年9月までの間に悪性腫瘍手術を受けた2380例と比較した。結果、在院日数、術後在院日数および術後合併症発症率（合併症：Clavien-Dindo分類GradeⅡ（CDⅡ）以上）で有意差は認めなかったが、口腔機能管理介入によって減少していた（図14）。また、周術期口腔機能管

	介入前		介入後	
在院日数（日）	20.4		18.2	
術後在院日数（日）	15.8		14.5	
合併症（人）	あり	なし	あり	なし
	352	2028	221	1355

図14

理介入を行った症例において、非喫煙者は喫煙者（一生涯で喫煙の既往がある患者は全て喫煙者に分類）に比べ術後の合併症発症率が有意に低く（図15）、定期的にかかりつけ歯科を受診していた者は受診していなかった者と比較して、術後の合併症発症率が有意に低かった（図16）。

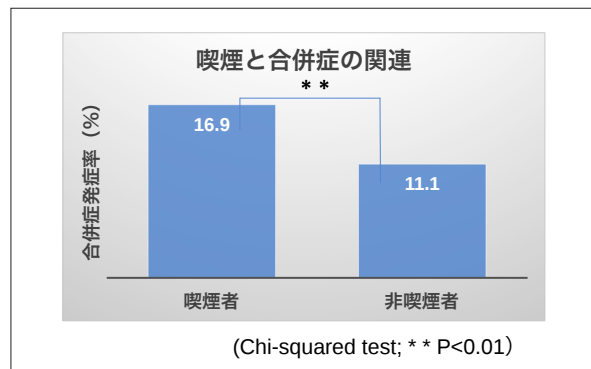


図15

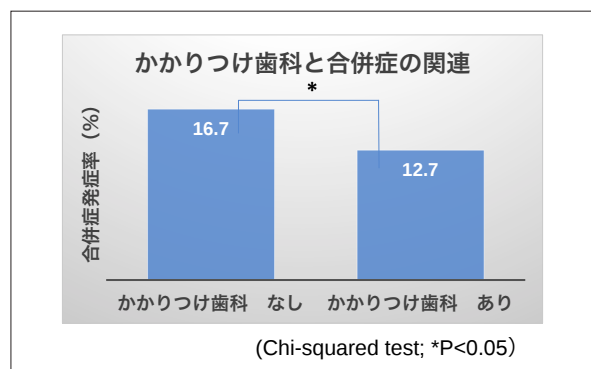


図16

<終わりに>

近年、がん治療の発展は目覚ましく、手術手技の進歩に加え、抗がん剤や分子標的薬、そして免疫チェックポイント阻害薬の使用など多岐にわたる。生命予後も大幅に改善しているが、それに伴い有害事象も以前に比べより複雑で重篤なものとなっている。特に、周術期管理の中で、食事や会話に関連する口腔の支持療法の重要性が高まっている。がん治療において周術期に専門的口腔管理介入を行うことで、効果的な治療がより安全に行われるだけでなく、治療中の患者の苦痛を軽減することでQOLを維持することに大きく貢献する。

周術期口腔機能管理の現状は2017年中医協報告によると、かかりつけ歯科医院がある患者は全体の約66%であるが、院内もしくは院外の歯科医師に周術期口腔機能管理に関する情報提供を行っている施設は約30%と極めて低い。また、2015年中医協報告によると医学部附属病院で医科歯科連携部門を設置しているのは約31%であり、治療医と口腔管理を行う歯科医師との連携不足が周術期の口腔機能悪化の原因と考えられている。

当院では定期的にかかりつけ歯科を受診してい

る患者の割合は全国平均とほぼ同程度であったが、術後合併症を予防するためには治療が決定されてからの口腔機能管理介入では不十分であり、定期的に歯科医院を受診することの重要性が再認識された。また、喫煙歴が術後の回復に大きく関係すると考えられ、引き続き禁煙について啓蒙する必要があると思われた。

2016年に新たに診断されたがん患者は約99万例であり、2014年の約86万例と比較し年々増加傾向にある¹⁰⁾。今後、症例数はさらに増加し、また、化学療法や放射線療法などの周術期が長期間になることが予測される。周術期の患者に十分な口腔機能管理を提供するためには病院歯科だけで行うのではなく、地域の歯科医院との連携構築が今後の課題である。

がん治療において口腔内の有害事象に対し適切に対応し、患者の栄養状態を良好に保つことは、治療を滞りなく施行することにつながるとともに、さらには生存期間の向上に貢献すると考える。そのためにも、医科・歯科連携のみならず、薬剤師や栄養士など多職種の医療スタッフ間の連携の取れたチーム医療の推進が必要である。

稿を終えるにあたり、大阪歯科大学同窓会報に発表の機会を与えていただきました関係の先生方に心より感謝申し上げます。

参考文献

- 1)EOCC(The European Oral Care in Cancer Group)
口腔ケアガイドンス 第1版日本語版.日本語版監訳:日本がんサポーターズケア学会・粘膜炎部会.
- 2)Al-Dasooqi, et al. Emerging evidence on the pathobiology of mucositis.Support Care Cancer 21: 3233–3241,2013.
- 3)Sonis ST. A Biological Approach to Mucositis.J Support Oncol 2:21–36,2004.
- 4)Valentini V, et al.Nutritional counselling and oral nutritional supplements in head and neck cancer patients undergoing chemoradiotherapy. J Hum Nutr Diet 25:201–208,2012.
- 5)Paccagnella A, et al.Early nutritional intervention improves treatment tolerance and outcomes in head and neck cancer patients undergoing concurrent chemoradiotherapy. Support Care Cancer 18:837–845,2010.
- 6)Scully C, et al. Oral mucositis. Oral Dis 12(3):229–241,2006.
- 7)Rubenstein EB, et al. Clinical practice guidelines for the prevention and treatment of cancer therapy–induced oral and gastrointestinal mucositis. Cancer 100(9 Suppl):2026–2046,2004.
- 8)Kono T, et al . Multitargeted Effects of Hangesha shinto for Treatment of Chemotherapy–Induced Oral Mucositis on Inducible Prostaglandin E2 Production in Human Oral Keratinocytes. Integr Cancer Ther 13(5):435–445,2014.
- 9)Ertekin MV,et al.Zinc sulfate in the prevention of radiation–induced oropharyngeal mucositis :a prospective, placebo–controlled, randomized study. Int J Radiat Oncol Biol Phys 58:167–174,2004.
- 10)国立がん研究センター がん情報サービス ホームページ記載データ



高精度舌癌高線量率組織内照射 ～究極の四次元追跡治療～

大阪歯科大学歯学部 歯科放射線学講座

講師 秋山 広徳

1. はじめに

超高齢社会を迎え、患者負担の少ない癌治療として放射線治療が注目されています。1980年代に高線量率線源を遠隔操作で癌に送り込む装置（Remote After Loading System; RALS）が本邦に導入されました。これにより、従来の低線量率線源を用いた治療の課題であった術者被曝が皆無となりました。我々は、根治的舌癌治療としてRALSを用いた高線量率照射を積極的に行っております。

2. 放射線治療で癌を治す

放射線には細胞内のDNA二重鎖を切断する作用があります（図1）。この作用は癌細胞、正常

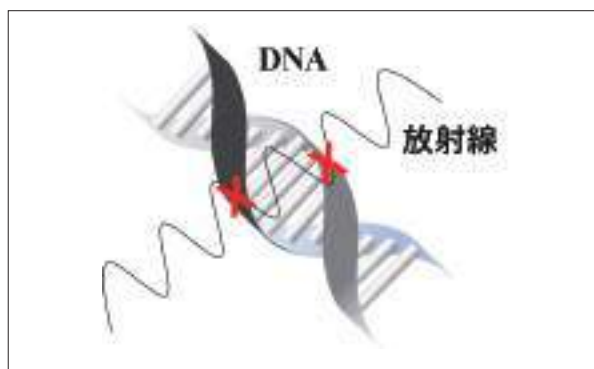


図1 放射線は細胞内のDNA二重鎖を切断します。

細胞ともに生じ、放射線がある一定以上照射されると細胞は死滅します。正常細胞に照射されると、有害反応が生じます。つまり、放射線で癌を治療するには癌細胞のみに放射線を集中的に照射し、正常細胞には照射しないことが重要です。100%の線量集中性があれば有害反応なく、治療可能です。現在普及しつつある強度変調放射線治

療（Intensity Modulated Radiation Therapy; IMRT）や粒子線治療はまさに癌のみに放射線を外部から集中させる技術として開発されました。しかし下顎骨被曝量の問題など、まだ完全な治療法とはいえません¹⁾。それに対し、高線量率組織内照射は癌に放射線を出す粒状線源（放射性同位元素；Radioisotope；RI/主にイリジウム）をチューブを介して送り込みます（図2）。これにより、癌のみに線量をより集中させることができます。

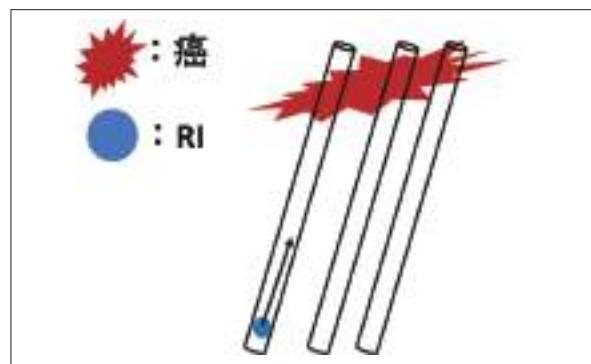


図2 高線量率組織内照射

チューブ内を遠隔操作で放射線を出す物質（RI；放射性同位元素）が移動し、癌内部に送り込まれます。

3. 高精度舌癌高線量率組織内照射

高精度に照射するためには的確なチューブ留置と確実な癌への線量投与が重要です。

3-1 的確なチューブ留置（図3）

- ①局所麻酔もしくは全身麻酔下で癌に中空の金属針を顎下部から刺入します
- ②中空金属針内にチューブを通します。
- ③金属針を抜去します。

以上でチューブが癌に留置されます。癌の大きさに応じて、この操作を繰り返し、必要本数のチューブを留置します。

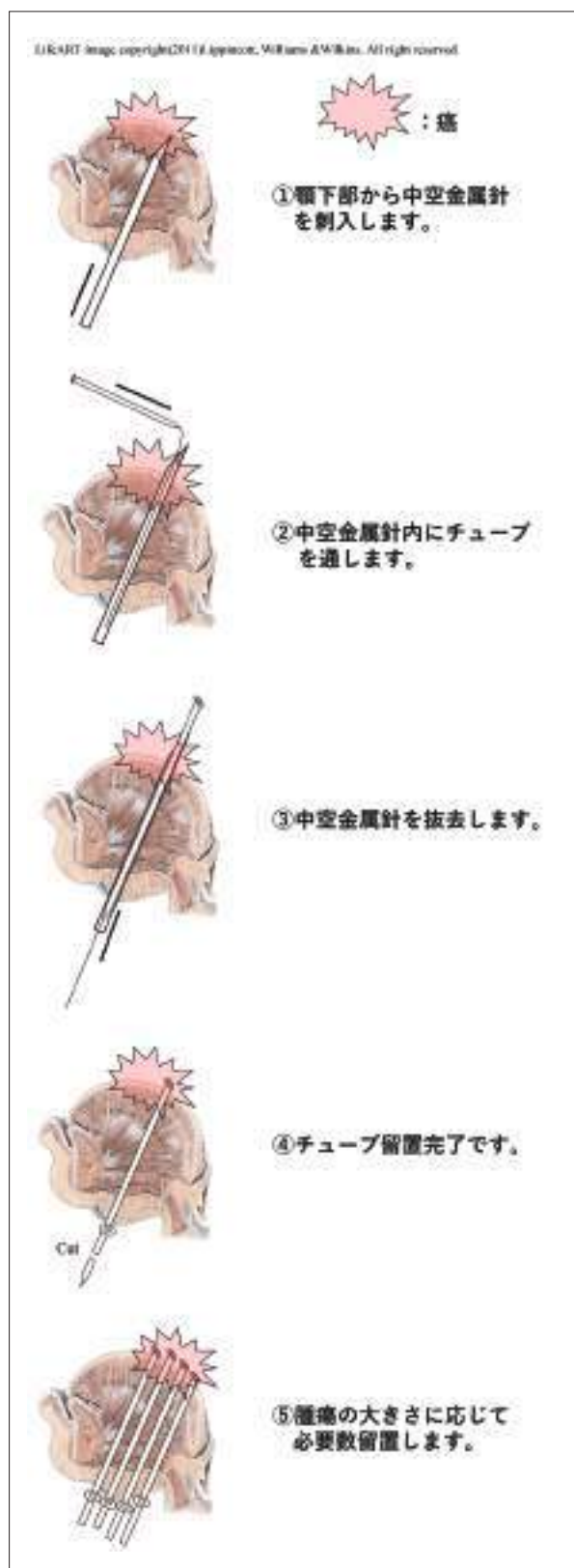


図3 舌癌高線量率組織内照射におけるチューブの留置

的確なチューブの留置には癌の進展範囲の把握が重要となります。そこで留置前の画像診断、視診および触診に加え、癌の粘膜面進展の把握にルゴール染色を利用しています。さらに、術中超音

波画像を撮像することでよりの確な留置が可能となります²⁾。(図4)

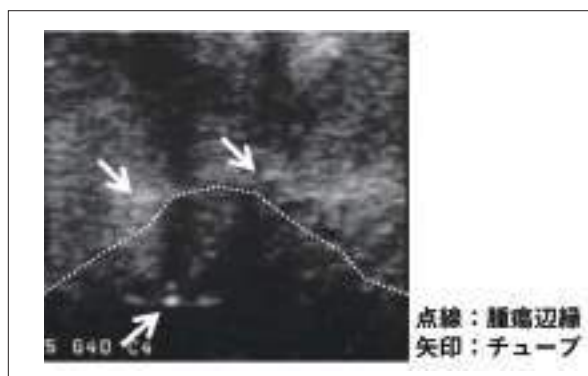


図4 術中超音波画像による癌進展範囲の把握
癌病巣にチューブが留置されているのがわかります。

3-2 確実な癌への線量投与

①チューブ留置後、CTおよびMRIを撮像し、治療計画装置上で、癌および周囲危険臓器（下顎骨や耳下腺、顎下腺）を3次的に描記します（図5）。その際、CTとMRIの融合画像も利用します（図6）²⁾。

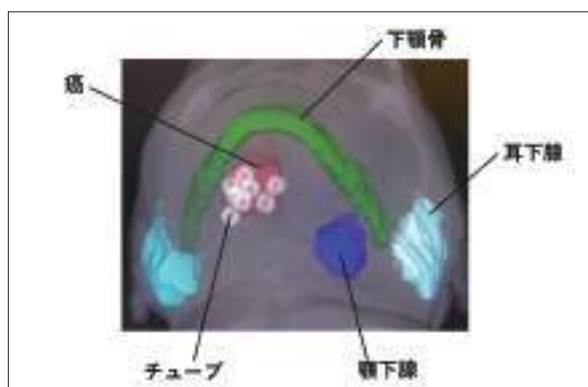


図5

癌および周囲危険臓器（下顎骨や耳下腺、顎下腺）を3次的に描記します。

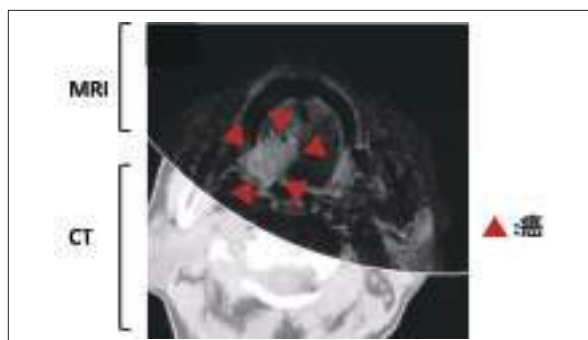


図6

MRIとCTの融合画像により正確な癌進展範囲を把握します。

②癌に必要な線量が投与され、周囲危険臓器が極力被曝しないように調整しながら治療計画を立てます（図7）³⁾。

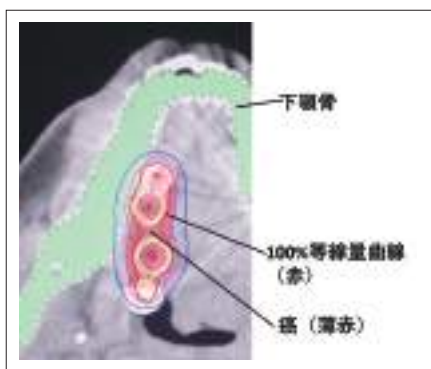


図7
危険臓器被曝量を極力下げながら、癌に必要線量を投与した線量分布図です。

③線源が格納された治療装置とチューブを連結し、遠隔操作で線源をチューブ内へ送り込みます(図8)。その際、下顎骨被曝量を軽減するため、舌と下顎骨の間に鉛ブロックを挿入します(図9)。



図8 高線量率組織内照射の治療風景

チューブと、線源が格納された治療装置を連結します。遠隔操作で線源がチューブ内を通過し癌病巣に送り込まれます。



図9
照射時、下顎骨被曝量を軽減するため、舌と下顎骨の間に鉛ブロックを挿入します。

治療終了後、チューブと治療装置の連結を解除します。この操作を1日2回、約1週間繰り返します。最終回の治療が終了すると、チューブを患者体内から抜去します。

治療に際して、舌が動くことが考えられます。しかし、舌と同調してチューブも動きます。このように高精度舌癌高線量率組織内照射は、3次元的な癌進展範囲の把握に加え、その動きまでも考慮に入れた究極の四次元追跡治療であるといえます。

4. おわりに

高精度舌癌高線量率組織内照射は手術と同程度の治療成績をあげています。

我々はさらなる高精度化を目指し、より正確な線量計算が可能な次世代治療計画装置を用いた検討などを積極的にすすめております。これにより、さらなる線量集中性および治療成績向上が実現できます。舌癌に対する重要な治療オプションとして高精度高線量率組織内照射をご考慮いただければ幸いです。

謝 辞

いつもご指導いただき、また、本稿作成の貴重な機会を与えていただきました歯科放射線学講座清水谷公成教授に深甚なる感謝を申し上げます。さらにいつも支えていただいております、歯科放射線学講座ならびに中央画像検査室の全スタッフに御礼申し上げます。

放射線治療のみならず、全身的な疾患に関して幅広くご教示いただいております、大阪医科大学吉田謙先生をはじめ、大阪医療センター、京都府立医科大学、近畿大学、大阪大学の先生方に心より感謝申し上げます。

参考文献

- 1) Akiyama H, Pesznyák C, Béla D, Ferenczi Ö, Major T, Polgár C, Takácsi-Nagy Z. Image guided high-dose-rate brachytherapy versus volumetric modulated arc therapy for head and neck cancer: A comparative analysis of dosimetry for target volume and organs at risk. Radiol Oncol. 2018;52(4):461-467
- 2) Yoshida K, Takenaka T, Akiyama H, et al. Three-dimensional image-based high-dose-rate interstitial brachytherapy for mobile tongue cancer. J Radiat Res. 2014;55(1):154-61.
- 3) Akiyama H, Major T, Polgár C, Takácsi-Nagy Z. Dose-volume analysis of target volume and critical structures in computed tomography image-based multicatheter high-dose-rate interstitial brachytherapy for head and neck cancer. J Contemp Brachytherapy. 2017;9(6):553-560.

1

令和元年5月25日(土)、26日(日)

コース

明日から使える歯内療法のエッセンス 2019 ～ 髄腔開拓から根管拡大・形成・根充まで ～

大阪大学大学院 歯学研究科臨床教授 木ノ本 喜史

令和元年5月25日(土)・26日(日)の2日間、
本学天満学舎においてポストグラデュエートコース
第1コースが開催されました。

本プログラムコースの講師は、木ノ本喜史先生
(大阪府吹田市開業・大阪大学大学院歯学研究科
臨床教授)で、講義と実習を行う人気のハンズオン
セミナーで、毎回申し込み開始直後には定員が
超えてしまうほどの人気があり、今回で5度目の
開催となりました。

1日目は午後3時開始、歯内療法の基本、髄腔
開拓と根管拡大についての講義があり、その後、
アクリルブロックを使用した基本動作の確認後、
作図にて髄腔開拓の形を学び、抜去歯にて根管拡大
の実習を行いました。

2日目は、午前中に感染根管の攻略法、根管洗
浄、根充についての講義の後、抜去歯にて髄腔開
拓、根管口明示、根管拡大、形成を各社のニッケ
ルチタンファイルにて行い、そしてマイクロス
コープによる確認を行いました。午後は、色々な
コアーの除去法(ダブルドライバートニック・
ダブルバイブレーション法)についての講義があ
り、午前の実習の続きと根充、超音波振動装置の
使い方を実習しました。



2日間のコースで、髄腔開拓から根管拡大・形成・
根充までを網羅したと充実の内容となりました。

木ノ本先生は、受講生の席をくまなく周られ、
受講された先生方に合った治療手技をマンツーマ
ンで手解きされておられました。

色々な歯内療法の機器を用いて施術する事によ
り、安心・安全・迅速にという日常臨床で求めら
れる歯内療法を実践するきっかけになったと思い
ます。

本コースは21名の受講生が講習を修了しまし
た。非常に満足度の高いコースと受講生の評価を
頂き本学同窓会が主催するポストグラデュエート
のバリュー感を再認識した2日間となりました。

(PGC委員 大42回 釜田 隆 記)



健康長寿と口腔健康を守る口腔細菌叢 ～口腔細菌フローラのトレンドを知る～

大阪歯科大学 細菌学講座主任教授 沖永 敏則

令和元年6月2日(日)、ポストグラデュエートコース2コースが本学天満橋学舎で開催されました。

今回は、昨年、九州歯科大学より本学細菌学講座主任教授に着任されました沖永敏則先生に「健康長寿と口腔健康を守る口腔細菌叢～口腔細菌フローラのトレンドを知る～」というテーマでご講演頂きました。

私を含めて臨床医である先生方にとって、基礎分野である細菌学は日頃、触れる機会は少なく、やや難解な印象でしたが、基礎的な知識から論文報告まで幅広い分野を非常に分かりやすく講義頂きました。

近年、体に存在する常在細菌叢、特に腸内細菌叢がヒトの健康において重要な役割を果たしていることが明らかになっていますが、口腔内にも口腔微生物叢(口腔フローラ)が存在します。私が学生時代に学んだ細菌学とは時代が変わり、次世代シーケンサーを使った解析によって、個々の病原細菌だけではなく常在細菌叢のバランスや細菌

同士のコミュニケーションが重要であることが分かっています。口腔環境は特殊性が強く、舌や唾液中、歯面、歯肉溝など部位によって特有のフローラを形成しますが、口腔細菌は一見関係のないように思われる大腸癌や膵癌、アルツハイマー病、脳内出血などの全身疾患、さらにはフレイルとも関連することを最新の論文を含めてご教示頂きました。また、実際に本学細菌学講座で行われている菌叢を変えるための酵素タブレットの開発など、今後の臨床応用への可能性まで非常に分かりやすく説明して頂きました。

当日は、本学卒業生のみならず他大学出身の先生方も含めて33名の受講生が講習を修了致しました。半日ではありましたが、非常に濃密な満足度の高いコースとなり、口腔細菌の可能性を感じる1日となりました。

(PGC委員 大57回 渡辺昌広 記)



何から始めたらいいの？ 歯科訪問診療！ ～ 知って安心、在宅医療 ～

日本老年歯科医学会 摂食機能療法専門歯科医師 芦田 貴司

令和元年7月28日(日)、2019年度ポストグラデュエートコース3コースが、講師として宝塚市にて開業の芦田貴司先生(大39)と、神戸常盤大学短期大学口腔保険学科講師であり歯科衛生士の澤田美佐緒先生を招いて開催された。受講者数は、学生1名を含む38名であった。

芦田先生は、早くから在宅医療に精通され介護支援専門員(ケアマネージャー)の資格もお持ちで、地域における訪問歯科診療のあり方を深く理解されている。また、澤田先生は、衛生士として市民病院にて15年間勤務後、ケアマネージャーの資格を取られ長野県にて長らく介護予防活動に従事し、現在は大学講師として後進の指導とともに現場で訪問歯科衛生士として活躍されている。このような現場を熟知し、多くの経験を積まれた講師によるコースは、訪問歯科診療を始めようとする受講生からもっと本腰を入れて取り込もうとする受講生まで、得るものの大変多いものとなった。

コースは、芦田先生の講義から開始された。訪問歯科診療を始める場合の医院全体での理解の重要性について、居宅系と施設系の違いや医療保険制度と介護保険制度について、ケアマネージャーとの関わりと他職種に対する報告や文書記録の重要性などについて詳しく解説された。さらに、現在歯科が医科を含めた他職種から必要とされ始めているこのチャンスを逃さず行動すべきことを力説された。その後の澤田先生の講義では、衛生士としてホームである医院内では自分vs患者の1対1の関係であるのに対して、訪問歯科診療ではアウェイであると同時に自分vs患者・介護者・他職種の1対多の関係であることや、患者や介護者の状態にあわせて衛生士の立ち位置を決めて行動すること、患者の生活パターンから訪問計画を立



てること、口腔のケアマネジメントは患者のリスク程度に合わせて進めること、介護者や訪問看護師などの口腔ケアに係わる方には、無理のない指導をすることなどを講義された。どちらの講師も歯科医あるいは衛生士として患者を治療やケアをするだけでなく、介護者やその周辺関係者とうまく連携し情報交換することがいかに重要であるかについて詳しく説明された。

午後からは、芦田先生が「訪問診療実践編」をわかりやすく講義され、嚥下障害に対する訓練法に関しても症状に応じた実際に効果のある訓練法を紹介して頂いた。講義後、VE検査機器を用いた嚥下障害の検査をリアルなマネキンで体験する実習と、口腔機能低下の検査機器の実習が行われた。実習終了後質疑応答となったが、熊本から来られた受講生は、これまで何度も医療保険などの講習を受けたが今回のものが最も分かりやすく、頭がクリアになったという感想を述べられた。訪問診療はアウェイで行動することで生じる不安から積極的になれないことが多いが、今回のコースは、そのような不安を払拭してくれる大変有意義な講習会であった。(PGC委員 大39回 仲西健樹 記)

支部だより

支部だより

クラス会だより

紫媛会だより

クラブOB会だより

会員投稿

大阪歯科大学学内ニュース

関東支部

大阪歯科大学同窓会関東支部 2019年度総会・講演会・春季懇親会

令和元年5月12日（日）に、大学理事長・学長の川添堯彬先生、本部同窓会の生駒等会長、恩田信雄専務理事をお迎えして、同窓会関東支部の総会・講演会および春季懇親会を開催しました。

総会では、生駒会長にご挨拶を、恩田専務理事に本部報告をお願いしました。まず、支部報告として、私（杉田）から支部会役員出張および物故者など報告を行いました。この後、支部会の決算、事業計画、予算、役員改選が審議され、各議案は可決成立しました。

講演会は、今春から大学の生理学講座主任教授に就任された合田征司先生（大43）から、アメリカ留学中や前任の神奈川歯科大学における成果

も含めて、これまでに手がけられた臨床および研究内容をご紹介いただきました。

春季懇親会では、支部会会員14名のほか、川添理事長、合田教授、生駒会長、恩田専務理事、ならびに明海大学歯学部東京都同窓会から5名、朝日大学歯学部同窓会東京都支部から3名の役員の皆様も例年通り応援参加して下さい、賑やかに会食を楽しむことができました。

最後になりましたが、総会での役員改選により、私は支部会の会長に再選されました。かなり手一杯な状況の中、支部会役員の皆様にはご迷惑ばかりおかけしておりますが、微力ながら誠実に務めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

（大31回 杉田 憲司 記）



2019年度関東支部春季懇親会 於 南国酒家原宿店 令和元年5月12日

石川県支部

平成30年度石川県支部会秋期臨時総会・ 北陸三県支部会ならびに学術講演会

平成30年12月1日（土）、当日は如何にも北陸の冬らしい気候の中に大阪歯科大学同窓会より恩田信雄専務理事（大21）、大塚俊裕常務理事（大28）、大阪歯科大学からは中嶋正博病院長（大27）、小児歯科学講座有田憲司教授（大28）をお迎えして、平成30年度石川県支部会秋期臨時総会・北陸三県支部会ならびに学術講演会が和倉温泉「加賀屋」にて開催された。

総会に先立ち、新本達也理事（大38）による保険Q&A、有田憲司教授による「行動科学に基づいた小児への対応～怖くない・痛くない歯科治療法について～」と題して学術講演会が行われた。

引き続き、北陸三県支部会が開催された。飯利邦洋専務理事（大33）の司会により東山一博副会長（大26）の開会の辞が行われ、来賓紹介へと進んだ。

次に石川県支部会扇谷義郎会長（大24）、福井県支部大森正男会長（大21）、富山県支部山村辰雄会長（大23）がそれぞれ挨拶を述べた。

来賓挨拶を恩田信雄専務理事、中嶋正博病院長から会務報告を含めた現状をお伝え頂いた。

その他、安井秀樹理事（大33）より石川県立歯科医療専門学校の現状を報告頂いた。

会はスムーズに進行し、佐々木康雄副会長（大32）の閉会の辞により平成最後の北陸三県支部会は閉会した。

北陸三県支部会終了後、石川県支部会秋期臨時総会が同じく、飯利専務理事の司会進行で行われた。扇谷会長の挨拶の後、安井敏成先生（大29）が議長に選出された。

次に、飯利先生より石川県歯科医師会副会長の立場から県歯報告、石川県支部専務理事としての会務報告があった。

議件に移り、次期大阪歯科大学同窓会石川県支部会会長選について説明があり引き続き扇谷先生が支部会長に選出され承認された。

報告事項として、井東竜彦理事（大40）より来年2月に行われる朝日大学との合同学術講演会の説明、案内があった。次に千田恭恵理事（大33）より来年3月に開催される石川県歯科医師会主催によるボウリング大会の案内があった。

以上、臨時総会は滞りなく進行し、飯利専務理事の閉会の辞で終了した。その後、会場を移し佐々木路雄理事（大30）の司会進行のもと懇親会が始まり、和やかな雰囲気の中、親睦を深めた。

（大40回 光谷正博 記）



平成30年度石川県支部会秋期臨時総会・北陸三県支部会ならびに学術講演会 於 和倉温泉「加賀屋」 平成30年12月1日

福井県支部

大阪歯科大学同窓会福井県支部 平成30年度臨時総会・懇親会

去る3月23日（土）18時より福井市 ユアーズホテル福井・桜の間にて、大阪歯科大学同窓会福井県支部臨時総会が執り行われました。

大森正男会長（大21）の挨拶の後、来賓である大阪歯科大学同窓会生駒等会長・恩田信雄専務理事のお二人よりご挨拶いただきました。

生駒会長からは、同窓会設立100周年記念大会「感謝 そして 新時代への挑戦」にかける熱い想い、とりわけ「大歯魂」の結集として3,000人の校歌斉唱の実現を熱望されていました。

恩田専務理事からは、会務・学内報告ならびに国家試験の結果と状況分析などお話しいただきました。

平成30年度の会務報告では、4月14日（土）三方「彩かさね」での総会（16名参加）に始まり、7月26日（木）には「顔の見える医療連携」～内科医と一緒に考える有病者の歯科治療～と題して、大阪歯科大学名誉教授 大久保 直・小谷 順一郎両先生を講師にお迎えしての大阪歯科大・朝日大学合同（46名参加）の学術講演会とビア

パーティー。12月1日には、支部旅行と忘年会を兼ね、和倉温泉「加賀屋」で執り行われた、北陸三県支部会・合同学術講演会・懇親会への参加。2月24日（日）前福井県歯科医師会会長の山本 馨先生（大20）の叙勲記念祝賀会などが報告されました。

次年度事業計画案としては、永らく休止状態であった朝日・明海両大学との合同の「十日会」を、年に数回程度開催する。臨床に則したテーマの夏期講習会とビアパーティーの開催、10月19日（土）金沢湯桶温泉での北陸3県合同同窓会への参加が発表されました。

平成31年度予算案に続き、来る大阪歯科大学同窓会100周年記念大会への全員登録については、本県も全員登録する決定がなされました。

「水仙の間」に移動しての懇親会では、100周年の紹介ビデオが初上映され、参加者それぞれに郷愁あふれる映像に魅入られる出来映えで、完成版が楽しみな限りでした。

生駒・恩田両先生にもご参加いただいた懇親会で、記念撮影や酒宴とともに2時間余の濃密な宴を刻む一夜となりました。

（大37回 齋藤浩一 記）



平成30年度福井県支部臨時総会 於 ユアーズホテル福井 平成31年3月23日

京都府同窓会

2019 年度大阪歯科大学 京都府同窓会総会、学術講演会、 新卒業生歓迎・会員家族懇親会

平成31年4月20日（土）午後3時から2019年度大阪歯科大学京都府同窓会総会、学術講演会、新卒業生歓迎・会員家族懇親会を蹴上のウェスティン都ホテル京都西館4階「瑞穂の間」にて開催した。

総会は秋山淳司専務理事（大25）の司会のもと、高島 洋副会長（大16）の開会の辞で始まり、久富明宏会長（大16）の挨拶と続き、ご来賓としてお越しいただいた生駒 等本部同窓会会長、恩田信雄本部同窓会専務理事より同窓会の現状、大阪歯科大学同窓会設立100周年記念事業の進捗状況についてお話しいただいた。

引き続き秋山専務理事より会務報告、奥田啓之理事（大38）より会計、岩崎万喜子理事（大38）より共済現況等の報告がされた。続けて、秋山専務理事より2019年度事業計画案、長谷川一弘常務理事（大32）より一般会計、弘部俊彦常務理事（大28）より共済部会計の各予算案が説明され、審議の結果満場一致で可決成立した。この後、久富会長より卒寿、米寿、傘寿、喜寿、古希のお祝い金が贈呈され、代表の森 良太会員（大16）から謝辞が述べられた。最後に三宅晴記副会長（大21）の閉会の辞にて終了した。

この後、同宴会場にて学術講演会が行なわれた。

本年度は日程を変更し、総会に引き続き開催した。岩佐勝也理事（大32）の司会のもと、大阪歯科大学口腔衛生学講座主任教授の三宅達郎先生に「口腔衛生学から見た平成期の口腔保健・歯科医療の変化と今後の方向性」と題して約1時間ご講演いただいた。本年度は例年に比べ多数の会員の先生方が熱心に講演を聞かれた。

午後6時より隣室にて新卒業生歓迎・会員家族懇親会が福島磨里理事（大41）の司会にて開催された。久富会長の挨拶で始まり、来賓としてお越しいただいた岡本 学本部同窓会副会長（大16）、川添堯彬学校法人大阪歯科大学理事長・学長、安岡良介京都府歯科医師会会長（大30）からご挨拶をいただいた。その後、新卒業生が壇上に上がり、順番に抱負を述べられ、同窓会より記念品が贈呈され、最後に新卒業生より謝辞が述べられた。

続いて末瀬一彦奈良県同窓会会長（大24）の乾杯のご発声にて開宴となった。懇親会では来賓の先生方、支部会員が旧交を深め、笑い声の絶えない大変楽しい懇親会となった。最後に大河貴久先生（大54）のエール交換、参加者全員での学歌斉唱に続き本事業を最後に退任される秋山専務理事の閉会の辞にて全日程を無事終了した。

（大41回 出口 明 記）



2019年度京都府同窓会総会、学術講演会、新卒業生歓迎・会員家族懇親会
於 ウェスティン都ホテル「瑞穂の間」 平成31年4月20日

奈良県支部

大阪歯科大学同窓会奈良県支部 評議員会・学術講演会・懇親会

2019年度奈良県同窓会が、橿原高市地区の担当で6月16日（日）午後1時より、THE KASHIHARAにて開催された。

○開会の言葉

○会長挨拶

○報告事項

（1）会務報告

（2）監事報告

○議事

（1）平成30年度事業報告について

（2）平成30年度歳入、歳出決算について

（3）2019年度事業計画（案）について

（4）2019年度歳入、歳出予算（案）について

（5）次期会長・監事の選出について

（6）大学同窓会100周年記念行事参加登録について

（7）その他

○閉会の言葉

総会での議決事項

＊平成30年度の事業ならびに歳入・歳出報告が承認された。

＊2019年度（今年度から西暦表示）事業計画案・歳入・歳出案が承認された。

＊任期満了に伴う次期会長・監事について、末瀬一彦会長（大24）の留任が承認された。監事については地区輪番制により、承認された。

＊2020年10月24日開催予定の「大阪歯科大学同窓会設立100周年記念大会」には、奈良県同窓会として全員登録することが承認された。なお、登録費についても奈良県同窓会で負担する旨、承認された。

＊次回2020年度奈良県同窓会は「奈良県同窓会設立50周年記念大会」として開催することが承認された。なお、担当は執行部が行うことも承認された。

＊会長からのお願いとして、会員の同窓会事業への参加促進、同窓会事務局からの各種案内に関しては速やかに必ず返信するよう指示された。

学術講演会

午後2時30分からは、「歯科治療において診ることと視ることの重要性～一本の補綴からフルマウスリコンストラクションまで～」と題し、講師に元大阪SJCD会長の松川敏久先生（大38）をお迎えして、学術講演会が開催された。日々の診療において大変有意義な内容であった。



2019年度奈良県同窓会 於 THE KASHIHARA 令和元年6月16日

懇親会

懇親会では末瀬会長が、「大学同窓会には100年の歴史があり、来秋の100周年記念祝賀会に奈良県同窓会全員が参加できることを誇りに思う」と話された。また、奈良県歯科医師会次期会長候補の東浦宏守先生（大28）に同窓会としてエールを送られた。

来賓挨拶では、本部同窓会、生駒等会長が記念式典に対する抱負を述べられ、全国を回り参加者3,000人の確保をする事を約束され、川添堯彬理事長・学長は、「奈良県からの受験人数も増加し、入試倍率も3.9倍に達しており、喜んでいる次第である。海外留学の希望者も増加し、学生たちに勢いが感じられる」と話された。

また奈良県歯科医師会 森口浩充会長（大19）は「3期6年務められたのも同窓会のおかげである」と話された。

京都府同窓会会長 久富明宏先生（大16）の乾杯の音頭で懇親会が始まり、新入会の先生方の紹介、在校生の紹介に続き、奈良市歯科医師会 富森克典先生がメインボーカルの「T & J」による演奏、ビンゴゲームなど楽しいアトラクションがあり、仲川卓範先生（大48）によるエール、大阪大学歯学部 奈良県同窓会 中川 徹会長による万歳三唱で閉会となった。

お忙しいところ錦上花を添えていただいた来賓の先生方、またご出席いただいた奈良県同窓会会員の皆様方、ありがとうございました。

（大34回 泉 俊彦 記）

和歌山県支部

大阪歯科大学同窓会和歌山県支部 令和元年度 総会・学術講演会・懇親会

令和元年7月27日（土）午後2時よりホテルグランヴィア和歌山にて、令和元年度大阪歯科大学和歌山県同窓会総会・学術講演会がとり行われました。

総会では、専務理事 加山勝敏先生（大28）の司会のもと新会長 平林正樹先生（大15）の会長挨拶があり、議長 岩井正人先生（大30）、副議長 西尚志先生（大35）が選任され議事へと移りました。議事として平成30年度事業・会計報告ならびに令和元年度事業計画案・予算案についての審議と2020年に開催される”大阪歯科大学同窓会設立100周年記念事業”が議題に上がり、出席者賛同多数にて本会会員一丸となってこれに協力していくことに決定し総会終了となりました。

総会終了後の学術講演会では、大阪歯科大学口腔外科学第一講座主任教授 井関富雄先生（大29）を講師としてお招きし「口腔感染症への対応」を演題に、日常臨床における基本的考え方や手技、また昨今取りざたされているビスホスホネート製剤関連による顎骨壊死など臨床における注意点などについてご講演いただきました。

学術講演会に引き続き行われた懇親会では、大



和歌山県同窓会 新会長 平林正樹先生（大15）

阪歯科大学和歌山県同窓会 平林新会長より開会の辞、続けてご来賓の挨拶として最初に大阪歯科大学学長・理事長 川添堯彬先生に現在の大学の近況報告と新設された医療保健学部についてもお話しいただきました。次いで大阪歯科大学同窓会会長 生駒 等先生からは来年とり行われる”大阪歯科大学同窓会設立100周年記念事業”についてお話し下され、和歌山県歯科医師会会長 中西孝紀先生からも過分なご祝辞をいただきました。続いて本年度の叙勲受賞者として海堀昭彦先生（大14）の瑞宝双光章受章に対して記念品贈呈と海堀先生からひと言いただきました。また平成18年より13年間もの長きにわたり本会同窓会の会長を務められました前会長井関功先生（大8）への記念品贈呈と井関先生のご子息 井関富雄先生

の大阪歯科大学口腔外科学第一講座主任教授就任をお祝いし、合わせて記念品を贈呈させていただきました。

最後に今年度、大阪歯科大学和歌山県同窓会に新たに入会されました郷 与志彦先生（大38）、山中敦生先生（大50）の2名の先生のご紹介と挨拶の後、大阪歯科大学滋賀県同窓会会長 芦田

欣一先生（大18）の乾杯により開宴となりました。暫し歓談の後、最後に小嶋一史先生（大47）のエールと全員での大阪歯科大学学歌斉唱、副会長 江見啓志先生（大24）の閉会の辞にて散会となりました。

（大51回 岡本圭司 記）

大阪府同窓会

大阪歯科大学大阪府同窓会 平成30年度通常総会

平成31年2月26日（土）午後2時から大阪歯科大学創立100周年記念館大講義室にて、第3回常務理事会・理事会（合同）が開催され、常務理事会・理事会（合同）終了後、平成30年度大阪府同窓会通常総会を開催しました。

通常総会においては、平成30年度収支中間報告、次年度（2019年度）事業計画及収支予算案について協議され、原案通り承認されました。また、本総会では、長年の懸案であった年会費の改定についても協議がなされました。年会費は、昭和56年から38年間据え置かれていましたが、会員数の減少に歯止めがかからず、また、本部からの補助金カット（2020年度までの支払い停止）もあり、このままでは財務状況が非常に厳しく、会務活動にも支障が出ることから年5,000を年10,000円に値上げすることにご承認いただきました。会員にはご負担をお掛けすることになりますが、ご意見やご提案に対して、ご期待にそえるよう役員一同努力していくことになりました。

また、来年に迫った同窓会100周年記念大会のプレ大会ともいえる会員・家族大会、新卒業者歓迎



大会を2019年度は開催することも決定しました。

（大28 大塚俊裕 記）

大阪歯科大学大阪府同窓会 令和元年度臨時総会

令和元年7月6日（土）大阪マーチャングイズ マートビル会議室（グラン101、102）において、第4回常務理事会・理事会（合同）を開催しました。また、常務理事会・理事会（合同）終了後に、令和元年度大阪府同窓会臨時総会を開催しました。

臨時総会においては、平成30年度収支決算と大阪府同窓会の会則改正について協議されました。決算報告については提案通り承認され、会則改正についても一部条文の入れ替えをすることで原案通り承認されました。今回、会費改定に伴い会則改定を行ったが、合わせて会務運営に即した形で会則全般について見直しを実施したため、大幅な改定がなされました。

総会終了後には、理事、支部長、クラス代表者合同会議が開催され、10月に開催される会員・家族大会、新卒業者歓迎大会について、実行委員会メンバーを選任しました。

（大28回 大塚俊裕 記）



大阪歯科大学大阪府同窓会 令和元年度学術講演会

令和元年7月20日（土）大阪歯科大学創立100周年記念館中講義室にて、令和元年度大阪府同窓会学術講演会が開催しました。

講師に大西祐一先生（大阪歯科大学口腔外科学第二講座 准教授）をお招きし、「口腔がんの最新の治療と診断—口腔がん



を見落とすな、歯科医院で救える命がある—」という演題で、講演をして頂きました。

堀ちえみさんの舌がんの報道以来、国民の口腔がんに対する意識と歯科医師に対する注目度は明らかに高くなっております。口腔は他領域と異なり、直視が可能で触ることができるため、診断が容易なことが利点ですが、初期がんや表在性のがん、そして堀ちえみさんのようにリウマチなどの基礎疾患を有する場合は、診断が困難な場合も多々あると解説され、口腔がんの数多くの症例を挙げ、診断の要点又最新の治療方法等を丁寧にわかりやすくご講演いただきました。

（学術部 大29回 水川健司 記）

兵庫県同窓会

ごまかしのない心が大事



学術講演会

演題 「日常生活の中で修業」

講師 比叡山千日回峰行者 大行満大阿闍梨
比叡山延暦寺一山 長壽院 住職
藤波 源信 師

大阪歯科大学兵庫県同窓会は平成31年兵庫県1月26日（土）午後3時から兵歯会館5階ホールで学術講演会を開催した。今回の講師は比叡山延暦寺 山長壽院 住職 藤波源信師。

藤波源信師は1959年（昭和34年）三重県四

日市市生まれ。比叡山延暦寺の千日回峰行を平成15年に達成し49人目の北嶺大行満大阿闍梨となった。

千日回峰行とは7年をかけて行う修行で3年目までは比叡山山中を1日30キロ、毎年100日間歩く。4年、5年目は同じ行程を年200日、合計700日を終えて9日間の断食、断水、不眠、不臥（横にならないこと）の「堂入り」を行う。さらに6年目はこれまでの行程に「赤山苦行」として赤山禅院への往復が加わり、1日60キロの行程を100日間、7年目の200日は前半100日を「京都大廻り」といい、比叡山中のほか、赤山禅院から京都市内を巡礼する。全行程84キロ。最後の100日間は比叡山山中を1日30キロ歩き満行となる。

昔と同じ白装束に手甲脚絆、わらじ、「おかさ」という細長い被り物を身に着けローソクの小田原提灯を持って歩く。

講演に先立って約20分間のビデオが上映され、7年間の概略が紹介された。

藤波源信師は約1時間にわたり「日常生活の中で修業」という演題で講演を行った。修行に入った動機、だれのため、何のため、修行内容の詳しい行程、山歩きのこと、生きたまま出堂できるかわからないという「堂入り」の厳しさなどを語った。

最後に師は「私は千日回峰行で終わりではなく生涯が修行だ」、皆さんも健康第一、ごまかしのない心で自分なりの規則正しい日常生活、与えられた仕事を続けることが大切と締めくくった。本日の受講者は約120人。

この後、和手会長が謝辞を述べ、黒井副会長の閉会のことばで講演会は終了した。

岡山県支部

大阪歯科大学岡山県同窓会 平成30年度総会

平成30年12月1日（土）ホテルグランヴィア岡山にて平成30年度大阪歯科大学岡山県同窓会総会が開催されました。6名の物故会員に黙祷を捧げた後、松三洋夫岡山県同窓会会長が来賓と会員の方々へご出席くださったお礼を述べ、生駒等同窓会長の旭日双光章受賞のお祝いを述べられました。続いて生駒会長が西日本豪雨被害に対してお見舞いの言葉をくださり、また同窓会設立100周年記念大会への意欲を語られ、岡山県同窓会の協力をあおがれました。川添堯彬理事長・学長の名代として出席された歯科放射線学講座主任教授清水谷公成先生は学内報告の中で本学大学院

医療保健学研究科修士課程が認可されたこと、新卒の国家試験合格率82.2%で私立17校中3位であったことなどを報告されました。

その後、壇上を改め平成30年度会務報告、収支現況報告がなされ、引き続き平成31年度事業案計画案、予算案が承認されました。今回4期8年務められた松三会長が会長の職を辞することになり立候補者がなかったため理事会にて次期会長に木村里栄先生（大30）を推薦、次期監事に永澤正信先生（大27）、三上晴彦先生（大27）が推挙されこの件が承認されました。

また100周年記念大会登録の件では、松三会長より岡山県同窓会として本部に協力して全員登録をする旨会員にお願いしたいとの提案がありこれも承認されました。



平成30年度岡山県同窓会総会 於 ホテルグランヴィア岡山 平成30年12月1日

中国地区役員連絡協議会

平成30年12月1日（土）、平成30年度岡山県同窓会総会に伴い、ホテルグランヴィア岡山にて中国地区役員連絡協議会が開催されました。生駒等本部同窓会会長にも同席



いただき、広島県支部より吉光博史会長（大23）以下3名、鳥取県支部より笥哲郎会長（大22）、島根県支部より小川哲治会長（大25）、山口県同窓会より会長名代として藤岡忠良理事（大43）、今回当番の岡山県同窓会からは松三洋夫会長以下5名が出席しそれぞれの支部で抱える問題、共通の課題などについて話し合いました。

冒頭、生駒会長より100周年記念大会に際し中国地区各支部における全員登録に向けての協力に感謝、クラス会などでの登録が重なった場合は災害義援金の積み立てに回すことを検討している旨のご発言がありました。

協議に入り、広島県支部より「現状の会員数の把握について」の議題があがり、生駒会長より本部も卒業時は会員がどの県に属するか把握していてもその後の移動を届け出していない場合把握が難しい、支部会費納入者を「会員」としてみなしてほしいとお話がありました。次に山口県より議題の上がった「会費負担者の減少と各県での取り組み」について話し合いました。岡山県は在学生の県人会をサポートする、父兄にも働きかける、女性会員の活動を活性化するなどの自身の例をあげました。

また、自然災害での見舞金の各県の対応（島根県）、中国地区合同での同窓会の開催の提案（鳥取県）などの議題について活発な意見交換がなされました。

（大30回 木村里栄 記）

広島県支部

大阪歯科大学同窓会広島県支部 平成30年度総会・学術講演会

5月11日（土）広島県支部平成30年度総会・学術講演会が「ホテルグランヴィア広島」にて行われた。午後3時より「オーラルフレイルを知って、健康寿命を伸ばす」と題して本学有歯補綴咬合学講座准教授の田中順子先生（大41）の学術講演会があり、口腔機能低下症に対する評価、対応をわかりやすく説明された。その後、恩田信雄同窓会専務理事より同窓会設立100周年記念事業のイメージビデオが披露され、大いに機運が高まった。

続いて総会が開催された。吉光博史支部会長（大23）挨拶ののち、来賓紹介並びに挨拶があり、岡本学同窓会副会長、今井弘一副学長の順に挨拶

があった。その後報告事項、議事事項と滞りなく進行し、総会はつつがなく終了した。

最後に午後7時より懇親会が行われ、和気あいあいのうちに散会となった。

（大41回 前田羊一 記）





平成30年度広島県支部総会・学術講演会 於 ホテルグランヴィア広島 令和元年5月11日

島根県支部・鳥取県支部合同

大阪歯科大学同窓会
島根県支部・鳥取県支部合同
令和元年度総会・研修会・懇親会

令和元年7月13日(土) 松江エクセルホテル東急において、令和元年度島根県支部・鳥取県支部

合同総会・研修会・懇親会が開催されました。

午後3時から百田義弘先生(大36 歯科麻酔学講座主任教授)による「歯科治療総合医療管理を行うための基礎知識」と題して御講演いただきました。



令和元年度島根県支部・鳥取県支部合同総会・研修会・懇親会 於 松江エクセルホテル東急 令和元年7月13日

午後5時からの合同総会には、同窓会本部より、生駒等会長（大16）、恩田信雄専務理事（大21）、大学かた岡崎定司先生（大27 大学院歯学研究科、欠損歯列補綴咬合学講座教授）そして、百田義弘先生。更に島根、鳥取を除く中国地方各県より

広島県支部会長 吉光博史先生（大23）、
山口県支部会長 上野泰之先生（大31）、
岡山県支部会長 木村里栄先生（大30）、
岡山県支部副会長 黒瀬哲也先生（大30）、
岡山県支部副会長 久門田俊治先生（大34）、
以上9名の諸先生に御臨席を賜りました。

総会に先立ち物故会員の諸先生に対し弔意黙祷を捧げました。

鳥取県

堀江 誠先生（大21）平成31年3月19日御逝去
岡本時彦先生（大12）平成31年4月 6 日御逝去
大嶋健久先生（大19）平成31年4月30日御逝去
島根県

小池隆男先生（専32）平成30年8月10日御逝去

島根県支部副会長の長谷川清治先生（大30）の開会の辞で合同総会が始まりました。

次いで、来年設立100周年を迎える同窓会の歴史を凝縮した「プロモーションビデオ」を観た後、当番県の島根県支部会長、小川哲治の挨拶に続いて生駒等本部同窓会長の「大歯魂」に満ちた熱い来賓挨拶、そして岡崎教授（川添理事長・学長代理）による学内報告の後、恩田専務理事に事業報告をしていただきました。

総会終了後、集合写真を撮影し、ここで来賓の諸先生には別室にて、しばらく休息していただきました。その間に島根県、鳥取県それぞれの支部に分かれて、総会を行い午後6時30分より会場を移して懇親会が開催されました。

島根県支部副会長の泉成夫先生（大26）の司会進行により、先ず鳥取県支部会長の筧哲郎先生（大22）に御挨拶していただき、続いて生駒会長に目前に迫ってきた同窓会設立100周年に思いを馳せて御挨拶していただき、祝宴に入りました。

懇親会は和やかに且つ賑やかに進み、あちらこちらで話の輪が広がり、単独の支部総会ではあまり感じられない熱気と盛り上がりで、時のたつのを忘れる様でした。

名残惜しい懇親会の締め括りは島根県支部の誇るエールの名人こと大町健介先生（大34）とエールの達人こと楯野泰弘先生（大43）の2枚看板によるエールと出席者全員で学歌を声高らかに斉唱し閉会しました。

生駒会長はじめ来賓の諸先生には遠路御来松していただきまして、ありがとうございました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

また、来賓の先生程の遠路では無いものの鳥取の先生方、どうもありがとうございました。

（大30回 磯遊孝幸 記）

香川県支部

大阪歯科大学同窓会香川県支部 平成30年度総会

令和元年7月20日（土）午後5時30分よりロイヤルパークホテル高松において、平成30年度大阪歯科大学同窓会香川県支部総会が開催された。

前田和也香川県支部専務理事（大34）の進行で、まず初めに岡沢昭宏香川県支部副会長（大26）の開会挨拶の後、故 川畑哲士（大11）、故 北山敏雄（専27）両先生の冥福を祈って黙祷をささげた後、阿部直樹会長（大25）の挨拶が行われた後、議事に進んだ。

役員改選での会長選出では、引き続き阿部会長の続投が決まった。続いて恩田信雄大阪歯科大学同窓会専務理事から来賓挨拶及び同窓会報告、清水谷公成大阪歯科大学歯科放射線学講座主任教授からの学内報告が行われた。

その後、懇親会が開かれ香川県歯科医師会会長の豊嶋健治先生、朝日大学同窓会香川県会長木村元厚先生、明海大学同窓会香川県支部長の三好篤信先生の挨拶の後、西岡忠文先生（内10）に乾杯の音頭を行っていただき、祝宴が始まった。懇親会ではそれぞれのテーブルで和気あいあいと話も弾んで盛況のうちに散会となった。

（大47回 藤村英二 記）



平成30年度香川県支部総会 於 ロイヤルパークホテル高松 令和元年7月20日

徳島県支部

大阪歯科大学同窓会 令和元年度徳島県支部定時総会ならびに 第25回四国連合会役員協議会

令和元年6月22日（土）午後4時より「令和元年度徳島県支部定時総会ならびに第25回四国連合会役員協議会」をザ・グランドパレス（徳島市）において開催しました。

来賓として、同窓会より生駒等会長、恩田信雄専務理事、大塚俊裕常務理事を大学からは今井弘一副学長をお迎えし、四国4県の支部役員33名と徳島県支部会員20余名が一堂に会しました。

冒頭、生駒会長と今井副学長からそれぞれご挨拶をいただいた後、恩田専務理事から同窓会100周年記念事業を主とした会務報告をしていただきました。その後、各県支部から提出された以下の協議題について、活発な討論が展開されました。

【協議題】

1. 同窓会支部の組織強化について（香川県支部）
2. 会員向け研修会の開催について（愛媛県支部）
3. 会費未納者への対応について（高知県支部）
4. 組織の機構改革について（徳島県支部）

（大23回 竹田信也 記）



令和元年度徳島県支部定時総会ならびに第25回四国連合会役員協議会 於 ザ・グランドパレス 令和元年6月22日

高知県支部

大阪歯科大学同窓会高知県支部 令和元年度高知県人会

高知県人会の皆様方、お元気でお過ごしでしょうか。

さて、去年に続いて高知から新入生が1名入学しました。そこで、令和元年度の高知県人会が5月18日（土）、JR大阪駅近くの「梅田個室いんどり大阪駅前店」で開催されました。

会は森田章介（大24、追手前）県人会会長の挨拶、そして小児歯科学講座 有田憲司主任教授（大28、土佐）、県人会副会長の学内報告と乾杯の音頭で宴会に突入しました。

次いで、新入生の自己紹介がありました。政光廣幸君で、約50年ぶりの追手前高校からの入学です。出身は高知市内で、一度社会人を経験したそうです。周囲から国家試験合格までの厳しい道のりを教えられていましたので、頑張ってストレートで卒業、国家試験合格を果たしてくれるものと期待しています。また、岡西香奈先生（土佐塾）と川本清文先生（土佐塾）が新たに国家試験を合格し、4月から本学附属病院にて1年間の臨床研修を行っています。

酒宴の途中で恒例の自己紹介があり、各々の近況を聞くことができました。現在、在学生会は6名となり大変楽しい時間を持つことができました。在阪の先生方にもっと出席していただければ、さらに楽しい県人会になると思われます。どうぞよろしくお願いいたします。最後に県人会幹事長の藤本嘉治先生（大21、学芸）の長い閉会の辞があり、中締めとなりました。二次会は安岡大志先生紹介の梅田スカイビル前の土佐料理店「かがやきKITCHEN」に移動して行われました。

今回の県人会には、大学からは有田憲司先生、OBからは藤本嘉治先生（大21）、森田章介先生（大24、追手前）、土田 仁先生（大38、土佐、阪南市開業）、安岡大志先生（大49、土佐、吹田市開業）、長野繁彦先生（大53、小津、勤務医）が参加しました。学生は、5年生田上 悠君（中村）、土田圭一郎君（近大和歌山）、2年生有澤啓介君（学芸）、岡本英資君（土佐）と1年生政光廣幸君が出席してくれました。6年生柁谷直輝君（土佐）は残念ながら欠席でした。

（大24回 森田章介 記）



令和元年度高知県人会 於「梅田個室いんどり大阪駅前店」 令和元年5月18日

写真：前列左から森田、田上、政光、岡本、有澤、土田圭、
後列左から長野、土田仁、藤本、有田、安岡、北角（安岡デンタルオフィススタッフ）

福岡県支部

大阪歯科大学同窓会福岡県支部 平成31年度支部総会・懇親会

令和元年6月8日(土)午後6時より福岡市「料亭 稚加栄」にて、平成31年度大阪歯科大学同窓会福岡県支部総会・懇親会が開催されました。

総会は、四元尚子常務理事(大32)の司会進行で、蔵本達矢副支部長(大25)から開会の辞、近藤史朗支部長(大24)による挨拶に続き、林克実先生(大34)からは会務報告、四元先生(大32)からは会計報告および会計監査報告(代行)がなされました。

報告事項に関しては大きな問題もなく、しっかりと確認出来ました。ただ福岡県支部も、会員の高齢化や入会者の減少に伴う運営費減収など、山積する問題に良い解決策を見出せず憂慮しているところです。

総会後の懇親会は、先輩、同輩、後輩の規律は保たれつつも同じ釜の飯を食った仲間同士、例年通り遠慮のない和気あいあいとした集いとなりました。

その懇親会にご臨席を賜りました同窓会本部の徳富敏信副会長からは、同窓会設立100周年記念大会において、九州各県からは全員登録をお願いしたいとの熱き思いを、恩田信雄専務理事からは同窓会設立100周年記念大会の進捗状況を含めた会務報告を、母校の田中昭男副学長からは学内報告を頂戴いたしました。学内報告の中で、昨年同様本年度も女子の入学者数が男子を上回った事、6学年総数では男女ほぼ同等になった事のお話には驚かされました。

また今回は嬉しいことに、支部会員の村上義和先生(大4)の米寿のお祝いもさせて頂きました。88歳現役歯科医師として日々診療されている事は私達の希望でもあり、目標でもあります。健康であることの素晴らしさに乾杯です。

懇親会終了後は、山積する問題を解決すべく二次会へと向かいました。

(大25回 蔵本達矢 記)



平成31年度福岡県支部総会・懇親会 於 福岡市「料亭 稚加栄」 令和元年6月8日

佐賀県支部

大阪歯科大学同窓会 平成30年度佐賀県支部総会

令和初めての佐賀県支部総会を5月25日（土）に福岡県柳川市の「御花^{おはな}」で開きました。過去に例の無かった県外初の開催という事で参加者が少ないのではないかと危惧しましたが、柳川市は佐賀市から車で僅か30分という近さにあり、また我らが学歌の作詞者、北原白秋先生の生まれ故郷という事もあり、思ったより多くの皆様にご参加頂きました。

「御花」は柳川藩立花家の五代藩主、立花貞^{ただよし}俣の別邸として城内の一角に設けられ、その華やかさから御花畑と呼ばれ、今では親しみを込めて地元では「御花」として有名です。またその広大な庭^{しょうとうえん}「松濤園」の池に映る松の緑は見事でした。

総会の前に「どんこ舟」という舟を貸し切り、1時間余りの柳川城築城の際に巡らされた人工堀の川下りを満喫しました。爽やかな春の風に吹かれながら、新緑を映し出す川面をゆっくり滑るようにお堀を巡り、触先の水脈の美しさに、時のたつのを忘れて、久し振りに命の洗濯をしました。花嫁の乗ったどんこ舟とはすれ違いませんでしたが、水郷柳川の町並みは魅力一杯でした。

総会は17時より中山 光専務（大26）の司会で始まり、福島正博支部長（大21）の挨拶のあと議長に嘉村征四郎評議員（大20）を選出し、

決算、予算等、3議案を承認し、「松濤園」で記念撮影の後、懇親会に移り、同窓会から生駒等会長、恩田信雄専務理事、太田篤志理事、大学から田中昌博副学長のご出席を賜りそれぞれ御挨拶をいただきました。大坪稔同窓会顧問（大8）の乾杯の音頭で宴が始まり、有明海の珍味等の懷石料理に舌鼓をうち、柳川名産の鰻のせいろ蒸しを堪能しました。

最後に学歌（北原白秋作詞・山田耕^{こう}作曲）を山口三男監事（大23）のエールで高々と歌い上げ、舩田耕二先生（大15）の万歳三唱で幕を下ろしました。

皆様もぜひ柳川市の北原白秋生家、記念館を訪れて、我らが学歌「清澄雲に映る緑、輝け我が丘」と展示されている楽譜をご覧ください。きっと感動されることと思います。

水郷柳河こそは、
我が生まれの里である。
この水の柳河こそは、
我が詩歌の母體である。
この水の構図、
この地相にして、
はじめて
我が體は生じ、
我が風は成った。

北原白秋「水の構図」より
（大21回 福島正博 記）



平成30年度佐賀県支部総会 於「御花」（柳川市） 令和元年5月25日

熊本県支部

大阪歯科大学同窓会熊本県支部 令和元年度支部総会・懇親会

6月29日(土)午後6時より熊本ホテルキャッスルにて、支部会員19名中15名出席のもと開催した。秋山(大35)の進行で、まず斎藤朗支部会長(大25)の挨拶、竹下憲治専務理事(大33)の会計報告、児玉睦雄監事(大24)より監査報告がなされすべての報告は承認可決された。

協議としては、来年に迫った同窓会設立100周年記念大会に対し全員事前登録をする、支部弔慰金制度の改正、欠席会員の近況報告などがあった。

その後午後7時より、来賓として同窓会本部から徳富敏信副会長、恩田信雄専務理事のご臨席を賜り懇親会を開催した。斎藤支部会長の挨拶に続き、恩田専務理事が持参された同窓会設立100周年記念大会のPRビデオを鑑賞した。その中の一場面に竹田豊子先生(大5)が牧野学舎で仮装行列に参加された時のセピア色の写真があり、当時の鮮明な記憶がよみがえられ懐かしいお話を伺うことができた。

続いて来賓のお二方に挨拶と報告を頂いた。徳富副会長は生駒会長の挨拶文を披露され、元日歯会長の大久保先生が出されたオーラルフレイルという書籍を紹介された。恩田専務理事からは会務

報告、学内報告そして100周年記念大会へ向けての更なる協力要請、各地で起きる災害に対し同窓会でも対策する旨のお話があった。喉も乾いてきたころ、出口大平先生(大22)の乾杯のご発声で会食、歓談が始まった。当ホテルの桃花源は料理の鉄人・故陳建民氏の愛弟子斉藤隆士氏が初代料理長としてオープンしたお店で、四川料理のフルコースを味わいながら、紹興酒やワインをいただき会話が弾んだ。恩田専務理事とクラス会が同じ吉永誠一郎先生(大21)は、特に年に一度の再会を終始笑顔で楽しんでいた。

お酒と食事で表情も和んできたころ皆で記念撮影をし、森尾謙二郎先生(大24)の締め言葉で閉会となった。

その後は来賓のお二人とともに繁華街へと繰り出し、親睦をさらに深め、二次会、三次会あたりでお開きになったようだ。

震災から3年が経ち、熊本の街も元の姿を取り戻してきています。熊本駅も新しくなり、バスターミナル併設の大型商業施設も9月には開業します。

来年10月は、地震にも負けない「火の国の熱い大歯魂」をリーガロイヤルホテルまでお届けに、できる限り多数で上阪いたします。

(大35回 秋山 清 記)



令和元年度熊本県支部総会・懇親会 於 熊本ホテルキャッスル 令和元年6月29日

大分県支部

大阪歯科大学同窓会大分県支部 平成30年度総会・懇親会

平成30年度大阪歯科大学大分県支部総会が、平成31年3月2日（土）大分県全労済ソレイユにて開催されました。

有永博支部理事（大23）の開会の辞の後、川野亨支部会長（大16）の挨拶があり、引き続き、本部同窓会の徳富敏信副会長（生駒会長代理）、恩田信雄専務理事並びに大学から田中昌博先生（大阪歯科大学副学長兼学生部長）をご来賓にお迎えし、ご挨拶を頂戴しました。

その後、私（福成専務理事 大29）から会務報告を行いました。

協議事項は、小幡宣子常務理事（大25）から平成30年度収支決算の会計報告、岩見洋監事（大23）より監査報告が行われ、すべて原案どおり承認されました。

続いて役員選挙が行われ、有永博先生（大23）が会長に満場一致で可決されました。

任期は平成31年4月～平成32年3月までの1年任期として平成32年4月より2年おきの役員改選となります。

総会は城下景子理事（大24）の閉会の辞で無事終了しました。

その後写真撮影をして会場（第二海源丸）を移動し、懇親会を行いました。大分県歯科医師会長長

尾博通会長が懇親会より御出席され徳富副会長、田中副学長、恩田専務理事を囲んで二次会、三次会まで会員との懇親を深めることができました。

徳富副会長、田中副学長、恩田専務理事、長尾県歯会長に心より御礼と感謝を申し上げます。

（大29回 福成文隆 記）

大阪歯科大学同窓会大分県支部役員名簿

役 職	氏 名	卒 回
会 長	有 永 博	大 23 回
副 会 長	城 下 功	大 24 回
専 務 理 事	福 成 文 隆	大 29 回
常 務 理 事	小 幡 宣 子	大 25 回
理 事	岩 見 洋	大 23 回
〃	毛 利 郁 生	大 26 回
〃	辛 島 光 一	大 30 回
〃	小 野 隆	大 31 回
〃	水 之 江 慎 一	大 36 回
〃	仲 野 貴 明	大 38 回
〃	中 川 文 敬	大 46 回
監 事	川 野 亨	大 16 回
〃	城 下 景 子	大 24 回



平成30年度大分県支部総会 於 大分県全労済ソレイユ 平成31年3月2日

大阪歯科大学同窓会鹿児島県支部 令和元年度支部総会

令和元年6月1日（土）午後5時より令和元年度大阪歯科大学同窓会鹿児島県支部総会が、東急レイホテルにて行われました。

来賓として同窓会本部より恩田信雄専務理事（大21）の御臨席をいただき、また学術講演会のため大阪歯科大学名誉教授の小谷順一郎先生（大21）をお招きして行われました。

西正寛専務理事（大23）の司会で総会が始まり、杉田博紀副会長（大26）の開会の挨拶、山下皓三会長（大21）より両先生へのご来鹿の感謝の言葉があり、事業経過報告が行なわれ、次いで永田眞一会計理事（大35）より会計報告が、また田中翼監事（大20）より監査報告があり学術講演会に移りました。

小谷先生の講演会として「知っているようで知らない痛みとシビレのこと～歯科麻酔医からのメッセージ～」という演題で、我々の日常臨床で重要な課題である痛みについて原因がはっきりしているもの、原因が不明な痛み、慢性の痛み、心療内科的なものが絡むものまでさまざまな痛み到我々はどうか対処していけばいいのかという、常に直面している問題について、歯科麻酔医としてのお立場から明日から役立つ情報を分かりやすくお話しして頂きました。

その後写真撮影を行い、同窓会で作成された同窓会設立100周年記念プロモーションビデオを観賞し、懐かしき場面に皆さんでたっぷりひたりました。

続いて懇親会に移り、山下支部会長より100周年事業への協力の意気込みが語られ、恩田専務理事より同窓会本部会務報告があり、会員の状況や100周年記念大会に向けてのお話しの後、田中忠幸先生（大17）の乾杯で開宴となり、それぞれの親睦を深めました。

最後に皆さんで学歌斉唱を行い、内倉厚弘先生（大18）の万歳三唱で閉演となりました。

（大31回 園田茂樹 記）



クラス会だより

大4 一新会

お知らせ

一新会の皆様こんにちは、新元号令和になりましたが、平成以上に平和な幸せな時代になることを願っております。

さて、今年は殆どの者が米寿を迎えますので、お祝い方々最終の同窓会と致しますので、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

■日時 令和元年11月7日(木) PM4:00～
■場所 大阪歯科大学天満橋学舎 プラザ14

.....

訃報

松山 博迪君	平成31年2月 4日
大島 栄一君	平成31年4月26日
丹羽 弘子さん	令和元年5月16日
岡田 利雄君	令和元年5月18日
川崎 順二君	令和元年5月19日
渡辺 弘行君	令和元年6月17日

以上の方々が御逝去されました。

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

(増田 亨 記)

.....

米寿を迎えて

戦後まもなく昭和25年4月私は大阪歯科大学の予科入学がきました。予科入学時には3クラス(A・B・C)があり私はB組でした。当時は食料事情が厳しくお米は貴重でした。

農村ではマッカーサーによる農地改革が行われ、多くの土地を持つ財産家も小作人に殆ど土地を取られ厳しい状態でした。

私の実家は岐阜で、父は特定郵便局長を務めると共に、副業として農業を営んでいましたので幸い生活は豊かに過ごすことが出来ました。

父は牧野の近くの「京都・淀」に下宿先を探してくれました。大学時代の食事は朝は味噌汁とパンでしたが夕食は母がお米を送ってくれるのでいつもお米を頂くことが出来ました。

クラスの2/3は家が歯科医院でしたが、毎月の仕送りがなく困っている友人もありましたが私は家から毎月の仕送りもあり、その点恵まれており今日あるのは私の祖先と両親のお陰と感謝しております。

大学予科に入学者は120名でしたが、卒業時は100名で歯科医師国家試験は95%以上が合格する良い成績でした。その100名も現在は37名となり、元学長の佐川寛典君をはじめ多くの方がすでに亡くなられ、2018年11月に行われました一新会食事会も出席者11名で大変寂しくなってきました。

私はお陰様で先日88歳の米寿を迎え、誕生日には長男(医師)夫婦が主催して長女(歯科医師)孫4人(医師2人と歯科医師2人)の7人が揃って私の米寿を祝ってくれました。

これからも日々を平静心で迎え、母校の同窓会設立100周年記念大会に出席できるように願っております。

(松前 静 記)

大7 七夕会

第60回七夕会総会

令和元年5月26日（土）に第60回七夕会総会をホテルグランヴィア大阪において開催しました。当日は、来賓に生駒等先生（大阪歯科大学同窓会会長）、川添堯彬先生（大阪歯科大学理事長・学長）、下村銭三郎先生（大阪歯科大学常務理事）並びに恩田信雄先生（大阪歯科大学同窓会専務理事）をお迎えし、会員26名（家族1名）が参会される中、盛大に開催されました。

昭和34年卒業から60年、元気に大阪に出て来られた会員諸氏にお礼を申し上げます。今回は、体調の悪い先生方も付き添い同伴でお越しいただくべく通知したところ、下井田久仁夫君夫妻が参加してくれた事に感謝。奥様には数年前のCクラス会以来の再会でした。神戸で阪神大震災に遭われ、自宅・診療所の崩壊から立ち上がり頑張ってこられた。もちろん他の震災被害を受けられた諸氏も大変頑張ってこられた事は言うまでもありません。

総会は、小林和夫君の司会と瀬尾利臣君の開会の挨拶で順調に進み、寺野福男君が議長で議事進行、今回で最終となる総会について、会長挨拶の後、事業報告、会計報告と続き、中田親良監事の監査報告で締めくくり、七夕会解散後の会計について審議された。

総会費は無料とし、会計は使い切ることにして、残金で当日の総会費及び写真と送料を負担し

た後、今後の会員の計報連絡などクラス会代表として同窓会行事への参加・連絡等に、また年度末には事業報告、会計報告等、できる限り通知する事に成りました。

川添学長からは大学の現状報告として、国家試験で良い結果が得られつつあり、歯科衛生士、歯科技工士の養成と現場を離れていた歯科衛生士の再教育に力を入れているというお話があった。また、生駒会長からは、9月に開催される大阪府同窓会の会員・家族大会への参加要請があり、また来年開催される100周年記念大会へは、同窓会の中核支部である大阪府が、頑張って3,000名の参加者を目指しているのでは是非ご協力を願いたいと依頼された。

引き続き、恩田専務の乾杯で宴会が始まりました。地方から出席いただいた会員を中心に和やかに宴は進み、安田英幸君の閉会の挨拶で終宴を迎えました。

今回を持って七夕会総会は終了することに成りますので、再会の機会も少なくなり、お互い話も尽きず別れを惜しみつつ散会しました。

今回で60回になりますが、全出席は寺野福男君唯一人で、七夕会の「大黒柱」といっても過言ではありません。毎回「議長」として会を支えてくれた事に深く感謝致します。また、この度、安田英幸君が長年、歯科会に多大の功績を残された事に対して「旭日双光章」を授与されました、誠に喜ばしいことであります。



（左）第30回七夕会総会 於 都ホテル大阪 平成元年5月13日
（右）第60回七夕会総会 於 ホテルグランヴィア大阪 令和元年5月26日

顧みまして、卒後30年の節目の集合写真が出てきました。丁度昭和から平成に変わった平成元年5月13日に第30回総会が開催された当時、参加者が126名で、その内訳は9名の来賓と会員113名、家族4名の計126名（内女性会員が11名）が参加されました。今回も丁度平成から令和に改元された節目になり、30年の歳月は参加会員数が43%になりましたが、皆元気な方々が集まられており誠にめでたい事だと思います。平成と令和の元年の総会の比較は、歳月の重みを深く感じさせるものです。

思えば60年前大学卒業時、総代の榊鉄也君が、他の総代西海啓之君、寺野君、そして宮井茂人（私）に、毎年会う七夕の話より「七夕会」とすればどうかと提案が有り、総代全員賛成の結果「七夕会」が誕生しました。

昭和35年の「七夕会」は「大野や」にて発足しました。以来毎年総会が開催され、先日の第60回を迎えました。会員も84歳を迎え、切りよく今回をもって「七夕会総会」を終わることとなりました

会員諸氏の今後の健康と長命を祈りつつご報告とします。

（宮井茂人 記）

大8 おやしらず会

おやしらず会現況

昭和でスタートした我々「おやしらず会」の会員で平成を通り過ぎ、令和に至ったのは103名であります。思えば昭和35年（1960）3月、219名が卒業したのですが現存者は当時の47%と半数を割ってしまいました。基本84歳の学年ですから年々減っていくのは止むを得ないのですが、とてもとても寂しいです。

おやしらず会総会・懇親会

多くの学年が、70歳代後半で全体の集会を解散されるようですが、我々はまだまだ続けます。今年は平成最後の会と思っていたのですが、この所、毎年5月末に開催しているので今年は図らずも令和最初の会となりました。

令和元年5月25日（土）、ホテルニューオータニ大阪18階「レインボールーム」に於いて正午より開会の「おやしらず会総会・懇親会」の出席者数は24名でありました。今回は九州から出席者がなかったため、山口県の守田忠正君に乾杯の発声を依頼しましたが、守田君は引き続き、得意のマジックを久し振りに披露してくれました。例年「食事と会話」だけの会になっていましたが、今年は賑やかなオープニングで大変楽しかったと思います。

残念なのは例によって女性が出席してくれないことです。別當和子夫人は別當 敏君に付き添われます。別當君欠席の昨年は女性出席者ゼロ、別當

君出席の今年は女性が一人出席というのが「おやしらず会」の定番になりました。

これと真逆のことが大阪歯科大学で起こっています。平成31年4月5日大阪歯科大学の入学式に出席しました。「54:74、これは何か分かりますか？」と問われました。「分かりません」「新入生の男女比です。今年は女子が20人多いのです」信じられません。教室に74名もの女子が存在するなんて経験したことがありません。昨年は14人、今年は20人、来年は30人？ですかね・・・

おやしらず会計報

前号から令和元年6月末日迄の期間に二人の方が亡くなりました。

小島慎吾 平成31年3月26日

中林祥介 令和元年5月11日

また、すでに没後10年を経過していますが、このたびおひとりのご命日の届出がありました。

秋田信明 平成21年6月18日

以上3名の方のご冥福を心からお祈り致します。 合掌

おやしらず会のこれから

2020年は東京オリンピックという世界的な行事が、わが国で開かれる大切な年であります。そして一方では大阪歯科大学同窓会設立100周年という待ちに待った輝かしい年でもあります。

10月24日の記念大会には、我々大学8回生もこぞって出席しましょう。そして、大会行事終了後「おやしらず会総会・懇親会」を同じくリーガロイヤルホテルで行えるよう準備を整えています。記念大会はもちろん、おやしらず会にも多数の方の参加を心から願っております。

我々高齢者は日々健康に留意することが長寿に

繋がるのだと思います。まずは2020年10月24日を目標に頑張りましょう！

当日一人でも多くの大8回生にお会いできることを念じています。

2020年は、おやしらず会設立60周年記念の年でもあります。

(古跡養之真 記)

大10 ひとわ会

令和元年ひとわ会総会のご案内

前回（平成29年度）開催の第55回ひとわ会総会にて決定された事項として、2年に一度の総会を本年令和元年と新しい元号のもとで、寿ぎの気持で開催致し度くご報告並びにご案内致します。現執行部としては従来の開催形式でなく、新しく同好会的な形式で行いたく思っています。扨て、皆様もすでに八十路を越えて久しく、そろそろ日々の生活にも堪能し、退屈さを感じている頃かと思ひます。この機に乗じてひと息入れる気持で小規模になったひとわ会に出席されてはいかがかなと思ひご案内申し上げます。

記

【日時】 令和元年10月19日（土）正午12時集合
午後1時開宴、午後4時解散

【場所】 大阪歯科大学 天満橋学舎
“プラザ14”にて

【会費】 1万円（1人称）御同伴も歓迎

ひとわ会代表 中島尚壬

追記 旧執行部に委ねられた新役員人事の件ですが話し合の結果、次のように決定致しました。

代表 中島尚壬

広報 加藤隆正

会計 大杉裕俊

庶務 福原幹二

以上、新役員の面々です。よろしくご協力の程をお願い申し上げます。

(福原幹二 記)

大11 士会

この便りもひさしぶりです、皆さんお元気ですか？と原稿をかきはじめたら 澤田乃輔君より電話で新井正朗君が亡くなられたとの報が入りびっくりし、前日の夜にご子息より受章のお祝いのご丁寧なる電話を頂きました。その早朝に亡くなられていたとは、知る由もなく電話を切ってしまったことを後悔しきりです。

さて我々も皆傘寿を過ぎ、物忘れ、体のそここに故障をきたして、自分自身で持て余しているこの頃です。小生も、家族より自動車免許を早く返上しろとやかましことです。それにしても高齢

者の自動車事故の多さに目を疑いたくなるあります。

おめでたいことでは

新井正朗君（京都府）端宝双光章

合田興成君（兵庫県）瑞宝双光章

永年の功勞により受章されました、士会より些少ですが金一封を送付しお祝いとさせていただきます。

悲しいことですが、前回のたより亡くなられた同窓は下記の方々です。

小林候太郎君 平成30年8月27日（石川県）
 福井 勝男君 平成31年1月1日（岐阜県）
 稲塚 英樹君 平成31年1月22日（京都府）
 川畑 哲士君 平成31年1月27日（香川県）
 新井 正朗君 令和元年6月7日（京都府）

心よりお悔やみを申し上げご冥福をお祈りいたします。

（森本正孝 記）

新井正朗君に捧ぐ

最後に逢ったのは、春の叙勲祝に四人会の飯田盛男、内藤喜雄君と三人で訪れた、死去の6日前でした。呼吸が浅く、酸素吸入の他は元気そうで、頭脳も明晰、食欲も旺盛で鰻が食べたいとも……予科同級の四人は親が歯科医でなかったことも

あり、気が合ってゴルフ仲間から後には、夫婦共々、国内外の旅行を通じて益々固く結びつき、平衡感覚のいい君はグループの中核でした。

また、歯科医師会の京都副会長や国保の審査会も務め診療所をご子息の正敏君に継承、平成の大イベントだったと安堵し、老後を楽しみたいと話していたのに。私にも前日の夕方にメールをくれ、同夜ご子息と会話を交わし、翌早朝この世を去っていきました。儚さが身に沁みます。

あの世でも「キャディさん、カート道はコースの右側を通るのかな。」ティショットを打ってるのかなと悲しい状況でも時々想像します。

安らかにお休みください。

6月14日

（澤田乃輔 記）

大12 十二支会

2019年度（令和元年） 大阪歯科大学十二支会総会・懇親会

令和に元号が変わって最初の総会・懇親会は京滋十二支会担当で5月26日（日）正午から京都市内の「東華菜館」で各地から34名の参加のもと盛大に開催された。

前日は35度を越える猛暑日、当日も真夏日を観測する厳しい日照りが続いていた。

総会は、高木博君の司会で始まり、議長に中川眞君を選出、先ず黒川森夫会長の挨拶ののち、植田勉君から一年間の庶務報告があり、5名の物故会員中野凱一君、豊田美智子さん、大橋隆元君、宮地照夫君、岡本時彦君に黙祷を捧げた。川本達雄君より平成30年度の会計報告がなされ、了承された。最後に高木君から学内報告および同窓会報告があり、牧野校舎の改築、本学の国試合格率が年々上っていること、来年は同窓会設立100周



2019年度（令和元年）大阪歯科大学十二支会総会・懇親会 於 東華菜館 令和元年5月26日

年に向けて3,000名の参加を予定しているなどの報告があった。

協議事項に入り、役員改選について中川議長から十二支会会則に則った方法論の説明があり、満場一致で黒川会長が再任となった。

次に、次年度開催地については、会長の方から「来年度は大阪が当番に当り、来年10月24日（土）母校同窓会100周年記念日にリーガロイヤルホテルで開催することとし、詳細については追ってご案内する。」との発言があった。

総会終了後、当館屋上の“ふとん着て寝たる姿や東山”を背景に記念撮影が行われ、眼下には千年の都を潤した鴨川の悠久の流れが覗えた。

懇親会では、先ず、遠路石川県加賀市から参加の光谷正純君の乾杯の音頭で歓談に入った。築93年の歴史を誇る当館代表の来歴の解説があったのち、松井成一君から、久しぶりの参加者菊池宣夫君、和田久幸君および逸見美登里さん（岡山県倉敷市）および齋賀文雄君（徳島市）の紹介があり、それぞれ近況を述べた。

最後に、川本達雄君から閉会の挨拶があり、来年大阪での再会を楽しみに散会となった。

（人見権次郎 記）

.....

大阪歯科大学同窓会設立100周年記念大会 開催日2020年10月24日（土）に リーガロイヤルホテルに集おう!! -2020年大阪歯科大学十二支会総会・ 懇親会の予告-

今年5月26日には京滋十二支会の方々のご尽力のお陰で和気藹々の楽しいひとときを過ごすことが出来、出席者全員大変喜んでおります。誠に有難うございました。

さて、2020年は大阪が当番ですので、母校同窓会100周年記念大会日に開催させていただきたいと考えております。

なお、詳しいご案内は100周年記念大会日の内容が決まり次第させていただきますのでご了承ください。

（黒川森夫 記）

故 大橋隆元君を偲ぶ

去る10月24日夕刻、大橋君の奥様から様から「主人が亡くなりました」との電話が入った。覚悟はしていたがあまりの早いご逝去に驚きを禁じ得ませんでした。



2か月前の9月末に

故 大橋隆元君

気になっていたのご自宅までお見舞いに行かせていただいた。その時は比較的元気でベッドに座り、私の来訪を涙ながらに喜んでくれた。そして「腹水がたまって苦しいけど痛みがないので助かる」と言ってお互いの体を気遣った話をし、長居もご迷惑かと早々に辞去したがしっかりと足取りで玄関まで送ってくれ、本人は年末までの余命宣告を受けかなり落ち込んでいたが気丈にふるまってくれていた。私自身まさかこんなに早く逝くとは思ひもよらなかった。

大橋君とは専門課程に入り出席番号も近かったこともありすぐに打ち解け、なぜか気が合い爾来60有余年の付き合いが始まった。

学生時代の彼は 大阪ミナミの中心で育った故かまた他の大学に2年間在学していたせいか学生生活特に余暇利用ではスマートなところが数々ありいろいろ勉強させてもらった。

また、彼とはお互い同じ年に結婚し家族ぐるみでの付き合いをさせていただいた。

若いころは年末には2人で海外に出かけ、新年を海外で迎えたことが多々あった。

そして彼のご長男の仲人をさせていただくほどの信頼関係にもあった。

そんな彼は「優しさ」に溢れた男であった。

こんなエピソードがある。現在地で開業し少し余裕ができたので友人に誘われて射撃を始めた。ある日誘われて狩猟に出かけたがいくら撃っても獲物をしとめられない。不思議に思った同行の友人がふと彼を見ると、獲物に狙いを定めた後必ず合掌してから引き金を弾いていたそうです。それからしばらくして射撃を辞め免許を返上したと聞きます。

クラブ活動ではアイスホッケー部に所属し他大学での経験者であったのと持ち前の抜群の運動神経で主力として活躍したのは周知のことである。

また、30代前半から始めたゴルフでは瞬間にシングルまで上り詰めたのは驚かされたものである。

大阪ミナミで育った彼が故あって現在地の国保診療所に赴任するときにも私はかわりを持たせていただいた。都会育ちの彼が自然溢れる現在地で務まるのか心配していたがここでも彼の優しさで地元にも溶け込み地域住民から尊敬され地域の名士としてまた、地域医療でも多くの業績を残され穴栗郡歯科医師会会長をはじめ兵庫連盟の役員等を歴任し、数々の表彰を受けて多くの尊敬を得ていたのもよく知られている。

誰にでもあの素晴らしい笑顔で接し、優しさ溢れる振る舞いで誰からも愛された大橋君、私の自慢の友人であった彼とももう冗談すら交わすことも叶わなくなり誠に寂しい限りですが今はただ大橋君のご冥福を心より祈りするところである。

どうぞ安らかに眠りください。 合掌
(大頭孝三 記)

.....

神の御許へ召された宮地さんを偲んで

彼は1930年6月石川県で生れ、小学6年生の時、骨髄炎を発病し足が不自由になり、1958年27歳で大歯に入学、1年A組牧野で茂理厚雄君、横山信夫君らと同じ下宿でした。

彼は電気機器いじりが得意で、彼の部屋には大きなベニアー一枚分にスピーカーを付け、いつもクラシックを聴いていました。

1964年卒業して、開校してまもない愛知学院歯学部で矯正科に入局し、ゴッドフィンガーと慕われ、後輩の指導にあたりました。

10年経てから東海地方でははじめて当時まだなかった矯正専門科名で診療所を開業しました、彼の功績は大きくその成功を見て矯正専門医として開業出来る先駆けとなりました。

A組の久栄会や十二支会には足が不自由のため、その都度会の状況を報告していました。

とくに三谷英夫先生がいつも宮地さんどうしてる、と声をかけてくれたことを伝え、嬉しそうに喜んでいました。

昨年10月頃から体調を崩し、11月4日に倒れ心不全で入院、すべて主に委ねたいと言って、かねてから念願していた精霊病院に転院でき、愛に満ちた看護を受け、入院して8日目(12月22日)苦しみも痛みもなくおだやかな微笑みをうかべ感謝の言葉と共に88歳で旅立たれました。

奥様湧子様の深い愛情につつまれた人生をいつも幸せだったと感謝しておられました。心よりご冥福をお祈り致します。

(山中康男 記)



故 宮地照夫君

大13 登美栄会

大阪登美栄会総会

登美栄会の皆様如何お過ごしでしょうか。本誌198号に記載して以降のクラスメイトの動向をお伝えします。嬉しい事は令和元年春の叙勲で久保憲昭君(大阪)と内貴清君(滋賀)が瑞宝双光章をご受章された事です。心よりお祝い申し上げます。悲しい事は井上敦雄君(大阪) 藤田徳三君(大阪) 坂元宏海君(鹿児島) 三木英幸君(兵

庫) 高柳秀雄君(神奈川) がご逝去された事です。慎んでご冥福をお祈りしご報告させていただきます。

さて大阪登美栄会では平成30年12月6日に南海スイスホテルに於いて総会を開催しました。当日は27名の出席があり、曾我時雄君の司会のもと小室智会長の挨拶、議長に松田毅を選出し会務報告を曾我君が、会計報告を加藤仁朗君がし了承の後、次期会長に小室智君の留任を決めました。

松田より2020年10月14日の同窓会設立100周年記念大会の受け皿として大阪登美栄会の協力のもと全国登美栄会懇親会を計画したいとの発言があり、楽しい一時を過ごしました。

(松田 毅 記)

.....

坂元宏海君を偲んで

気は優しくて力持ち、剛力無双の薩摩の快男児が恍惚の人として長い療養生活を経て旅立った。

君と初めて会ったのは、牧野学舎の剣道場だった。第一印象は鹿児島弁丸出しの筋肉マンだった。とにかく君の一撃は迫力があるだけでなく骨身にこたえるほど痛かった。剣道初心者だった我々が少し手加減をしてはと頼むと「僕は幼少の頃から薩摩示現流を習っていたから、この打ち方は変えられないの。ゴメンね」と軽くないなされてしまった。

初めて合宿したとき、夕食後の散歩をしていると、君は両手に下駄を履いて血相を変えて走り抜けていった。その後、分けも判らぬままに地元のチンピラに絡まれてほうほうのていで宿に帰ると、君は茶碗酒を片手にすまし顔で「ああ、無事だったか、あれが喧嘩必勝法なの。先制の一発をかませたら、後は逃げるが勝ちよ。覚えておいたら役に立つよ」とのたまうた。また、親切で力持ちの君は、補綴の実習では女子を手伝って鉄鎮台を叩き壊したりニッパーの柄を握り潰すなど逸話には事欠かなかった。

元気なころの君は週末になると日本中のパワースポットを訪れて瞑想に耽っていたが、今は世界中のパワースポットを巡って、行く先々で、チョッと調子はずれのあの「正調・田原坂」を披露しているのだろうか。

素晴らしい出会いと永年の交情を有難う。たくさんさんの楽しい思い出を残して一足先に旅立った君に一首捧げます。

「薩摩の裂帛の一撃懐かしや

眼閉じれば思い出ははてなし」

(矢尾和彦 記)

三木英幸君の想いで

大学入学時、進学課程1年B組でクラスメイトとなり、以来親友となった。数年前、先に浄土に行った貴治孝光君と3人でいつも行動を共にしていた。三木君は和歌山県出身、下宿生活。私も京都の田舎から出てきて高等学校1年の時から下宿生活、置かれていた環境は良く似ていた。そして、いつもひもじかった。そのひもじい状態をいつも助けてくれたのは、自宅から通学していた貴治君だった。

クラブでは日本拳法部に入り、防具をつけているとはいえ先輩達の直拳（ストレート）を顔面に受け、頭痛は激しくこのまま続ければ死ぬと思った。私は2年の時挫折したが、三木君は続けて強くなっていった。

学部が上がって最初の夏休み、三木君はもう1人の友人と和歌山の自宅へ招待してくれて、和船で海釣りを体験させてくれた。そしてその日釣れた魚で鍋料理を、彼の御両親の指導で堪能させてもらい、鍋料理がこんなにおいしいものかと感激したことを今も鮮明に覚えている。

強い男であったが、心根は人を大事にする大変やさしい人であった。利己的に生きるのではなく、利他的に生きる医療関係者としては理想的な人であった。

卒業後長く経って、阪神淡路大震災の後お見舞に行き、幸いにも彼の家はほとんど被害はなく、元気に応対してくれたのが彼に会った最後であった。

その後電話で何度か話をしたが、しばらく御無沙汰していた所、2018年11月14日登美栄会の松田君から連絡があり、11月8日に急死したとの知らせを受け大きなショックを受けた。

人間はいつかは死ななければならない。永遠は一瞬なりと良く言われるが、人の一生とは何とこんなにも短いのだろうかと思ひ知らされる。

終わりに三木君の浄土への旅が無事でありますように、冥福を祈る。 合掌

(古原英男 記)

大14 寿歯会

平成31年 3月17日浜口君逝く

3月18日一通のFAXが浜口君の悲報を伝えてきた。

一瞬ええ！去年の11月に電話で話をした時は元気にゴルフの話をしていたのに・・・

君と出会ったのは大学時代、数人と伊勢に遊びに行った時の夜、宿にアワビを持って訪ねてきてくれたり、親父さんの船で釣りに誘ってくれたり大いに歓待してくれた時から親しくなった。実家が真珠業をやっておられたので数年後には家内のために色々便宜を図って貰ったりもした。

卒業後は君は結婚もし伊勢で開業し、僕は大学の生化学教室に勤務し連絡が途絶えていたが。突然君が、博士号取得のため我が教室の研究生として入局して来たので、6年間一緒に研究したりゴルフをしたりしたが、君が博士号取得後は顔を合わせる事も少なくなったが、手紙や季節の挨拶でお互いの無事を喜んでいたのに。

去年、電話で話した時「片耳が聞こえない、顔が腫れる、でも手術して治ったのでゴルフしてきた。」と元気そうに話していたのに。4ヶ月後に悲報を聞くなんて！

奥さんの話では半年前頃から耳がおかしくなり、診断は耳下腺癌、さらに肺にも転移したとか。好きなゴルフが出来ず、うわごとにも「パターを忘れて来た！」と言っていたそうです。入退院のほんとに苦しい闘病の日々だったことだろう。

金婚式には一緒に旨いものでも食べに行こうと言っていたのに、その日を待たずに逝ってしまつてと奥さんが残念がっておられました。

20日に家内と葬儀に参列したが、セレモニー会館の多くの外花や君の死を憂う多数の参列者を目の当たりにして、君は本当に多くの人に愛されていたんだなと思いました。

彼が奥さんとの約束を果たせずこの世との決別を余儀なくされた気持ちを思う時、人生の無情さを改めて感じさせられました。しかし、気丈な奥さんや君の跡を継ぐ立派な息子さんやお孫さん達を見て、安心しました。

浜ちゃん！天国では好きなゴルフ三昧の日々をお送りください。

14期生の諸兄には、在りし日の彼を偲び、冥福を祈っていただきたくお知らせいたします。

(本多忠敬 記)

大16 天章会

平成31年度 第1回役員会開催

去る4月20日(土)、天満橋学舎「プラザ14」に於いて、天章会役員会を開催しました。

昨年11月10日に開かれた「天章会卒業50周年記念総会・祝賀会」におきまして、図らずも不肖、鶴身が会長に再選され、3期目をお受けすることになりましたので、たいへん未熟者ではありますが皆様のご支援とご指導を賜りながら大任を果たしたいと願っておりますので宜しくお願い申し上げます。

そして役員会に先立ち、前役員諸兄に前期に引き続いてのお役目をお願いしましたところ、体調

不十分の池田修造君、日野哲雄君を除いて25名の皆さんが快く引き受けて下さり、心底安堵すると共にその友情に深く感謝しております。

平成31年度、令和2年度の新しい役員構成は以下のとおりです。(敬称略)

会 長 鶴身敬三

副会長 堀井宏雄、岡田太郎、曾我恒夫

幹 事 上田雅俊、大迫 勲、大野 榮、北村康栄、河見忠雄、関根紀彦、山口邦夫、関本恵一、佐本高明、天羽 峻、浜田邦夫、久富明宏、新谷 衛、瀧野誠一、高島 洋、小林三男、岡本吉一、中村伸也

相談役 生駒 等、岡本 学、豊川輝久、
福田 滋

監 事 末選出（昨年11月総会で末選出のため
役員会で検討中です。）

役員会は会務（大野君）、会計（河見君）、学内（上
田君）報告に続いて議事に移り、来年10月24日
（土）に開催される同窓会設立100周年記念大会
への具体的な参加方法・手順について検討しまし
た。天章会は昨年の総会において100周年記念大
会への全面的な支援を決議しており、また、天章
会の卒業50周年記念としての寄付金の提供を総
会で決定し、既に同窓会に収めております。

また、同窓会執行部では記念大会に3,000人の
参加、事前登録にでき得れば5,000人の応募を目
指して、事あるごとに「心からのお願い」を口に
しています。われらの盟友・同期生の生駒等同窓
会会長が記念大会の成功に向けて、先陣を切って
「お願い」に全国を飛び回っています。

これらの経緯もあって、私たち天章会は全員が
事前登録することを目標にしていかなければなら
ないと考えます。その一方で、全員が医療保険制
度上の後期高齢者であり、体調不十分であったり、
特別な事情を抱えていたりもするわけですから、
闇雲に全員参加を促すものでないことも自明であ
ります。そして、同窓会執行部が描いている100

周年記念行事とともに、記念大会の目玉として、
近年、頻発する自然災害に備えるべく、災害支援
準備積立金の創設を謳っています。記念行事と積
立金の創設は同窓会100周年記念の双璧をなす事
業目標として気高く掲げられています。

こうしたことから事前登録は各府県支部から、
各クラス会から、また体育会運動部、文系クラブ
や同好会などからの重複した登録が望まれている
ようで、充実した行事、崇高な目標を達成するた
めの必要条件であるようです。

現時点においては、重複する事前登録に関して、
執行部からの明確な説明や指示が無く、9月14
日に開催される臨時総会及び理事・支部長・クラ
ス会代表者合同会議の席上で明らかにされるもの
と思われます。

以上の状況から天章会役員会では、全会員の事
前登録を基本姿勢とし、会員それぞれの立場から
既に所属支部などからの登録手続きを完了してい
る方々の事情も踏まえて、今後の明確な対応を現
在検討しています。

（鶴身敬三 記）



平成31年度第1回役員会 於 プラザ14 平成31年4月20日

<訃報>

久保一慶君（香川県支部）平成30年 5月26日
 福迫 隆君（兵庫県支部）平成30年11月 7日
 久富明宏君（京都府支部）のご母堂様

平成30年11月12日

ここに謹んでご冥福をお祈りします。

久保一慶君の思い出

昨年の秋の天章会役員会で、久保一慶君が亡くなったことを知りました。

11月に息子さんから喪中の葉書をいただきました。毎年、年賀状の交換だけはしていましたが、長年会っていないこともあり私の中の彼のイメージは大学時代のままです。彼とは1・2年が同じクラスでしたし、物理学を選択した数少ない仲間でした。7人しかいなかったと思いますが、なかなかユニークな思い出のあるグループだったと記憶しています。

彼は囲碁が強く、病院実習の控え室で教えても

らっていたのですがついていけません。私も将棋は少しできたのでよく指しましたが、こちらも彼の方が少し分が良かったように思います。

卒業後は、彼も私も歯科補綴学第二講座（小森教授）に勤務していたので、私が4年で退職するまで一緒でした。その間、彼の結婚式で教室の仲間と香川県に船で行ったのをうっすらと覚えています。彼は博士号を修得した後も、少し大学に勤務した後、故郷で開業しました。何年か経って地元の歯科医師会の旅行に琵琶湖に来て、守山市のラフォーレ琵琶湖に泊まるので会わないかと電話があつて、私の馴染みの居酒屋で酒を飲み交わしたことがありました。それ以後、会っていないような気がします。

少し早くあの世に旅立ってしまいました。来年の同窓会100周年記念大会の時には、顔が見れると期待していたのに非常に残念です。私の心の中の彼は今も若き日のままです。ご冥福をお祈りします。（小林三男 記）

大20 二斗会

大野 均君を偲んで

平成31年 3月 5日
 午前7時16分

「今朝早く父が天国に召されました。」と大野均君の長女有為子さんから突然のメールが入りました。

思い返せば、「厚生大臣表彰があり、背中



故 大野 均君

や腰が痛かったけど家族と富山県で開催された全国歯科保健大会に行ってきたよ。」と元気そうな声で話してくれたことがついこの間のことです。

彼は大学能楽部で6年間、故荒田良成君、天津武君、仲川憲幸君、渡辺道雄君、伊東康紀君らと一緒に活動し、大学ロビーでの稽古やお寺での夏台宿など多くの思い出を共有したかけがえのない同級生でした。卒後彼が地元で地域医療に励みさらには県歯や政治連盟の役職も務めながら自分の信念を曲げることなく多方面に活躍している事は衆目の一致するところでした。

平成7年の春、大野君と親交をさらに深める出来事がありました、朝日大学歯学部入学式での思いもよぬ再会でした、それぞれの長女が入学したのです。以来、彼との絆は益々深まり、彼の歯学部父兄会の会長就任にあわせて、私も役員の末席を汚すようになり学内の諸行事はもとより柳が瀬の夜まで面倒を見てくれたのでした。最近折に触れ電話とメールのやりとりでしたが、昨年の11月17日（土）大野夫妻、荒田ケイ先生（能楽部の1年後輩で荒田君の奥様）、それと私も夫婦が京都の室町和人伝で食事をする約束をしました。楽しみにしておりましたが体調が悪いので行けないとの連絡を受けましたので、25日にケイ先生と急遽お見舞いに行く事にしました。入院先の病室での元気そうな様子にひとまず安堵しましたものの、彼の口から『多発性骨髄腫』と聞かされ、またキリスト教に改宗したことを告げられて、驚きを禁じ得ませんでした。彼はその後何度か入院退院をしていたようです。今年の2月16日調子の悪そうなメールが入り、再びケイ先生とともに翌日お見舞いに駆けつけましたが気丈にも笑顔で

迎えてくれ、元気そうでほっとしておりました。

教育者の家庭に育ち長姉は弁護士、長兄は医師と華麗なる一族にあって賀久子様を娶られ2人のお嬢様にめぐまれ大野歯科医院を築いてこられました。近年は長女の有為手先生とともに診療に従事されつつ奥様との海外旅行や同窓の長田建明先生との中国旅行など人生を謳歌されていたと聞いております。あまりに早すぎる!!私にとって何か悔しい思いが募る別れでした幹事の橘高先生とご一緒に献花をして参りました。

『安らかな眠りをお祈りいたします』

(大上武司 記)



.....

井口 毅君、亡くなる

平成31年3月31日
ご逝去。享年73歳。

4月1日の夜、娘さんから連絡を受けました。最近、食事もままならないと世話をされている方から聞いてはいましたが、こんなに早く逝くとは思っていませんでした。ここ1年ほどは会っていなかったので残念でなりません。

彼とは、何かの縁で大学6年になってから話をするようになりました。大学では同期ですが、高校は2年先輩でした。あの風貌で、相撲部、グリークラブで活躍しました。卒業後の近畿大での国家試験も、一緒に長瀬の旅館に泊まって受けました。彼は、準備もせず早々に眠っていましたが、無事合格。その後、海上自衛隊に歯科医官として入り、また、大阪大学歯学部口腔外科の川勝教授のもと



故 井口 毅君

で、研修をしていました。そして、奥様の地元、加古川で開業し、また晩年は、お母様から受け継いだ老人ホームの理事長として活躍しました。子宝にも恵まれ、1男3女で、3女の方は歯科医師（大歯大53回）で、神戸で開業され、また彼から受け継いで老人ホームの理事長もされています。

彼は後日、姫路に開業を移し、歯科医師会、大歯同窓会では、一緒に行きました。話が大好きで、先輩にもよくもてて、また自ら先輩に話しかけていました。ある面、横暴ではありましたが、実は繊細で、自室はきちっと整頓され、治療室も自ら掃除してピカピカでした。いつも一緒にいて彼の外面と内面に驚かされ、私にはない良いところを見せ付けられました。性格の違う2人なので逆に付き合えたかも知れません。歌が大好きで、また上手で、いつも美声を聞かされました。夜の街に出かけると、カウンターにひょっとして井口ではないか、と人影に思いをはせる。

私には先輩で、同期のあなたには何も出来ませんでした。私は、私にない多くのことを教えてもらいました。ありがとう。（幡中大吉 記）

.....

山科 透君を偲ぶ 一現状肯定を嫌っていた君に一

山科君が6月9日亡くなられました。家族葬が終わって三日目に因島の斎藤徹雄君からの電話連絡で知りました。広島市で開業している辻 高昭君には私から連絡し、お互い悲報に崩れました。



故 山科 透君

思い出すことはたくさんあります。大阪歯科大学入学時から同じクラスでもあり、時々、岩佐和彦君や大野 均君、長田建明君など混じえて会話を交わす程度の付き合いだったと思います。天満橋に通いだしてから谷町線東梅田で山口文子さんといつも一緒にいるのを見かけ、「二人の世界」を感じたりもしていました。その様な時期に「同級生であること」が将来、支援し合う「絆」になろうとは想像もしていませんでした。ただ、この

様な文章を私のような者が書くことがよいのか『ためらい』もあります。もっとふさわしい同級生がいるように思います。文子夫人に指名いただいたのは私をもって地域歯科医師会を代表するものとして、また、ここ10年、良くも、悪しくも山科君の口から名前が頻繁にでていたことからでしょう。私が出来る事。山科君のここ10年の活躍の思い出に、惜別の気持ちを添えてみることにくらのものです。

山科君は大学を昭和47年に卒業後、広島大学歯学部補綴学第一講座に平成55年まで勤務し、御実家で広島市の西方、佐伯区で開業されました。私は昭和49年、広島大学に大阪から赴任し偶然、病棟階段の踊り場で君に会うまで君の生活との接点は何も無かったと思います。私も昭和62年11月開業し、奇しくも同じ佐伯歯科医師会に所属することになりました。淡路島育ちの私を開業前から支援してもらうなど同級生を感じた最初の出来事でした。感謝の気持を持ちました。

次には、平成19年、広島県歯科医師会の会長選挙の際に推薦人に私を加えたことが関係を更に強くしたきっかけでした。その後、会長在任中に

は歯周病一糖尿病関連調査（Hiroshima study）を進め、総説、英語論文を含め3編の投稿もできたことをお互いに喜び合えた一方で、君は歯科と医科の連携を深める意味合いの周術期の患者管理を保険診療に加えることに貢献するなど、多くの業績を歯科界に残しています。周知のことでしょうが、平成27年10月から28年3月までは日本歯科医師会の会長まで務めあげました。その間、関与してきた組織は日本学校歯科医会、8020推進財団、日本歯科総合研究機構、母子保健推進会議等々枚挙にいとまがないくらいです。

君のそのような仕事ぶりを見ていて、本気で日本の歯科医療を良くしたいと考えていることが伝わってきました。君は賢い人だから、エビデンスを求めた。エビデンスの一端を広島県から発信できたこと。本当に嬉しかった。

これから出てくる同じような思いを持つ若者たちと一緒に見守っていこう。

お世話になった早川文彦君等には僕からお礼は言った。そちらに行ったら大野君に改めてお礼を頼む。（奥井 寛 記）

大21 咬龍会

咬龍会（大21回）は、最大の級友を有するクラス会です。

これまで1995年1月の阪神大震災、ここ最近では2016年の熊本地震、2018年の大阪北部地震、広島や中国地方の災害などで、多くの同級生が被害を被ってきました。そのような時、同窓会から被災された会員にお見舞金が贈られてきましたが、それがどれほど心の支えになったか計り知れないものがあります。

災害が起こった時、その援助の基金となるものが同窓会に備わっているとどんなに心強いのか、またそんな同窓会を卒後間もない若い会員が慕ってくれるかを咬龍会の幹事会では考えてまいりました。

そこで我が咬龍会は、大阪歯科大学同窓会設立100周年にあたりその基金として200万円を同窓会に贈呈することを幹事会で決定し、さる2月21日に事務局を訪れ、生駒等会長にお渡しまし

た。会員の万が一の時にお役にたてればと思っています。

生駒会長もその趣旨を尊重し、同窓会のために役立てたいとお約束していただきました。

（弓倉威己 記）



堀江 誠君を偲んで

「染井吉野は七分がさかり、惜しむ花ほどすぐ散りたがる。」の如く君は改元目前の平成31年3月19日午後1時40分に風吹き花散るようにあっけなく急いで逝ってしまったネ。君とは実に入学間



故 堀江 誠君

もなく、牧野の君の下宿に呼んでくれて以来50有余年に渡り、僕の人生にはいつも君が在った。君はいつも優しさと思いやりを持ち、僕の立場で接してくれて一度たりとも強情や強要などする事はなかった。

でも仕事をしながら、お互いに長い闘病生活のため体がしんどくて交遊はとぎれがちだったが、心はいつも学生時代と変わらない男同士の友情は忘れなかったネ。その友の名前を呼んでも今は存在しない空しさ、悲しさ、悔しさ、淋しさをこの胸に抱きしめながらいる僕だ!!

君は実に味のある男だった。入学当時、授業前

に瀬戸君と早朝ボーリングに行ったり、玄人はだしのマージャンを打ってた君に結婚後は健康のためにと奥様より諭され転向したゴルフもすごい勢いで極め、又入学当時より入部したクラブの尺八は終生やり通し「郡山流大師範堀江舒山」との号を授けられ、死の直前に到るまで発表会に臨むほど打ち込んでいたネ。

だが今や、やり残した事、思い残した事が多々あった事だろう君の無念さ、悔しさ、哀しさを思えば小生も切なくなるばかりだが、これからも君との思い出と面影を心に刻んで命のある限り余生を君と共に生きて行くつもりだから君とは「さようなら」は言わないヨ。

20有余年に渡る長い闘病生活、本当にお疲れ様でした。愚痴も言わずよく耐え頑張ってきたネ。苦しかっただろう、惜しかっただろう。君の心情はいつも僕の中で察していたヨ。

でも、もうゆっくりして食べたい物を食べ、君の好きだった酒やビール、コーヒーも思う存分に飲み、安らかに休んで下さい。

堀江誠君、僕は君の様な友を持てた事は誇りであり感謝の気持で一杯です。

今はただただ君の安らかな冥福を祈るばかりです。 合掌。

(成田光六 記)

大22 甲寅会

令和初の甲寅会大会開催のお知らせ

甲寅会の皆さんお元気ですか。

タカラジェンヌを間近で楽しめた昨年の神戸大会はいかがでしたか。多くの会員が古稀を迎えた中での大会でしたが、参加者も多く、暖かい雰囲気の中で皆さん楽しめたのではないかと思います。

年号も平成から令和に変わり、令和初の甲寅会総会および大会を来年10月に地元大阪で開催することになりました。大阪歯科大学同窓会設立100周年記念大会が大阪で開催されますが、同日の夕刻を甲寅会大会の開始時間にしました。大阪ならではの企画を予定し、楽しいひと時を過ごしていただきたいと、大阪の幹事一同が準備にか

かっています。会員の皆様も神戸大会と同様に、友人にお声をかけていただき、また、ご家族もお連れ頂き、盛り上げていただければ幸いです。詳細は後日郵便にてお知らせします。甲寅会の絆が益々深まることを祈念しております。概要は下記の通りです。

記

日時：令和2年10月24日（土）午後6時

場所：リーガロイヤルホテル大阪

(甲寅会大阪代表 窪田義夫 記)

山本啓三君を偲んで

1月20日20時45分頃 家族からの電話。朝、船に行ったまま帰って来ないと言う。海上保安庁に連絡し、捜索状況を聞く。

海上保安庁によると15時50分頃 加古川河口の中洲にヨットが座礁しているとウィンドサーファーから保安庁に連絡が入り、捜索船が出ている。

17時10分 本人から家族へ電話。満潮になれば自力で脱出出来る。浸水も無いので大丈夫。

18時24分 本人から保安庁へ 離礁出来たが舵が利かないので救助要請。

20時32分 神戸製鋼所のテトラポットに座礁。行方不明。1ヵ月後の2月23日発見。

啓三君とは大学のヨット部以来、約50年以上の付き合いになろうかと思います。卒業後も何人かでヨットを持ち、レースやクルージングを楽しんできました。とくにここ10数年は同窓生を訪

ねて各地にクルージングに行き、昔話に花を咲かせたものです。

そんな中で4人の子供を立派に成人させました。ある時、“オレの人生これで良かったと思うねん”とポツリと言った言葉が印象的でした。何を言うてんねん。これからもっと時間が出来るようになるんやから。まだまだこれからやないかと言ったように思います。

毎週土曜日の昼からは一人で木場のヨットハーバーで船の整備や手入れを楽しんでいたと思います。去年の台風の時も船の見回りなどみんな君にまかせきりやったなあ。そして来週乗らへんか？と誘ってくれたのに、ちょっと今忙しいねんと断ってしまいました。それじゃまた誘うわと言った言葉が少し寂しげだったように思いました。

船は無くなってしまったけれど君の魂はきっと瀬戸内海にあるだろうから、またいつか会いに行くよ。たくさんの思い出をありがとう。 合掌

(大村 誠 記)

大23 慈山会

訃報!

また大切な友人を喪ってしまいました。

棚田良造君とは入学当初から卒業まで、ほとんど同じ時間を共有していたように思います。思えば大学入学試験当日、試験会場で出会った時から、何となくその存在を意識していたのかもしれません。1年次から同じクラスとなり、学生時代を通して育んだ友情は、大学卒業からもずっと続いていました。

彼は勤務医を経験した後、東大阪市で開業し、私も卒後しばらくして徳島で居住することになった為、頻繁に会う事はできなくなったのですが、それでも年に数回は大阪を中心に、各地で一緒に酒を飲んで話をする事が続きました。開業後は、精



故 棚田良造君

力的に地域医療に取り組み、支部の先生方や患者さん達の信頼を得て診療所も盛況であり、奥様と二人のお子様で素晴らしい家庭を築き上げました。

彼を苦しめるいろいろな病と闘う日々が来ることなど全く想像できなかったし、本人もいつまでも健康で過ごせるのだという自信があったように思います。ところがある時から肝炎の発症を手始めに、彼の身体を蝕むいろいろな病魔と闘う日々を過ごすことになりました。

とても辛い闘病生活を送っていたにも関わらず、少し体調の良い時には学生時代からの仲間の集まりに積極的に参加してくれましたし、病気について尋ねてもいつも「大丈夫だから、心配しなくても良いよ。」と答えてくれていました。

見た目にはそうでも無いのにいつも気丈に振る舞ってくれるので、彼にはどのような疾患をも克服する気力があるのではと思えるほどでした。

今年(2019年)も毎年一回の香里園周辺で、学生時代を過ごした仲間の集まりに早くから参加表明してくれてました。

昨年の44回目の会合は、甚大な被害をもたらした西日本豪雨のため中止となってしまった為、久しぶりの再会を楽しみにしていました。平成最後の大型連休中の4月27日に、奥様から「本日、脳出血で緊急搬送されたので申し訳ないのですが欠席させていただきます。」との連絡が入りました。

当分リハビリを行ないながらの入院となると聞いていたので、そのうち時間を作って見舞いに行こうと考えていたところ、5月13日に体調が急変して「15日に息を引き取りました。」との連絡を受けました。

6月1日に開催した集まりでは、一昨年の藤堂君の訃報に続き、集まった仲間達にまた辛い報告しなければならなくなりました。

ご葬儀はご家族の方だけで執り行われたそうです。

生活の礎を突然喪ってしまった奥様の心情を考

慮し、気持ちも少し落ち着いた頃にはと思い、ご逝去から二ヶ月後にご自宅にお伺いしました。ご遺影に向かって会いに来るのが遅くなってしまった事を詫言いました。

同行の寺坂章君と共にしばらく奥様とお話しさせていただいた後、帰り際に彼が心血を注いで丹念に手入れをしていた畑を見せていただきました。毎年送ってもらっていた野菜類は、ここで彼が汗水垂らして栽培していたのだと改めて感謝し帰途に着きました。

棚田君、奥様は二人の息子さんご一家が守ってくれています。

私たちも微力ながらお手伝いさせていただきます。

どうか安心してください。

合掌

(竹田信也 記)

大26 早蕨会

令和元年、新しいスタート、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

早蕨会会長の竹村明道君は本年3月末日に大阪歯科大学解剖学講座主任教授を退官されました。

なお、退官に先立ち、本年2月11日、定年退

職記念講演会、ならびに3講座（解剖学講座 竹村明道主任教授、歯科理工学講座 今井弘一主任教授、歯科医学教育開発室 西川哲成専任教授）の合同定年記念祝賀会がプラザ14にて開催されました。竹村君は卒後、大学院博士課程（解剖学



平成31年2月11日 大阪歯科大学 合同定年退職記念祝賀会 於 プラザ14

専攻)に入学され、2015年に主任教授ご就任、現在に至る41年間、解剖学講座にて教育、研究に多大な業績を残されました。

竹村君、永きにわたりお疲れ様でした。今後のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

さて、元号が変わって間もなくの5/11(土)、大阪同窓会をバリラックス梅田にて開催致しました。大阪の会員に加えて、竹村会長、名倉重良、木村恒雄、杉立守由、米田正彦、岡本浩一君の近隣各県からの参加も頂き、総勢38名の会となりました。同窓会からは同窓会会長生駒 等先生、大阪府同窓会専務理事大塚俊裕先生にご出席を賜りました。各地区での同窓会のご公務でお忙しい中のご出席をありがとうございました。

生駒会長よりご挨拶をいただき、ミッション、パッション、コミュニケーションという言葉をあけて、「君達の10年先が私の年齢です。人生はまだこれから。それぞれの道で、もうひと花

咲かせるように！」と激励をいただきました。また、2020年(来年)の大阪歯科大学同窓会設立100周年記念大会のために作成のプロモーションビデオをご持参いただき、大歯の前身の専門学校頃から現在に至るまでの貴重なお写真の上映があり、私たちの懐かしい映像に歓声が上がり、来たる記念大会に向けて盛り上がりました。

2020年10月24日(土)当日には、早蕨会同窓会の同時開催もいたします。全国の会員の皆さま、ぜひともリーガロイヤルホテルにお集まりいただき、諸先輩、後輩方と早蕨会みんなで100周年記念大会を楽しみたいと思います。記念大会の事前登録を、どうかよろしくお願いいたします。

(土居香世子 記)

大27 飛翔会

27回飛翔会卒業40周年記念 同窓会のご案内

飛翔会の皆さんお元気ですか？

すでに皆様のお手元にご案内が届いていることと思いますが、我々は今年令和元年という記念すべき年に大阪歯科大学卒業40周年を迎えました。

これを記念しまして、今回は兵庫県の名泉有馬温泉にて1泊2日のお泊まり同窓会を企画いたしました。帰りの時間を気にせず、ゆっくり心ゆくまで旧交を温めていただけたらと思います。

幹事会で検討し交渉を重ねて満足のいく内容で皆様にご案内することができました。まだ今からでも間に合いますので、お誘い合わせの上ぜひともご参加をお願いいたします。

なお、出欠の返事をまだ出されていない方は必ずお出し下さい。

幹事一同、お泊まり同窓会に全国から1人でも多くの級友が集えばいいなと思っております。

(髙端章夫 西田眞男 記)



大28 庚申会

庚申会の皆様御元気ですか。今年（2019）の総会懇親会は、9月21日（土）に予定しております。連休前ですが、ご参加の程宜しく御願ひします。

卒後40年にならんとする今、庚申会の連絡ができる人数も減ってきました。昭和、平成、令和と生かされたことの有難さは、各人の苦節の中に包みこまれていることでしょう。

しかし、「命」は科学的な解明の知見を得る度に「尊く」、今生かされているこの広大な宇宙の神秘の前に「敬し」あるいは頭を深く垂れるのみであります。染色体の中の遺伝子と今までの遺伝子からみて「ゴミ」といわれていた部分にも、やはり「偶然」というものの入る余地がないと明確に言える程、「その役割」を解明することが、今の最先端の科学ということになっています。

一日の地球の自転と1年の地球の公転もまた、太陽系全体としては、銀河を秒速何十万Kmの空間を走り去るエネルギーのスパイラルの一部に過ぎません。

かくも狂いなく正確に極大から極微の素粒子に至るまで、万物は昔から存在し素直な態度を示していたのです。

したがって、万一、日、月、星、辰の「理」が少しでも狂えば、私たちの存在は、急に不安定なものとなるでしょう。

一方、私たちが存在するのは現実の世界ですが、その現実を受けとめ、生きていることを感じているのは心の世界です。これはまぎれもない真実です。

誰も皆、現実存在しながら、心の中で生きています。そして、生きながら感じている悲しみ、喜びは心の中で生まれ、心にしか置くことはできません。

多くの人は、心に過ちや悔いを残し、満足しきれずに生きています。でもそのような人生を送っている人ばかりではありません。この世の中には、わずかですが、眩しいほどに気高いおこないを積み重ね、ひたむきな歓びを感じながら、明るく満ち足りた世界に生きている人もいます。

自分を律する心で、高いモラルを持って生きることができれば、誰もが晴れやかな心の世界に生きることができます。

私たち庚申会は40年の歳月の中で心の内に何を成長させ、進化させたのでありましょうか。生かされることが許されている間に、人は「最高の人生」の実現に向けて行動を切り換えなくては、あまりにもこの人生ははかないものと言わざるを得ないと言わねばでしょう。

庚申会のみんなはお互いにそういう存在として、この世を駆け抜けた集団でありたいと願うのであります。さもないと、「心」の「理」がどう狂っても、「物」の「理」が少しも狂わない状態に維持できるとありましょうか？

すべての物、すべての「心」のような特定されない存在もまた、大自然界の中にあるということに矛盾を持たせてはならないと、太古の昔より証明されてきているのであります。

最後に「ホモ・サピエン全史 上下」、「ホモ・デウス 上下」を紹介して筆を置きます。

掬水聞香

（永谷 敏 記）

〈お知らせ〉

令和元年度庚申会（大28） 総会・懇親会

開催日時 令和元年9月21日（土）
午後5時30分 役員会・総会
午後5時55分 記念写真撮影
午後6時00分 懇親会

開催場所 旬和席うおまん西梅田本店
大阪市北区梅田2-4-9
ブリーゼブリーゼ6階
06-6343-6626

大29 仁玖会

仁玖会の皆様、如何お過ごしでしょうか？

桜花爛漫の平成31年4月6日、井関富雄君、楠本哲次君お二人の大阪歯科大学教授就任をお祝する仁玖会同窓会が、奈良ロイヤルホテルにおいて73名の方々の出席のもと盛会に開催されました。

当日は、誠に御多忙の中、大阪歯科大学同窓会会長 生駒等先生、同常務理事 大塚俊裕先生、奈良県同窓会会長 末瀬一彦先生に御臨席を賜りました。

生駒会長の御挨拶では、同窓の大切さ、団結の必要性を説明され、来る100周年事業に向けての力強い決意を示されました。

当日受け付けに設置された、100周年への募金箱には、落とした缶ビールの栓を開けた様に、千円紙幣が箱から溢れ出していました。仁玖会の先生方の100周年事業への熱い想いを目の当にしました。

総会に続きまして、懇親会へと移行し、物故者への黙祷の後、紫媛会を代表してライトバイオレットのストッキングがとてもお似合いの堤佳代子さんに乾杯の発声をお願いし楽しい宴の幕開けとなりました。しばらくすると会場のあちらこちらで相撲の間合いの様にお互いの顔をじっと見合わせる風影が見うけられました。38年の星霜を

聖た様姿の変わり様にお互いにだれだか分からないのです。

今回は卒業時の顔写真付きの名札を用意させていただきます。

楽しい時間はアッという間に過ぎるもので、いよいよお開きの時間となり栗原良浩君のパワー溢れるエールと学歌斉唱で懇親会は幕を閉じました。

しかし、司会者の「2次会に行く人は手を挙げて？」の声にほぼ全員の挙手。名残惜しく話が尽きないのか？まだまだ飲み足りないのか？帰る所がないのか？幹事さんを悩ませつつ大挙して2次会場へとなだれ込み楽しい宴は夜の更けるまで続けられました。

私たち仁玖会同窓会は昭和のまん中にこの世に生を受け、育ち、学び昭和という時代に人生の「青春」を過ごしました。そして時は平成に移り社会に出て、仕事をし、結婚し、家族を成しました。私たちの人生の「朱夏」は平成という時代にありました。そしていよいよ令和です。この令和の時代は私たちにとって人生の「白秋」となるでしょう。人生百年という時代を迎えつつあります。仁玖会の中にも将来たくさんのセンテナリアンが誕生することでしょう。欲しいのは何かではなく、誰かだと気付きはじめて私たちにとって人生の「白秋」をどのように生きて行くのか？それを確かめんと



仁玖会同窓会 於 奈良ロイヤルホテル 平成31年4月6日

これからの同窓会への出席がますますおもしろくなります。

そして最後に、長い元号の歴史の中でその出典を初めて国書、万葉集の序文にとる令和を迎えよ

うとする時に、万葉の都奈良において無事同窓会を開催できましたことに心からの感謝をしつつ拙文の筆を置きます。

(山路 守 記)

大33 燦美会

第34回燦美会総会・懇親会のお知らせ

第33回総会にて、加藤大太郎新会長が、満場一致で承認されました。

燦美会にとって喜ばしいことであります。会員の皆様全員で新会長を支えていきましょう。

さらに燦美会にとって、good newsがあります。我々燦美会から残念ながら母校の教授は今のところ誕生していません。

未来永劫にわたりないと思われまふ。教授就任よりもすごいことが起りました。飯利邦洋君が、石川県歯科医師会会長にみごと当選・就任され、その職責を果たされようとしています。

加藤大太郎君、飯利邦洋君、両君の就任、これからの活躍を同級生一同でお祝い、激励したいと思ひますので、新会長初めての同窓会に皆様奮ってご参加していただきます様お願い申し上げます。

記

開催日時 令和元年 11月16日(土)

総会 PM6:30~

懇親会 PM7:00~

場所 総会・懇親会ともに

大阪博多楼

三井ガーデンホテル大阪プレミア2階

大阪市北区中之島3-4-15

詳細は後日お知らせします(変更あるかもしれません)

*柴田憲吾君ご逝去に際し、“柴田憲吾君を偲んで”の掲載が遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。

(加藤大太郎、上谷徹 記)

柴田君との出会い、そして突然の別れ

柴田君(愛称‘ばたやん’)との出会いについてはあまり明確な記憶がありませんが、学生時分に私は林哲平君と魚釣りによく行っており、哲平君の友人であった故 吉田清彦君などと飲み会で知り



故 柴田憲吾君

合ったのが最初だと思います。‘ばたやん’は少し控えめで、常に周りに気配りをしていました。いつも微笑んでいて、あまり怒った顔を見たことがありません。これが僕の彼に対する印象です。‘ばたやん’は魚釣りをしませんが僕たちが魚釣りでキャンプに行く時に同行し、北海道キャンプや、北陸キャンプなどに参加しました哲平君と僕が夕方真っ暗になるまで釣りをしてキャンプ地に戻ってくると夕食の準備をしてくれていて、いつも文句も言わずに‘おかえり’と言ってくれました。

卒業後はあまり接する機会もなく、たまに勉強会で会ったりする程度で、お互いに積極的に交流することはなかったのですが、突然‘神戸で開業が決まったのでどうしたらいい’との電話があり、歯科医師会の仕事をしていましたので、入会、開業、その他手続きなどをアドバイスした記憶があります。写真の整理をしていて、襟裳岬で撮った彼の20歳代の写真がでてきたので‘若いな、まるで別人やな’とひやかして手渡すと‘ばたやん’は少しはにかんで‘こんな時期もあったんや’と笑って写真を受け取りました。僕の見た彼の最後の笑顔でした。昨年の4月に‘神戸の診療所を5月のGW中に閉院するので、歯科医師会に連絡をお願いします’との電話があり、理由はあまり問い

ませんでした。久しぶりだったので近況や勉強会の事などの会話がはずみ、診療中にもかかわらず長電話をしてしまいました。会話の最後に‘何か欲しい物があれば貰ってくれ’と言ってきましたがその時は病気の事を知らされていませんでしたので、ありがとうと言って会話を終了しました。それからほどなくして‘ばたやん’の訃報を聞き、後になって彼が言った‘何か欲しい物があれば貰ってくれ’の意味が理解できました。最後の最後まで‘ばたやん’らしいさりげない気遣いだったんですね。最後に釣りキャンプでの彼との会話で追悼文を終えたいと思います。

‘釣れた?’ ‘あかんかったわ’ 彼は笑顔で‘たぶんそやろと思った、晩飯作っというから冷めんうちに食べたら’

‘ばたやん’ 楽しい思い出をありがとう。 合掌
(西原一雅 記)

.....

柴田憲吾君を偲んで

突然の知らせに、呆然としました。

風の噂で、体調がすぐれなく診療所を休んでいることは耳にしていたのですが、そこまで悪いとは思っていませんでした。

彼とは、大歯に入学し同じ1年A組で机をならべ、授業を受け、ひよんなことから、父親同士が同窓であったことを知り、そこから親しくなり深いつながりになりました。

大学時代には、今は亡き吉田清彦君と3人でどれだけお酒を飲んだやろうか? 1次会で生ビールを一人20杯以上飲んで、そこからまた2次会に行行って、朝5時ぐらまで飲み続けて始発に乗って大学の講義室に戻って、講義が始まるまで寝ていた記憶が、今でも鮮明に残っています。

ばたやん(柴田君の愛称)は、非常にまじめな性格でカバンの中はいつもきっちり整理され、筆箱の鉛筆もピンピンに削って、長いほうから順番にならべてあった。

中村誠之君、西原一雅君らと北海道へ釣りとキャンプをしに旅行に行った時も、食器やキャンプ道具をキチンと片付けてたなあー。

卒業してからは、それぞれ違った歯科の道を歩みましたが、彼は霞が関の納富哲夫先生に師事し、大阪と東京を忙しく往復してたことを思い出します。

吉田と僕は『あの性格と納富の知識があったら、かなり丁寧に治療するんやろうなあ』『いい治療するんやろなあ〜』と、近所の居酒屋で飲みながらよく話していました。

しかし、みんな早すぎるで! まだまだこれからやのに。

思い出はまだまだ、ありますが・・・どうしても筆が重たく、あまり書けません。

思い出は何時までも若い、人は老いていきますが、それを持ち続けていくことが、大切なことだと思います。 合掌

(林 哲平 記)

大38 黎明会

平成30年度黎明会総会・懇親会

平成30年度黎明会総会・懇親会が平成30年11月8日(日)にあべのハルカス「桃谷樓 阿倍野寶筵」にて36名の出席のもと開催されました。総会は私の会務報告、水野和子さんの会計報告、白神哲也君の監査報告の後、協議事項に入り、今年度も黎明会会費徴収停止の継続が承認されました。連絡網の充実としてはLINEへの参加、PC・携帯アドレスの登録のお願いなどがありました。

橋本典也君からは、ご子息で初の本大学卒業・国家試験合格や、今年も4名のご子息の入学の報告がありました。

懇親会是最遠方から久しぶりに参加してくれた篠崎正文君の乾杯から始まり、途中には一人ひとりの近況報告をして頂きました。その中では、こちらにも4名のご子息が兵庫医科大学に同時入学されていて、情報交換などをこの会でされていたのは興味深かったことでした。仕事の事、家族の事、学生時代のこと等、久々に会う友との話は尽きず、

一次会では3時間、お店を変えての二次会でも2時間があつという間に過ぎて懇親会はお開きになりました。

今回も総会前にプチ観光としてハルカス展望台見学をしました。参加者の日頃の行いが良いのか、天候に恵まれ遠くの景色まで綺麗に見えていたのが大変素晴らしいことでした。

この同窓会誌が届く頃には、今年度の総会・懇親会の案内状（11月10日に神戸にて開催予定）が届くか、届いていると思いますので、特に兵庫県在住者は必ず参加してください。また、2020

年10月24日（土）は大阪歯科大学同窓会創立100周年記念大会がリーガロイヤルホテルで開催されますが、黎明会も卒後30周年にあたり記念式典・祝賀会を大学記念大会後、同ホテルにて行います。今から、予定に入れて、是非とも参加してくださいようお願い申し上げます。

最後に今回の展望台見学の手配、「桃谷樓」の予約等々にご尽力して頂いた飯田哲也君に感謝します。

（中村義盛 記）



平成30年度黎明会総会・懇親会 於 あべのハルカス「桃谷樓 阿倍野寶筵」 平成30年11月8日

大55 豪亥会

大学55回豪亥会同窓会

平成30年8月11日に「ザ・リッツ・カールトン大阪」にて大学55回豪亥会の同窓会を行いました。卒業以来初めての開催となり、約50名が集合しました。本部同窓会からは、生駒等会長にご出席頂きました。

同窓会では、一人ひとりの近況報告を行い、それぞれの親交を深めました。我々も卒後11年が

経過し、多くの者が院長として日々懸命に診療に励んでおり、そんな中での同窓会は、それぞれに良い刺激となったと思います。

また、クラス代表であった玉利正之君が平成30年1月28日に急逝し、急遽クラス代表が変わった中での開催であり、多くの同期に助けられ、いかに同期との繋がりが大切かを実感できた同窓会でした。

これからも大学55回の同窓生の思い出が末永



大学55回豪亥会同窓会 於 ザ・リッツ・カールトン大阪 平成30年8月11日

く続くことを願っています。

最後になりましたが、生駒等会長には、御多忙の中、御出席頂き有難うございました。

(保尾謙三 記)

.....

玉利正之君を偲んで

平成30年1月31日、同級生より玉利正之君の訃報の知らせを聞いた時、驚きのあまり、信じられずに何かの間違いではないのか、と思いました。

卒業後、名古屋大学の大学院に進学し、臨床に研究に邁進する中で、大学55回同窓会のクラス代表としても頑張ってくれていました。



故 玉利正之君

そして、大学院卒業後は、名古屋と東京の診療所を行き来する中、活躍されていたと聞いています。

特に持病も無かったはずですが、平成30年1月半ばに、名古屋での勉強会の最中に倒れ、そのまま1月28日に亡くなられたそうです。

平成30年8月に開催予定であった大学55回同窓会について、以前より玉利君を筆頭に準備していた中での急逝の連絡でした。玉利君は、同窓会の開催を本当に楽しみにしていました。一時、同窓会の開催も危ぶまれましたが、同級生の助けもあり無事開催できたことが、玉利君への手向けになったと思いますし、同窓会当日には玉利君も参加してくれていたと思っています。

玉利正之君、ありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

(保尾謙三 記)

紫媛会だより

令和元年度総会

令和元年6月16日（日）、リーガロイヤルホテル（牡丹の間）にて紫媛会総会が開催されました。

今井敦子理事（大42）の司会のもと、大野良子副会長（大28）の開会の言葉に続き、辻一起子会長（大28）の挨拶がありました。

その後、坂田実緒子理事（大34）が議長を務め、議事が進行されました。

会務報告、学内報告などに続き、平成30年度会計収支決算及び平成30年度懇親会決算が挙手多数で承認されました。また、令和元年度事業計画案、会計収支予算案に承認を求める件が各部より提出され、原案どおり挙手多数にて可決承認されました。さらに、これまで検討されてきた会則について承認いただきました。

最後に、岡村伸江理事（大39）の閉会の言葉で無事閉会となりました。

今後とも、紫媛会にご協力ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

（大39回 福原晴代 記）

会員の皆さまへ

同窓会報2019 WINTER Vol.199「紫媛会だより」には、“紫媛会のこれから”について掲載させていただきました。会員のご意見を集約し、「女性歯科医師の集まりとしての紫媛会は やはり必要!!」との結論に至りました。現時点では「どのような形でも存続すべき」が課題で、時代に則した改革が必要と考えます。その一つとして、本年度の総会で、紫媛会会則の一部改正として、当番学年制度、未納年会費の取り扱いなどを提案し、同意いただくことができました。ご報告と共に感謝申し上げます。

会員各位が「親睦を深め支援しあう紫媛会」を目指した大阪歯科大学同窓会 紫媛会であることを再認識し、今後は本部同窓会と連携を密に効率的な運営を心がけ、後輩へ繋ぐ大切さを感じております。引き続き皆様のご理解、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

紫媛会 会長 辻 一起子
役員一同



令和元年度 紫媛会総会 於 リーガロイヤルホテル（牡丹の間） 令和元年6月16日

令和元年度懇親会

令和元年6月16日（日）リーガロイヤルホテル大阪にて、令和元年度紫媛会総会・懇親会が開催されました。

懇親会には、本部同窓会会長・大阪府同窓会会長の生駒等先生、母校理事長・学長の川添堯彬先生、大阪府歯科医師会副会長の市原聡先生、本部同窓会専務理事の恩田信雄先生、大阪府同窓会専務理事の大塚俊裕先生並びに清水谷公成先生（歯科放射線学講座主任教授）、山本一世先生（歯科保存学講座主任教授・附属病院副院長）にご臨席賜り、新会員57名を含む57名の先生方にご参加いただきました。

今年度は、大阪府歯科医師会理事としてご活躍されている堤 佳代子先生（大29）に、女性歯科医師のご活躍の様子をお話しいただきました。堤先生は、歯科医師会の組織、歯科医師会員数、歯科医師会女性役員数、女性役員の経緯と現役員、さらに日本歯科医師会で活躍されている女性役員についてなど、スライドを用いてとても分かり易くご説明いただきました。歯科界を支える女性歯科医師の現状を知ることができ、感銘を受けるとともに、このような機会を与えていただくことができたのも“紫媛会ならでは”と感じました。余興としては、男性ピアニスト、女性ボーカリストをお招きし、ジャズ演奏をお聴きいただきました。ジャズスタンダードをメインに、カーペンターズや松田聖子などのポップスも組み込まれ、親しみのある曲をゆったりと楽しんでいただけたのではないかと思います。

諸先生方にご助言いただき無事に懇親会を終えることができました。ありがとうございました。来年度の懇親会も楽しいものになることと思いますので、多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。

（当番学年大54回 片尾祐子 記）

福祉事業（大相撲 大阪場所）

平成31年3月14日、福祉事業として大相撲3月場所をエディオンアリーナ大阪（大阪府立体育会館）で観戦致しました。34人の先生方にご参加いただき、楽しいひと時を過ごしました。テレビ放映での取り組みしか知りませんでしたが、朝8時半の序の口取り組みから自由に観戦できましたので、館内のお相撲さんパネルと一緒に写真を撮ったり、お土産屋さんを楽しまれたり、力士の出待ちを楽しまれたり……。テレビ観戦とは大違い。力士の迫力に圧倒！観戦している人の応援や力士の躍動感に皆、一喜一憂されていました。

美味しいお弁当とお土産もあり、満足頂けたことと思います。

（大46回 大川寿子 記）



クラブOB会だより

コントラクトブリッジクラブOB会

2018年5月3日に前部長小林義彦先生がご逝去されました。教鞭の傍ら、生涯コントラクトブリッジの普及に努められた小林先生の突然の訃報にOB一同悲しみに包まれました。

先生は本学着任後、1977年に大阪歯科大学コントラクトブリッジクラブを発足させ、以後、関西では京都大、大阪大、和歌山医大とともに覇権を争うチームを育成しました。1980年代から1990年代にかけて毎年実施していた美濃白鳥合宿では、先生指導のもと一週間を共に過ごし毎日4時間セッションを3セット、合計12時間の練習を行っていました。その成果もあり、東京で実施される全日本学生選手権（インカレ）では、関西勢はもとより東京大、東京工大、東京理大、筑波大、早稲田大、慶応大、国際基督教大、東北大、九州大などとリーグ戦を戦っていました。強豪校がひしめくなか、1999年にはついに学生日本一、全国制覇を果たしました。2007年3月のご退職

後もOB総会（毎年2月）や合宿（毎年10月）には必ず参加され、学生を指導いただきました。

また、先生は日本コントラクトブリッジ連盟関西支部設立にも積極的にかかわり、頭脳オリンピック種目であるコントラクトブリッジの日本での普及に尽力されました。

本年、2019年5月2日に日本コントラクトブリッジ連盟の公式戦として、故小林義彦先生追悼トーナメント（ペアー戦、セクショナル）が大阪ブリッジセンターにて開催されました。10連休の真ただ中ではありましたが、本学のOBを含む18テーブル70名の関西のブリッジプレーヤーが参加しました。小林先生とともに普及に努めたプレーヤーも多く参加し、思い出を語り合いながら和気あいあいと試合が行われました。

一周忌を迎えるにあたり、OB一同小林先生のご功績を讃えるとともに、先生のご遺志を継ぎ益々のコントラクトブリッジの普及、発展に尽力することを誓いました。

（部長 大31回 池尾 隆 記）



故小林義彦先生
追悼トーナメントの様子と
優勝メダル

ラグビー部OB会

「韋駄天11 西島忠之君を偲ぶ」

17期ラグビー部員5名より同期の死を悼む！
久保好史〔8〕・野口孝純〔2〕・大野忠彦〔7〕
小林秀夫〔5〕・林 偕一〔M〕〔背番号〕

我々が牧野2年生の秋に東京五輪がありその翌月11月3日は日大歯学部と、ラグビー定期戦があり初めて新幹線に乗ったが、関東リーグ8部の相手に負けて帰りは大野君と夜汽車の関西線で帰った。

3年生の夏合宿は島根県三瓶山の宿舎は山頂の国民宿舎で、グラウンドは5km離れた麓夏休み中の小学校であった。この合宿は校庭斜面のダッシュの連発でスタミナを付けて秋の医歯薬リーグや関西4部リーグに臨み、連戦連勝するのであります。

その当時は残念ながらオールデンタルが不在でした！連勝の要因は高校ラグビー経験者4名が入部し渡邊忠二・奥村 仁・銭谷正和・西村和晃の後輩達が活躍して、ハーフ松岡洋平・瀧北祐輔とサイドステップが得意な瀧北勝彦とのバックラインとホワードの堰口・野口・大谷・木下・小林・小谷・渡辺・大野・久保・軍団のコンビネーションが試合をリード出来る体制と変革前進したのである。

春の連休は九州歯科との定期戦があり小倉と牧野の交互での試合で九歯は手強い相手でした。私と西島君は牧野で6年間同じアパートで過ごし実習も同じ班の仲間でした。春の合宿は淡路島や南紀白浜合宿にも参加して、終了後那智の滝や静八丁等を西島君と二人でプロペラ遊覧船で旅行し青春の間の懐かしい思い出であります。

4年の夏合宿は徳島県、5年は石川県の羽咋市で6年は長野県的美ヶ原・霧が峰でした。6年間で北海道実家に帰ったのはたった3回だけで在学中の成績は41勝25敗の見学4回〔肩垂脱臼〕昭和42年、1967は公式戦全勝4/30の定期戦は圧勝！メンバー↓ 大阪歯科 24：5 九州歯科
1. 堰口 2. 野口 3. 大谷 4. 木下 5. 小林
6. 渡辺 7. 大野 8. 久保 9. 松岡 10. 奥村
11. 西島 12. 瀧北 13. 瀧北 14. 西村
15. 銭谷



上段 大野忠彦・林 偕一・西島忠之
下段 野口孝純・小林秀夫・久保好史

＊我々17期がラグビー部活動していた頃の先輩・同期・後輩のご逝去されたラグーマン達

21期 田原 汎 ・ 20期 吉村賢一
19期 西村和晃 ・ 奥村 仁・渡邊忠二
18期 瀧北勝彦 ・ 17期 西島忠之
16期 瀧北祐輔
14期 上野直昭 ・ 大坂尚史
12期 稲場文久 ・ 11期 藤井輝久

17期〔昭和44年3月卒大学紛争〕我々はラグビー部創立50周年90周年を無事経験し2024年には100周年を迎える訳です。その間に在学中日大歯学部との定期戦では3勝3敗であり相手の主将は現在の日大大学長の太塚吉兵衛氏であり我が方は久保好史主将だったのです。我々は既に後期高齢者となり最近では親睦ゴルフ等を大阪近郊は元より北海道・宮崎県・山口県と楽しんでおりました。

昨年4月山口県の韋駄天西島忠之君のお誘いで同期ゴルフ猛者の稲田君も誘い、久保・西島・小林・野口で下関近郊のゴルフを楽しんでおりましたがその後10月ラグビーOB会に出席できずと報告あり、肺癌で11月26日にご逝去されました。高校は野球部で大学ではウィング韋駄天として活躍した、褐色の弾丸の西島君の早すぎる死を悼み、哀悼する次第です。合掌

〔老兵は死なず、単に消え去るのみ！〕

（大17回 野口孝純 記）

日本拳法部OB会

去る6月8日（土）午後5時より、大阪歯科大学天満橋学舎14階「プラザ14」において、令和元年日本拳法部OB総会が開催されました。

年輩のOBの先生の方々から卒業して日の浅いOBの先生まで、多くの先生に出席していただきました。

片岡宏之先生（大30）による開会の辞に続き、上田雅俊先生（大16）が議長に選出されました。次に堀内康夫会長（大23）より会長挨拶が行われました。

続いて報告に移り、日本拳法部監督の濱田裕之也先生（大53）より、平成30年度日本拳法部の活動報告及び会計報告があり、続いて新入生池田弘輝君の入部が報告されました。

舟木崇先生（大43）が第50回全日本歯科学生総合体育大会の日本拳法部門の報告をされました。続いて荒木直樹先生（大50）が社会人連盟の活動報告をされました。

次に議案に移り、今後のOB会運営に関して、活発な議論が行われました。続いて、OB懇親会と新入生歓迎コンパが開催され、出席された先生方が旧交を温めあい親睦を深めました。また、懇親会で、新入部員1名を含む現役部員8名の自己紹介がおこなわれ、今後の活動への抱負と今年度歯学体への決意を表明した。

今年度の歯学体は、8月3日（土）、4日（日）に松本歯科大学主管で松本歯科大学の体育館で開催されます。

来年度（2020年）の歯学体日本拳法部門は、我が大阪歯科大学が主管にて開催されます。

OBの先生方におかれましては、ご多忙とは存じ上げますが多くの御支援、御指導いただきたいとお願いいたします。

（大51回 佐治晋平 記）



仏教青年会

平成29年11月18日大阪歯科大学プラザ14にて、100周年記念祝賀会がOBの川添学長・理事長（大14）をはじめ37名の参加で挙行された。今井弘一OB（歯科理工，大24）、西川哲成OB（歯科医学教育開発，大24）の講演の後、祝賀式典では緒方惟幸OB（大17）の司会のもと、増田将和OB（大11）の開会の辞で始まり、田中昌博学生部長の来賓ご挨拶、三崎 潤君（4年生）の挨拶があった。その後、宴会が吉村茂男OB（大14）の乾杯で始まり、川添理事長・学長からも挨拶をいただき、西川OBの挨拶で閉会した。

仏教青年会は大正5年（1916年）華学先生を中心に仏教に興味のある学生により、社寺巡拝、国宝・遺物の拝観、遺跡の見学などにより高い教養と人格の向上を得ることを目的に発足した。戦前は華学先生、小野部長（解剖病理学教授）、戦後は平田部長（化学教授）、外海部長（化学教授）、西川部長（口腔病理准教授、歯科医学教育開発教



授）と引き継がれたが、クラブ数の増加や学生数の減少でしばらく休部状態となっていた。100周年記念祝賀会ではOBからは復部の要望がなされ、藤原眞一部長（化学教授）を中心に令和元年5月に復部が承認され、地歴探訪部と改め現在学生約20名とともにOBや教員の参加を得て京都を中心に例会が行われている。

（大24回 西川哲成 記）



仏教青年会創立100周年記念祝賀会 於 プラザ14 平成29年11月18日

大阪歯科大学同窓美術展（53回）報告

大阪歯科大学同窓会100周年記念

第
53
回
2019

**大阪歯科大学
同窓美術展**

5月17日(金)~22日(水)

11時~19時

最終日は17時

ナルミヤ 戎橋画廊

上野乃武彌 7
太田 千景 大30
岸 直樹 大34
木村 憲司 大25
久保 慶浩 大11
黒川 徹 大18
小塚 充雄 大28
小林 倫子 大25
坂田 秀敏 大21
関本 恵一 大16
瀬底 正男 大16
高木 博 大12
武田 一士 大21
中田 晴彦 大25
額田 晃作 大7
橋本 登 大14
深尾 正 大25
藤田 淳一 大21
前田満里子 大22
松本 明彦 大30
矢尾 夕美子 大2
山中 敏男 大21

一年間一曲を完成させて能舞台に立つことを、義父は何十年とやって来た。舞仕舞は何年も演じられなかった秘曲「姥捨」を舞うて能の世界から退いた。

私には面をつけた義父と能を職としている方の芸との差は判らないままに舞台に接することは亡くなった。

舞台上で表現する芸術はその日、その時ベストコンディションでなければならない。同窓の落研のプロに勝るメンバーの芸の力に我々の展覧会は負けていないかと恐怖を感じている。

制作するのに壁にもたれてでもの苦しい条件の時に何か捉めないかと画室に入る。しかし文楽の文五郎丈が重い人形をあの体で操り、老いたバレリーナが極限の美を見せることを思うと美術の世界は恵まれている。フェルメールに行列を作る観客を見て、今日から筆を持とうと考えないでしょうか。

(大7回 額田晃作 記)



小塚 充雄

支部だより

クラス会だより

紫媛会だより

クラブOB会だより

会員投稿

大阪歯科大学学内ニュース



深尾 正



岡本 義隆



矢尾 夕美子



武田 一士



松本 明彦



高木 博



坂田 秀敏



橋本 登



小林 倫子



久保 慶浩



黒川 徹



太田 千景



関本 恵一



山中 敏男



瀬底 正男



岸 直樹



中田 晴彦



木村 憲司



藤田 淳一



前田 満里子



上野 乃武彌



額田 晃作



会員投稿



古 跡 養 之 眞 (大8回)

略 歴

昭和35年 3月 大阪歯科大学卒業
昭和35年 6月 大阪歯科大学口腔外科学講座入局
昭和52年 4月 大阪歯科大学教授（歯科放射線学講座）
平成 9年 4月 大阪歯科大学附属病院病院長
平成12年 9月 大阪歯科大学学長
平成18年10月 大阪歯科大学名誉学長

結構、鉄ちゃんだったんだ!

蒲生四丁目のバス停から程近い大阪市立鯉江幼稚園に通園していた私は、帰途これも園児の足でもそんなに遠くない京阪電車の蒲生信号所のそばにある陸橋に、電車見物に寄り道したものだ。その地点は、昭和8年に開通した当時日本最長の4.2kmに及ぶ守口からの高架複々線が複線に戻る場所であった。しかも、すぐそばを単線の城東貨物線が高架で近づいて来て、跨線橋で京阪電車を越えて行く様子が同じ高さで手に取るように見えるのであった（2019年には大阪東線が乗り入れた）。この陸橋も今はない。

今でいう「見る鉄」であった私にとっては、SLが牽引する貨物列車が目の高さ、見下ろせば憧れの京阪1000型流線型がやって来るまさに天国であった。しかし、最近の子供のようにスマホや使い捨てカメラが手元にあるわけもなく、残念ながら「撮り鉄」にはなれなかった。

流線型といえば、その頃、京阪神間を疾駆していたモハ52型は、焦げ茶色とクリーム色に塗り分けられたカラーリングといい、他に類を見ないスタイリングと併せて日本一の電車だと思った。終戦後、阪和線に追われ、更に飯田線に転出した頃、わざわざ大阪から会いに行ったが、塗装も地味な単色でとても情無い思いをしたものだった。中学生の頃、親にせがんでモハ52型の模型を先頭車1輛と中間車1輛を完成品で買って貰い、半

編成の不細工のまま（多分予算の関係で）〇ゲージ（32mm）の線路の上を飽きずに走らせていた。

「模型鉄」といえば、その後HOゲージ（16.5mm）が全盛となり、規模の大小はともかく、各百貨店に模型コーナーが出現したが、やがてプラモデルに取って代わられる。現在、鉄道模型が健在なのは梅田の阪急百貨店ぐらいか？

現在Nゲージ（9mm）、Zゲージ（6.5mm）と段々とスケールダウンしていくのは、個々の車輛を賞でるよりも列車としてレイアウトのジオラマ的風景に溶け込ませたいからのようである。

京阪電車に次いで身近になったのは、近鉄それも奈良線である。第二次世界大戦の末期、昭和19年に奈良に縁故疎開をすることになった。引受け先は幼稚園の副園長先生で、専門27回の福岡保郎先生のお母様である。3年生の夏休み中に奈良の福岡歯科医院に来るようにとのことだった。ここで私の父親は一計を案じた。京橋→天王寺（城東線）、天王寺→王寺（関西本線）、王寺→奈良（桜井線）「これで奈良に行くぞ!」と行く理由は告げられなかった。人見知りが強い私が親戚でもない家に一人で預けられるのを承知するはずがないと思ったのだろう、出来るだけ長く鉄道に乗ることで機嫌を取ったのである。

4年生からは他家の離れで独り住まい。そして毎夜大阪から通ってくる母親を迎えに近鉄奈良駅（当時は地上駅）に日参し、近鉄奈良線、奈良電の全車輛を目にすることが出来た。

父親は宮城県黒川郡の生まれ、仙山線の北仙台

から軽便鉄道で数十分の所だった。昭和20年8月15日の玉音放送は仙台の田舎で聞き、あわてて帰阪するに際し、二等車（今でいうグリーン車）のチケットを奮発してくれたのだが、東北本線はともかく、東海道本線は貨物列車、しかも一旦停車すると数時間は動かず、復員兵士は飯盒でご飯を炊く始末、大阪までは一日で帰れなかった。こんな列車に乗りたい「乗り鉄」は何処を探しても居ないだろう。

小学4年生の夏に戦争は終結したものの住民登録を大阪市に戻すのは当然だめであった。しかし、大阪には帰りたかった。4年生の2学期からは大阪から奈良へ通学することにしたが、配給米は奈良で受け取らねばならなかった。それを大阪に運ぶには鶴橋駅の近鉄と国鉄（現JR）の連絡通路にある検問所を無事通過しなければならなかった。或る日、バッグの中身がお米であることが露見しかけた時、担当の警官が私の持っている雑誌に目を止めた。それは戦後発刊されたばかりの「鉄道模型趣味」だった。「えー、君は小学生なのにこれを読めるの。実は僕も愛読者やねん。さー通りなさい。早く行きなさい。」とても、とてもうれしかった。

それから70年、極上の鉄道旅を楽しむ観光列車全盛の時代が到来した。最もぜいたくなのは周遊型寝台列車でクルーズトレインと呼ばれている「ななつ星」、「瑞風」、「四季島」である。運賃も数十万～百万円クラスだが、乗車希望者が殺到して抽選倍率もかなり高い。

非常にラッキーなことに「ななつ星」に乗る機会を得た。乗車してラウンジで「一度の申し込みで当選した。」と語ると一斉に拍手が起こった。皆さんそれ程苦勞をされたそうである。ななつ星は同窓会までである。

一方では短距離を一日数本走る特別料金不要の観光列車も日本全国で100を超えている。最も多いのは中部地方であるが、人気は九州ではないだろうか。基本的にはグルメ列車か絶景列車である。車輛も個性的で特に水戸岡鋭治氏のデザインによるものが豪華で素晴らしい。最近、書店の鉄道本



JR九州 或る列車

コーナーに多数のガイドブックが並んでいるので一読をお薦めしたい。

歯科医師の方には鉄道ファンが多い。なかでも有名なのは大学33回の野村一夫先生である。行きつけの模型店が同じで、付き合ってもうかなりの年月になる。彼の有名なエピソードとして、とある列車で同好の士と思われる人としゃべっていると、突然「あなたは放出の野村さんと違いますか?」と言われたそうである。大したものである。最近、私が乗車したのは震災復興支援ツアーに参加した三陸鉄道と五能線の「しらかみ」そして



三陸鉄道

JR九州のいくつかの観光列車である。なかでも「A列車で行こう」は実際のジャズバンドが乗車して生演奏で発車時、到着時の「A列車で行こう」とともに三角～熊本間走行中には、他スタンダードナンバーも聴かせてくれるのである。



私などはまだまだ駆け出しに過ぎないが、恐らく観光列車完乗の方もいらっしゃるに違いない。そんな方々の会員投稿を期待したい。

会員投稿

森 昌彦先生には「知の挑戦」出版時に全国同窓会報誌（Vol.197）に掲載させて頂きましたが、今回は、呉 時南（大2）先生との手紙の交流を通して、呉先生を偲んでいただきます。



森 昌彦（専30回）

- 略 歴**
- 2009年 Wall of Honorer Royal Society of Medicine、瑞宝中授章
 - 1997年 朝日大学名誉教授、1996年 朝日大学定年退職
 - 1991～1995年 朝日大学病院長、1995年 第4回国際口腔癌学会会長
 - 1979年 FDI教育委員会委員
 - 1971年 Fellow Royal Society Medicine
 - 1971年 岐阜歯科大学・朝日大学教授（歯学部口腔外科）
 - 1960年 大阪大学助教授（歯学部第2口腔外科）
 - 1957年 医学博士（大阪大学医学部）
 - 1951年 大阪大学医学部研究生（第2口腔外科）
 - 1950年 大阪歯科大学専門学校卒業、1945年 兵庫県灘中学校卒業

名誉会員：日本口腔外科学会・日本口腔科学会・日本組織化学会、国際顎顔面外科学会、フィリピン口腔外科学会
客員教授：1994年 中国第四軍医大学、1993年 中国佳木斯医科大学、1984年 中国ハルビン医科大学
現在、中国上海の上海交通大学医学部、カ九人民医院と共同でOdontogenic Tumors.Cystsの本（英文）を編集集中

呉 時南先生を偲ぶ

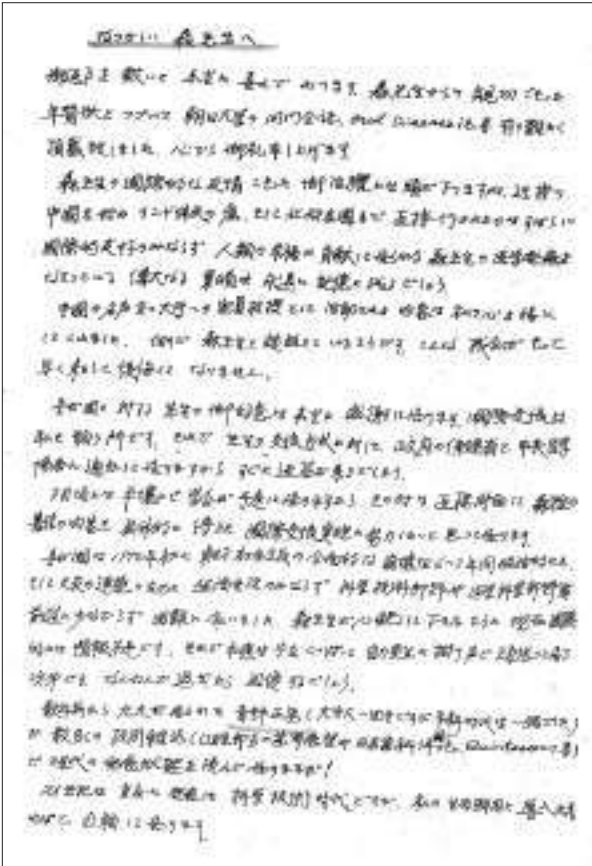
1. 呉時南先生のプロフィール

1-1 大阪歯科大学入学から北朝鮮へ帰るまで [昭和23年(1948)～昭和36年(1960)]

大阪歯科大学2回生、このクラスは昭和29年103名の卒業生を出し、唯一人の朝鮮系学生であった。同級生として岡野博郎（口腔外科教授）、並河勇（朝日・細菌学教授、故人）、橋本弘一（明海理工教授、故人）、柳生嘉博（明海、補綴教授）、吉岡済（明海、兵庫医大口腔外科教授）、が居られる。当時の大学は旧制であったため予科2年をへて学部に入学するため、予科入学昭和23年、大学入学昭和25年である。

2年年上の上級生には軍関係の陸士、海兵、予科練学生に10代（中頃）で入学した学生が多くなり、彼は旧制中学で大東亜戦争と終戦後の教育を受けていた。大阪歯科大学へ入学する前、大阪市は米軍の爆撃により焼土と化したところで生活していた。在学中の昭和25年7月(1950)朝鮮戦争が起り、北朝鮮軍（金日成軍）が、南朝鮮に侵入し、急速に南朝鮮半島の南端まで占領する事態となった。マッカーサーの米軍（連合軍）は仁川に上陸し、中朝国境にせまると、中国義勇軍が参戦し、朝鮮半島の土地は破壊された。この日本に警察予備隊が結成され、これが自衛隊のルーツである(1954)。マッカーサーは解任され休戦となった。この様な朝鮮半島の動乱下の昭和29年

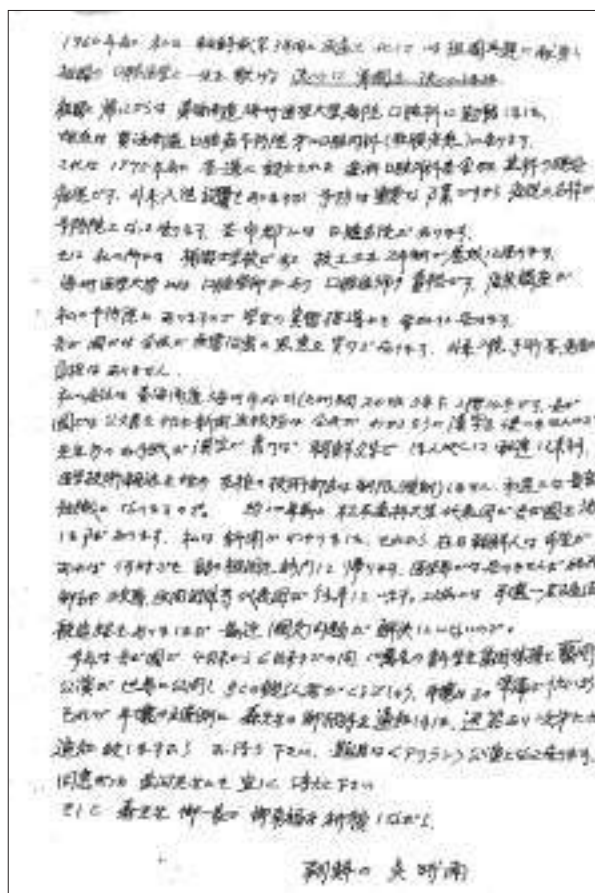
(1954) 大阪歯科大学を卒業した。後に同年大阪大学第2口腔外科に入局し、私との関係が出来た。阪大口外の5年間実験癌の研究（癌）を行い、発表している。そして昭和35年（1月6日）朝鮮半島の統一を希望して北朝鮮へ帰った。教室員数人が見送っている。（L-1 参照）



(L-1)

1-2 呉時南先生が北朝鮮に帰国してから亡くなるまで

彼が北朝鮮に帰国後、私は昭和46年(1971)新設の岐阜歯科大学→朝日大学歯学部に移った。昭和52年(1977)頃になると私が岐阜に居ることが判り、文通が始まり、黄海南道の海州大学医学部に居ることが判明した。(L-2参照)



(L-2)

また、私以外に九大の青野先生(予科で知り合う)も日本の雑誌を送って居られたことも判ってきた。相手の希望を叶えるため、私は中国東北部で開かれた学会時に前もって手紙を出し、2人で久し振りに会う機会を待っていた。

- ①中国東北3省口腔医学会 双鴨山 佳不斯医科大学(図1)平成5年8月(1993)China-Japan Joint Symposium of Histochemistry and Cellular Biology in Harbinが開かれた。この時に佳不斯に居た宿玉成・李翠英先生と知り合いとなり、次の会が計画され、来日することになる。
- ②ハルビン医科大学建校70周年記念 平成8年(1996)(図2)

ハルビン医大の卒業生は全世界に分布し、日本

(図1)中国東北3省口腔医学会
1993年8月28日(土)撮影



黒龍江省口腔医学研究所前の4人
(左から)林雪峰、李翠英、森昌彦、宿玉成

この3人は2015年に出世し皆教授となる。その前に日本に留学し、流暢な日本語を話し、日本の学位(歯学博士)をとり中国一流の大学教授となった。

でも山形県、岐阜県の山間地で開業している先生がある。

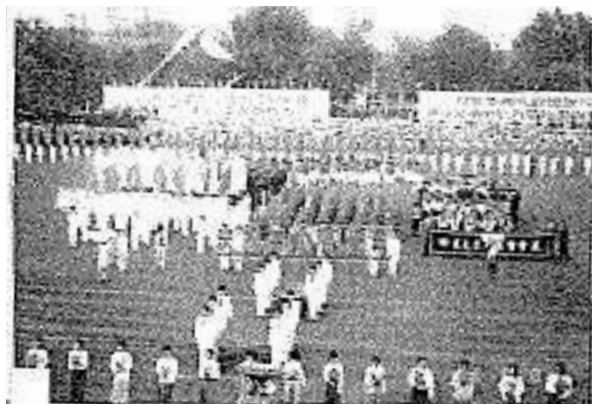
- ③ハルピン医大第一医院開院50周年記念 平成11年(1999)

中国東北部は昔の満州国と同じ地方で満州国の建国の五族共和(日、漢、満、朝鮮、蒙古)それに少数民族のロシア人を含むものであり、北朝鮮とは陸続きである。私はこの時呉先生と会う計画が不可能であることが後で判った。すなわち呉時南先生は帰国してから一度も北朝鮮から出国していない。外貨不足ためと云われている。

2.北朝鮮の政治体制

北朝鮮の支配者金日成(キムイルソン)は満州事変(1931)の頃から、中国と朝鮮の国境にあ

(図2) ハルピン医科大学建校70周年記念野外行進
1996年9月8日(日)撮影



ハルピン医科大学
元校長 于維漢

たる長白山（白頭山）附近を根城としたゲリラ戦で日本総督府と対峙していた。いわゆる抗日戦を展開していた。金日成は個立した場所で日本側と戦い、共産主義に触れる。系統的共産主義も学ぶ

機会はなかったはずである。1945年終戦となり、北朝鮮はソ連軍の支配下に入り、この時に共産党一党支配と金日成の個人崇拜が出来あがった。昭和25年7月、金日成軍は朝鮮半島南端まで達し、始めは優位にあったが、まだ中国軍の援軍を得ていたが、マッカーサーの連合軍が朝中国境にせまると、中国当局は全国の医科大学の外科医を総動員して後方の佳木斯、牡丹江の病院を充実し、後方基地として戦傷者の治療が行われた。上海交通大学第九人民病院の邱先生もこの時動員され、当時の指導者、宋儒耀教授、また張深生教授らも動員された時の写真がある。若き邱先生の思い出がある。(図3)

(図3)朝鮮戦争(昭和25年1950.7月)が起ったため、中国軍は東北地区の拠点病院に医師を派遣した。



北朝鮮軍は中国軍と共に朝鮮半島で戦いの体制を保つことが出来た。金日成は自主、自立の主体思想(チュテ)により、ベトナム戦(1940-1953)に反対し、世界の共産主義をリードしていたが、経済の再建に失敗し、国民の生活は困窮する状態となった。

朝鮮総督時代の朝鮮の産業は大部分が北にあった。鴨緑江ダムによる発電により重工業が発展していた。しかし終戦後20年以上たつと、これらの

産業は旧型となり、またソ連の崩壊による経済的な打撃は大きく、体制維持するのに困難な状況が続いている。北朝鮮の政治は先軍政治と云える。そのため核とミサイルも開発（ソ連の旧ウクライナ入手）し、アメリカと対立する姿勢もとっている。



宗儒輝教授



張滌生教授

3. 中国東北部からみた北朝鮮、北朝鮮に接している中国吉林省の延辺自治区

中国東北部は北から黒竜江省、吉林省、遼寧省の3省からなり、夫々の省都には立派な大学、医学部（口腔科を含む）がある。吉林省の東北部、北朝鮮とソ連に囲まれた地区に延辺自治区があり、区都は延吉である。この地区は朝鮮族が大多数を占め、道路標識はハングル、漢字で書かれている。延辺自治区には延辺医科大学があり、高知医大と姉妹関係にある。この自治区は第一外国語は日本語であり、この地方には中国で最も日本語学校が多い。吉林省の東南には鏡泊湖があり、中国人、ロシア人の観光客がみられる。牡丹江の近く、中ソの国境の町、綏芬河をこえたとウスリースクをへてウラジオストック、シベリア鉄道の東側の終点に到達する。モスクワから8日間の日程、約9,000km。ウラジオストックはピョートル大帝湾に接し、この南西端に豆満江が流れている。この豆満江の上流が延辺自治区である。昔の朝鮮総督府は政策に反対する朝鮮人を中国のこの自治区を流刑先として用いていた。当時、この自治区は間戸と云われた地である。

私は日中の口腔医学交流のため、第3回日中合同口腔生物学会を佳木斯市で開いた（図4）。

北朝鮮に近く、呉時南も出席の可能性があるか

（図4）1998年第3回日中口腔生物学会
佳木斯医科大学



らである。平成10年（1998）8月9日、ハルビン空港に集合、佳木斯へバスで移動し、次の日の10日2:00ホテル着。佳木斯医大の合同会議には日本側から20名以上、中国側からも北京医大口腔科の先生方、教授が参加していた。8/12（水）ハルピンへ。牡丹江泊。8/13（木）早朝出発し鏡泊湖をへて敦化へ。8/14（金）中国吉林省（北側）から長白山、天池へジープで登山。長白山山頂では韓国から来た人々が沢山みられた。長白山（白頭山）は朝鮮族の仰ぐ山である。従って金日成はこの山を中心としてゲリラ戦を行っていた所である。8/15（土）吉林泊。8/16（日）長春をへて大連、日本へ帰国した。我々は佳木斯からボルボのバス、公安、佳木斯医大の看護師を同乗させていたが、この地方一帯は外国人の立ち入り許可制で、詳しい地図は公表されていない。全旅程2,000Kに及ぶもので、北朝鮮に接する中国の状態について直接みることが出来た。

延辺自治区吉林省南部長白山麓は朝鮮人参の主産地で、また日本に輸出される松たけの集産地でもある。チャガ（シベリア地帯に産する地下たけ、黒い塊で免疫療法に用いるβグルカンが含まれている）の産地でもある。これは高額で取引されており、この地区の経済的自立をうながしているものと考えられる。

4.Humboldt大学医学部図書館 における北朝鮮の留学生

北朝鮮の大学教育の実体はどの様になっているのか？日本では明らかにされていない。朝日大学とHumboldt大学の口腔医学 Stomatology との交流のために、歯学部長、Prof.Christian Tierfelderが来日した。私はその時に北朝鮮の留学生を引き受けていると云う情報を得た。昭和62年（1980）成田、モスクワ、ベルリンとエアフロートを使い、東ベルリンのシェーネフェルト空港でTierfelderらの出迎えをうけ、朝日大学とHumboldtとの予備交渉にのぞんだ。交流の要点は大学教員の交流、人と図書、文献の相互利用、日本での病気は日本側がみる。と云うものであった。8/25（金）ベルリン入り。8/28（金）出発、ライプツィヒのRosenthal Klink、プラハをへてモスクワ、東京へ帰った。日本側の代表の1人として教養部の矢島不二男教授（東欧の経済に詳しい）を伴っていた（図5）。

（図5）フンボルト大学の歯学部長、
Christian Tierfelder教授宅で



Tierfelder 宅で
森、矢島

Professor Christian Tierfelder Dirc for
Forsheng des Berliches Medizin Humboldt

Universität Berlin.彼は補綴専門のため、欧米の歯科材料について詳しい。私は朝日大学とHumboldt大学との学術相互交渉でBerlinを訪ねた。1987.8.25 モスクワ回りでBerlin着

8.26会議 会議は1800年代の古い赤レンガの建物の会議室で行われ、朝日大学の矢島教授（教養、経済学）が出席している。

8.27 Prof.Dr.Alfred Brenst口腔外科主任が
新病棟とVirehow museum.Pergamon
museumを案内。

Prof. Thiorfelderは1966年、Ⅱ Kongress der Deutsche Gesellschaft für Stomatologieで発表している。私もこの学会に招待され講義をしていた。

Prof.C. ThiorfelderはBerlin会議の前に来日、朝日大学病院、村上病院を見学している。

次のHumboldt訪問は東西ドイツの両統一の後で東ベルリンは東西合併されており、ThiorfelderはBerlinに居なかった。聞く所によるとUSAに移転したと云う。

Prof.Tierfelderの紹介した北朝鮮の学生とは20分以内で短い時間しか会えなかったが、日本語を少し話し、英・独・ロシア語が出来、かなり優れた学生と思われた。ベルリンに来て初めて世界の情報が入手できたとのべていた。また同時に東ベルリン、東独以外に出られないと嘆いていた。

次の機会は平成4年（1992）ドイツ再統一後のことである。この時はHumboldtの外国人宿舎に泊った。東ドイツ留学生と会った時間は僅かで前者同様外国語に優れ、北朝鮮の図書館との差について、情報の取得について、外貨不足の結果であると嘆いていた。両方に共通するものは外国に出ないと世界の情勢が判らないと云うことである。両者ともに金日成大学に所属していた。

5.旧ソ連・東欧に広がる朝鮮族

ロシア極東の沿海州は元々沢山の朝鮮族が住んでいた地区である。日露戦争後、日本が朝鮮半島を支配すると、ロシアはこの地方に住んでいた朝鮮族の人々を強制移住させた。行先はカザフスタンを主とするロシア自治区であった。100年以上前のことである。現在はその3世の時代で年令

50～70才のソ連国内の人々と云える。第2次大戦終了後、中国東北部はソ連の占領地となり、昭和20～22年（1945～1947）、関東軍の兵士はこの地区に移送されたか、シベリアの極寒地で木材の労働についていた。タシュケントのサボイ館は今でも使われているが、日本軍の捕虜が建てたものである。おそらくソ連政府はこの地区の人手不足を補うためのものと考えられる。

昭和63年（1988）ハンガリーのミスコルツ（Miskolc）で開かれたInternational College of Maxillofacial Surgery（ICMFS）に出席した時、学会長Prof.Ditolの奥さんが朝鮮族の出身であることが判った。ミスコルツはハンガリーの東部、ウクライナに接し、ハンガリーワイン、トカイの産地である（図6）。

この地区のハンガリー人は日本人と云っていた。東欧、ロシア国境の人々は朝鮮半島と日本との区別が出来ない人々で、例えば日本人に、モル

（図6）ハンガリー・ミスコルツのIAMFSの
学会長とDitol（右）とその婦人（左）



ドバ、アルメニア、アンドラがどこにあるか？と質問しても正確に答える人は少ないと思う。

他の例として昭和46年（1971）モスクワを訪れた時のことである。モスクワにはプラハから入国（6/2）Central Research Instituteの見学のため厚生省の許可を取るため訪れたところ、この役人は私にどこから来たか？の質問から始まった。この頃の広いソ連には中国人は稀で、居住していた東洋人は朝鮮族それに満族と蒙古族であったから、この様な質問をしたものと考えられる。見学には何も制限はなかった。現在のロシアには極東部に沢山の中国人が住む様になり、特にクラスノヤルスクは北極海まで至る大きな州で中国黒龍省と密な関係を持っている。

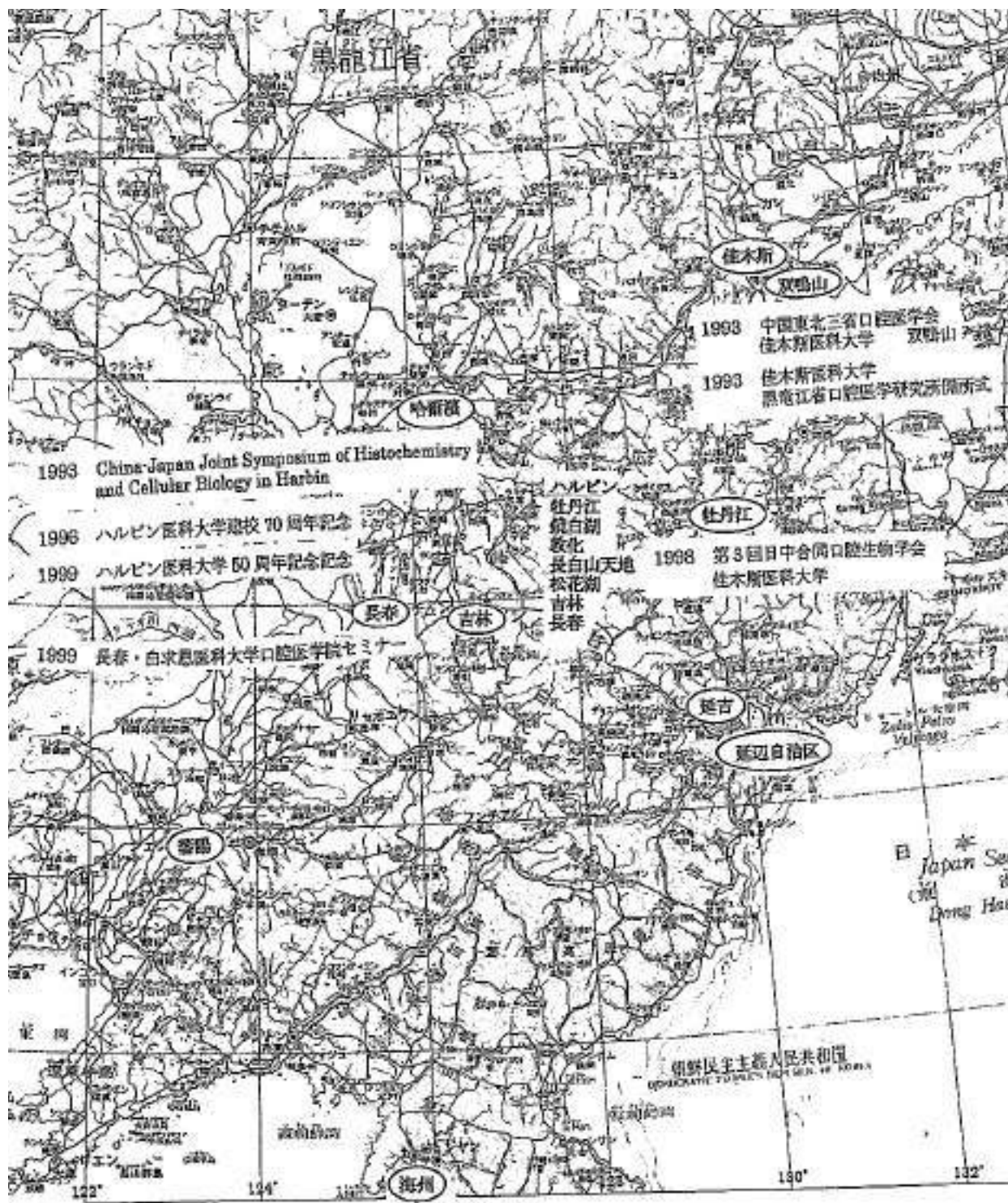
6. 北朝鮮との相互連絡・郵便等

私の30年近い経験から郵便、手紙は問題なく交流できる。日朝間の公的、直接ルートはないが北京経由と思われ、書類等一定の料金を加えるとほぼ2週間で到来する。北朝鮮からの手紙は封を破り検閲されたことはない。他に日本から送った郵便物は文献、私信を通じてどうなっているか不明である。速達便はあまり意味がなく一般に2週間みればよい。私は不定期的に文献（主として雑誌は送っていない）を何回となく送っていたが、全部到着したか否か不明である。九大の青野先生も郵便を用いて論文を送られている。外貨不足と思われ、我が国の様に多くの雑誌が大学の図書館にそろっていない為、図書を送ることは大変有意義と思われる。

7. 結論

北朝鮮は金日成が平成6年（1944）死去、次に金正日（キムジョンイル）が平成9年（1997）総書記になり、平成23年（2011）死亡した。第3代目として金正恩が継いでいる。

呉時南先生は昭和35年、1960年、北朝鮮に帰国（金日成時代）。海州市の大学病院につとめ、平成16～17年頃（2004～2005）、金正日時代の最後の頃に亡くなったと推測される。それは、その頃から郵便物が絶えたためである。彼は45年間も北朝鮮の海州市で口腔医学に貢献し、日本の新しい文献を強く希望していた。私もそれに応えるためには中国の東北部で開かれた学会に出席を促したが、外貨不足等のため出国できず、彼の願いを叶えることが出来なかった。彼は人生の過半を海州ですごし、日本から朝鮮に渡った。祖国統一の願望を見ることなくこの世を去った、私は彼の熱望していた国家統一の理想が叶えられないことに対して萬感迫るものがある。（中国東北地区の地図により全体の理解が得られる様にした）。



中国東北部三省黒龍江省、吉林省、遼寧省の地図と会議の場所を示す

哈爾濱(ハルビン)市郊外に金王国の首都があった。1600年代東北アジアにヌルハチ首長が女眞族を統一して「後金」をたてた(1616年)。この時に満州文字ができた。モンゴル文字と似ている。この「後金」をルーツとして大清国ができ、

明時代にモンゴルを含む大帝国に成長していったのが清帝国で大都(北京)を首都とした。清国を元に満州国が生まれ、この国は5族協和、漢、満、朝鮮、蒙古それに日本(関東軍の影響)が加わっていた。反対勢力としての八路軍は、第一路軍(南

部)、第二路軍(東北)、第三軍(ハルピンを含む東北全体)があった。このなかで朝鮮族は南部、吉林省で最も強い勢力をもっていた。

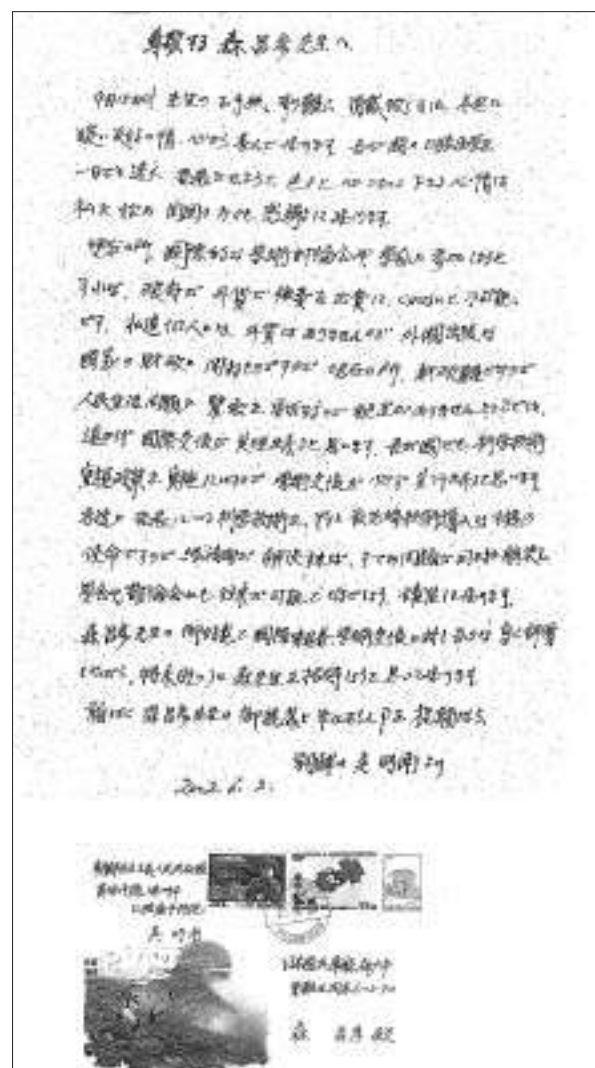
北朝鮮と中国は遼寧省、吉林省延辺自治区で接している。西側の国境には鴨緑江が流れ、ダムによる電気が保たれている。東は吉林省の延辺自治区と接し、中国における朝鮮族の自治区である。白頭山(長白山)は2744米の高さで朝鮮族の聖地として知られている。白頭山頂には天地と云う火口湖があり、この山の爆発により出来た。その時この土地にあった勃海団が消滅している。勃海

国は古く日本海沿岸と交易していた。その土地には東京城と云う都があった。

昔はこの白頭山に登るためには中国側からの路が用いられていた。2018.9.20の朝日新聞によると北朝鮮側から白頭山の南側の北朝鮮領に三池淵空港があり、ケーブルカーで天地に行くことが出来る。北朝鮮は「革命の聖地」と位置づけされている。この山に金正恩委員長と韓国大統領文在寅氏が共に登ったと報じている。両者の会談は朝鮮族の信仰の山、白頭山に言及することにより民族心を高めたと云える。



(L-3)



(L-4)

会員投稿

黒川 森夫先生には大阪府同窓会報誌（Vol.57・59）に掲載させて頂きましたが、再構成して掲載いたします。



黒川 森夫(大12回)

略歴

昭和39年 大阪歯科大学卒業・大阪歯科大学歯科矯正学教室入局
昭和44年 大阪市北区にて管理医をおいて開業
昭和47年 大阪歯科大学より歯学博士号受領
昭和51年 大阪市北区大阪駅前第2ビルに診療所を移転し現在に至る

木版画50年に思う

はじめに

私は生来何事にも凝る方で、木版画を始めてかれこれ50年にはなる。

大学では美術部で油絵をやっていたが、家から苦情が出て止むなく木版画に転向。勝手気ままに自我流で彫っていた。やがて頼まれるまま大阪府歯科医師会雑誌の裏表紙を担当、1980年から30年間大阪歯科大学大阪府同窓会会報の表紙を大阪の風景をテーマに彫り続けた。

木版画の魅力とそれを通じて体験したこと的一端を綴ってみた。

ある古木との出会い

同窓会会報の表紙担当以後しばらくあって70歳を過ぎてなお木版画への思いは捨て切れず、むしろこれまで以上にふつふつと燃えたぎるものを抱きつつ過ごしていた。

2012年2月初旬版木のストックが切れたため購入の目的でスケッチ旅行を兼ねて旧友の住む仙台へ飛んだ。まず空港に着いて仰天、東日本大震災の爪痕が色濃く、とくに空港の南側一帯は無残な状態で寒風にさらされていた。更にその日は記録的大雪でスケッチ活動もままならず、仕方なく山形のそばを食べに行くことになりその道すが

ら、日本最大級と言われる「東根の大ケヤキ」に偶然出喰わした。幹の大半が雪に埋もれながら悠然と立つ古木の姿に今だかつてない強烈な感動を覚えたのである。

大ケヤキへの思いは日に日に募るばかり、そしてその年の7月再び東根を訪れた。そこには幾重にも深緑の葉々を繁らせて立つ威風堂々の雄姿があり、その桁外れのスケールと圧倒的な存在感に言葉を失ってしまったのである。

この夏の大ケヤキを木版画に表現せんがために通常サイズの版木を4枚を接合、継ぎ目にかんなをかけ、かくして無謀とも思える20号の大作に挑戦、悪戦苦闘の末刷り上げ2013年の同窓美術展に「大樹」というタイトルで出品した。

古木との偶然の出会いに始まり、気持の高まりから大作に向っての苛酷な挑戦であったが、そのあとにこれまでに味わい得なかった爽やかな充実感が残った。



おぼろ月

早春の気配を知る花として3月中旬に僅か1週間だけ咲くもくれん（白木蓮^{もくれん}）がある。

2014年には例年5月に開かれる同窓美術展に出品すべくもくれんをテーマに制作にとりかかった。通勤の道すがら、街燈に照らされた人家の庭に咲くもくれんに魅せられスケッチをし、下図を描き始めたのがその年の秋。暮れから正月にかけて余暇を利用して彫りにかかった。

その年もまたもくれんが蕾をもたげ始めた2月11日、それまで1夜も病床に伏したことのなかった妻が、何の前触れもなく突然旅立って行った。それは、結婚47年余ごく平凡な生活の中で、そろそろ金婚式と思いを馳せる矢先のことであった。

妻はヴァイオリン、私は木版画、ゴルフでお互いに異なった趣味を持ち、将来のことなど話し合ったこともなく淡々と夫婦生活を送ってきたような気がする。妻は47年間の前半は子育て、教育に専念してくれ、子供たちが一人立ちした後半は堰切ったようにヴァイオリンに没頭していった。そしてお互いの趣味に干渉することなく、それぞれ自由奔放に時を過ごしてきたのであった。

同窓美術展作品作りの過程で、翌朝決まって彫り屑がきれいに清掃されていたことからすると、妻は確かに作品を見ていたに違いなかった。それで私は作品の中にどうしても妻を入れたい衝動に駆られ、急遽画面左上に月を挿入し、かくして作

品搬入間近かにようやく刷り終え、タイトルを「おぼろ月」とした。

本刷りの際、20号の大作の故か、また感情の高ぶりのためか1枚しか作品にはできなかったが、搬出後それを診療所に飾った。そして、それほど長くないこれからの人生を妻に感謝しながら、また妻と共に一日一日大切に過ごそうと改めて決心した。

まとめ

1980年、当時の同窓会会長の指示で大阪府同窓会会報8号から2009年第53に至るまで30年間表紙絵を担当、大阪の風景を木版画で表現してきた。

少し休憩後、自由にテーマが選べ、木版画に本腰で挑戦できる大作制作に取りかかった。2013年「大樹」（東根市）、2014年「桜花爛漫」（大阪城の桜）、2015年「おぼろ月」（神戸市）、2016年「水郷」（近江八幡市）、2017年「蔵」（近江八幡市の酒蔵）、2018年「憩」（岸和田漁港）と年に一作ずつ制作し、大阪歯科大学同窓展に出展してきたのである。

気がつけば、傘寿も過ぎ、今年で開業50周年を迎える時期になってしまったが、今も健康に恵まれて木版画を掘り続けながら、診療に専念できていることにささやかな喜びを感じる今日この頃である。



大阪歯科大学 学内ニュース

歯学部 2020 年度入学試験一覧

試験区分		出願期間	試験日	試験地	合格通知日	募集人員 ※1	
推薦	公募制	2019年11月1日(金) ～ 2019年11月21日(木) 正午	2019年 11月24日(日)	大阪	2019年 11月27日(水)	約30名 (指定校制含む)	合計 128名
私費外国人留学生 ※2		2019年10月1日(火) ～ 2019年10月17日(木) 正午	2019年 11月24日(日)	大阪	2019年 11月27日(水)	若干名	
一般	前期	2019年12月11日(水) ～ 2020年1月23日(木) 正午	2020年 1月26日(日)	大阪 東京 名古屋 広島 福岡	2020年 2月5日(水)	約73名	
	後期	2020年2月12日(水) ～ 2020年2月27日(木) 正午	2020年 3月1日(日)	大阪 東京 福岡	2020年 3月5日(木)	約10名	
センター 試験利用 ・ プラス1	前期	2019年12月11日(水) ～ 2020年1月23日(木) 正午	2020年 1月26日(日)	大阪	2020年 2月5日(水)	約15名	
	後期	2020年2月12日(水) ～ 2020年2月27日(木) 正午	2020年 3月1日(日)	大阪	2020年 3月5日(木)		

※1 募集人数はあくまで目安であり、受験者数または採点結果等により増減することがあります。

※2 私費外国人留学生入学試験の詳細については、別冊入試要項をご参照ください。

試験区分		出願期間	試験日	試験地	合格通知日	募集人員
編入	前期	2019年11月1日(金) ～ 2019年11月21日(木) 正午	2019年 11月24日(日)	大阪	2019年 11月27日(水)	若干名
	後期	2020年1月8日(水) ～ 2020年1月23日(木) 正午	2020年 2月2日(日)	大阪	2020年 2月5日(水)	

医療保健学部 2020 年度入学試験一覧

試験区分		出願期間	試験日	試験地	合格通知日	募集人員 ※1	
						口腔保健学科	口腔工学科
推薦	A日程	2019年10月1日(火) ～ 2019年10月16日(水) 正午	2019年 10月20日(日)	大阪	2019年 10月25日(金)	35名 (指定校制含む)	15名 (指定校制含む)
	B日程	2019年11月1日(金) ～ 2019年12月12日(木) 正午	2019年 12月15日(日)	大阪	2019年 12月20日(金)		
一般	前期	2019年12月11日(水) ～ 2020年1月23日(木) 正午	2020年 1月26日(日)	大阪 東京 広島	2020年 2月6日(木)	20名	10名
	後期	2020年2月12日(水) ～ 2020年2月27日(木) 正午	2020年 3月1日(日)	大阪	2020年 3月6日(金)	10名	3名
センター 試験利用 特別	前期	2019年12月11日(水) ～ 2020年1月23日(木) 正午	2020年 1月26日(日)	大阪	2020年 2月6日(木)	3名	1名
	後期	2020年2月12日(水) ～ 2020年2月27日(木) 正午	2020年 3月1日(日)	大阪	2020年 3月6日(金)	2名	1名
	社会人	2020年2月12日(水) ～ 2020年2月27日(木) 正午	2020年 3月1日(日)	大阪	2020年 3月6日(金)	若干名	若干名
	帰国生	2020年2月12日(水) ～ 2020年2月27日(木) 正午	2020年 3月1日(日)	大阪	2020年 3月6日(金)	若干名	若干名
	私費 外国人 留学生 ※2	2019年11月1日(金) ～ 2019年11月21日(木) 正午	2019年 12月15日(日)	大阪	2019年 12月20日(金)	若干名	若干名

※1 募集人員はあくまで目安であり、受験者数または採点結果等により増減することがあります。

※2 特別入学試験(私費外国人留学生)の詳細については、別冊入試要項をご参照ください。

2020年度 大学案内・入学試験要項の資料請求(無料)は、ホームページ(インターネット)からお申し込みができます。

<https://request.admission-logi.jp/form/doc/103701/1/7892/>

〈お問い合わせ先〉

歯学部

TEL: 072-864-5511

FAX: 072-864-3008

医療保健学部

TEL: 072-856-9951

FAX: 072-856-9952

学位取得者紹介

(1)主論文名 (2)受領日

(3)授与大学 (4)略 歴

新 谷 継 郎 (大40)

- (1) Effect of serine protease trypsin on the interaction of RANKL and RANK
(セリンプロテアーゼであるトリプシンが RANKL/RANK 相互作用に及ぼす影響)
- (2) 平成31年 3月27日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成 4年 3月 大阪歯科大学卒業
平成25年10月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(生化学専攻) 専攻生として研究に従事
平成31年 3月 同上退学

折 原 博 一 (大48)

- (1) Palatal mucosal wound healing in type 2 diabetes model rats after administration of an antibacterial drug
(抗菌剤を投与した2型糖尿病モデルラット口蓋粘膜の創傷治癒)
- (2) 平成31年 3月27日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成12年 3月 大阪歯科大学卒業
平成24年10月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(解剖学専攻) 専攻生として研究に従事
平成31年 1月 同上退学

西 嶋 一 路 (大48)

- (1) Morphological influence of osteoporosis and bisphosphonates on mandibular glands of rats
(ラット下顎腺における骨粗鬆症及びビスホスホネート製剤の形態学的影響)
- (2) 平成31年 3月27日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成12年 3月 大阪歯科大学卒業
平成24年 4月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(解剖学専攻) 専攻生として研究に従事
平成31年 1月 同上退学

安 井 由 香 (大60)

- (1) Relationship between preference and gaze in modified food using eye tracker
(アイトラッカーを用いた食形態の嗜好と視線の関連)
- (2) 平成31年 3月 8日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成24年 3月 大阪歯科大学卒業
平成27年 4月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(有歯補綴咬合学専攻) 入学
平成31年 3月 同上修了

大 本 博 樹 (大61)

- (1) A study about stress undergoing dental treatment in patients with gagging reflex
(異常絞扼反射患者の歯科治療時におけるストレスに関する検討)
- (2) 平成31年 3月 8日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成25年 3月 大阪歯科大学卒業
平成27年 4月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(障害者歯科学専攻) 入学
平成31年 3月 同上修了

成 瀬 か お り (大61)

- (1) Expression of E-, P-, and N-cadherin and α -, β -, and γ -catenin with respect to invasion in ameloblastoma
(エナメル上皮腫における E-, P-, N-cadherin, α -, β -, γ -catenin の発現の検討)
- (2) 平成31年 3月 8日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成25年 3月 大阪歯科大学卒業
平成27年 4月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(口腔外科学専攻) 入学
平成31年 3月 同上修了

上村 優介 (大62)

- (1) Relationship between tongue elevating exercises and tongue pressure
(舌の挙上訓練と舌圧の関連について)
- (2) 平成31年 3月 8日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成26年 3月 大阪歯科大学卒業
平成27年 4月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(高齢者歯科学専攻)入学
平成31年 3月 同上修了

杉本 貞臣 (大62)

- (1) Selective growth inhibition of *Porphyromonas gingivalis* and *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* by antisense peptide nucleic acids
(ペプチド核酸による *Porphyromonas gingivalis* ならびに *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* に対する特異的増殖抑制法の検討)
- (2) 平成31年 3月 8日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成26年 3月 大阪歯科大学卒業
平成27年 4月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(歯内治療学専攻)入学
平成31年 3月 同上修了

寺西 祐輝 (大62)

- (1) Cost-Utility Analysis of Molar Single-Implant Versus Fixed Dental Prosthesis
(臼歯部中間1歯欠損補綴治療の費用効用分析)
- (2) 平成31年 3月 8日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成26年 3月 大阪歯科大学卒業
平成27年 4月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(口腔インプラント学専攻)入学
平成31年 3月 同上修了

松尾 信至 (大62)

- (1) Effect of meal posture adjustment management on tongue movements during mastication
(摂食介助時における姿勢調整が咀嚼時舌運動に及ぼす影響)
- (2) 平成31年 3月 8日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成26年 3月 大阪歯科大学卒業
平成27年 4月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(有歯補綴咬合学専攻)入学
平成31年 3月 同上修了

森田 達 (大62)

- (1) Development of a device to evaluate the bolus transport force of pharyngeal swallowing
(咽頭期嚥下における食塊移送力の測定装置の開発)
- (2) 平成31年 3月 8日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成26年 3月 大阪歯科大学卒業
平成27年 4月 大阪歯科大学大学院歯学研究科(高齢者歯科学専攻)入学
平成31年 3月 同上修了

大阪歯科大学 公開講座

天満橋講座

第27回
2019年度

抗加齢 アンチエイジング 医学歯学 —長生きする為のひけつ—

1

2019年8月24日(土)
10:00—12:00

同志社大学 生命医科学部・
アンチエイジング リサーチセンター
教授 米井嘉一

歯科・口腔領域の
アンチエイジング
歯から全身へ、全身から歯へ

2

2019年8月31日(土)
10:00—12:00

大阪歯科大学 歯学部 内科学講座
教授 志水秀郎

超高齢化時代の
アンチエイジング・
サイエンス

会場：大阪歯科大学創立 100 周年記念館 大講義室

申し込み締切日 2019年8月22日(木)

対象：社会人・学生 定員：250名 受講料：無料

申し込み：電話、はがき、FAX、e-mail にて申込受付。

お申し込みの際には、受講票をお送りいたします関係上、
住所、氏名、年齢、性別、電話番号をお申し出ください。

〒573-1121 枚方市楠葉花園町8-1

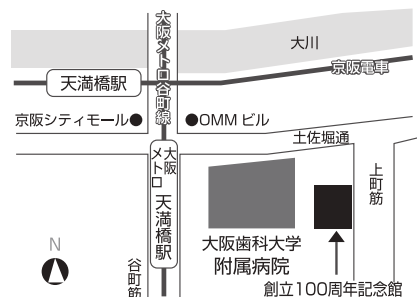
大阪歯科大学公開講座 係

TEL: (072) 864-3001 FAX: (072) 864-3000

e-mail: kouza@cc.osaka-dent.ac.jp

受付：月曜～金曜、9時～17時

その他 全講座受講の方に、修了証書を贈呈
自家用車での来場はご遠慮ください。



* 最寄りの駅は、京阪電車・大阪メトロ谷町線 天満橋駅

主催：大阪歯科大学 後援：大阪府・大阪市・大阪府歯科医師会

支部だより、クラス会だより等の原稿依頼について

支部だより、クラス会だよりをはじめ、同窓会報に掲載希望の記事は随時同窓会事務局へ「同窓会報原稿」と赤字で明記してご投稿下さい。
(クラス会だよりは一箇所ですべて掲載順を付記して事務局へお送り下さい)

(年2回発行)	夏 号	冬 号
発行予定	8月	1月
原稿締め切り	6月15日	11月15日
原稿枚数	特に文字数に制限はありませんが、なるべく簡潔にまとめてください。 写真は1記事1枚をお願いします。 掲載時には、修正・加筆をさせていただくこともありますのでご了承ください。	
投稿先 (メール送信可)	〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-17 大阪歯科大学同窓会 宛 TEL : 06-6910-1061、06-6941-3186 FAX : 06-6943-1389 E-mail : dousou@cc.osaka-dent.ac.jp	

※原稿や写真はできるだけデータでお送り下さい。(メール添付可)

編集部からのお願い

締め切り日間近になりますと、原稿依頼が集中するため、余裕を持って事務局へお届けください。

次号冬号の原稿締め切りは、11月15日です。

訃報のお知らせ 故 三谷 卓先生（大8）



略 歴 <本部同窓会関係>

昭和 59 年 4 月	大阪歯科大学同窓会理事
昭和 63 年 4 月	大阪歯科大学同窓会常務理事
平成 12 年 4 月	大阪歯科大学同窓会副会長
平成 17 年 10 月	大阪歯科大学同窓会会長代理
平成 18 年 4 月	大阪歯科大学同窓会会長
平成 26 年 4 月	大阪歯科大学同窓会名誉会長

本会名誉会長の三谷 卓先生が令和元年8月13日にご逝去されました。（享年84歳）

三谷先生は、大阪歯科大学同窓会第15代会長として同窓会の発展にご尽力を頂いておりました。

ここに生前のご厚誼に深く感謝するとともに、謹んで哀悼の意を表します。

告別式は、8月16日（金）11時から大阪府堺市の「堺中央メモリアルホール」において執り行なわれました。

本来であれば、追悼に関し紙面を裂かなければなりませんが、

突然のことであり次号におきまして改めて追悼記事を掲載させていただきます。

まずは、ご報告とさせていただきます。

＜生駒 等会長の「弔辞」＞

三分、卓先生、謹んじて逝去を悼み、生前の温かいご指導に對し、改めて御礼を申し上げます。

このようなお別れの日が、来ることは考えずらしませんでしたが。もう先生とお会いすることが出来ないと思うと、悲しくて仕方がありません。せめて先生の魂が、またここにあるものと信じて、大阪齒科大学同窓会を代表してお別れの言葉を捧げます。

吊辭

先生は多にわたり、母校大阪齒科大学、大阪歯科同窓会、大阪府齒科医師会、堺市齒科医師会において要職を担われ、豊かな識見と卓越した指導力により地域医療・組織の発展に尽力されてこられました。

最近では、同窓会の会務よりも大学の理事会などで、お顔を合やす機会が多くなり、先週もお電話でお話しして、「では！」といつてお別れしたばかりなのに、まさかその5日後にお亡くなりになられるとは、未だに信じられません。その上、このような形で、弔辞を読むことになろうとは思ひもよらず、いまだに信じられないと思います。

先生との出会いは、もう五十年前になります。先生が母校の齒科補綴学教室におられた時に、学生の模型実習のインストラクターとして厳しく指導をうけたことです。先生のスリッパがもらえず、もらえるまで通い続けた未熟な血氣盛んな時代が懐かしく思い出されます。

長い間のお付き合いの中で、本当に色々なことがありました。同窓会の会務においては、全国同窓会、大阪府同窓会、専務理事時代には、厳しいご指導をしていただきました。避けようにも、避けられない道を、三岔心にもともし、弱音を吐くように歩み、精進を重ねてきた、こと心に刻まれています。全国各支部を8年間にわたって訪れました。共に移動した距離は地球何周分になるでしょうか。名刺、名物料理、美術館巡視を通過して各地の文化、気概を知りえることができました。本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。

この度の突然の訃報、今後は先生からお教えたのだいた「齒科医師として、世の中の人の爲に役立つという精神」を忘れることなく、後輩たちに伝えてまいりたいと思います。

三谷先生、今まで本当にありがとうございました。
これまでのお導きに心より感謝し、安らかに永遠の眠りにつ
かれる事をお祈りいたします。

令和元年八月一六日

大阪歯科大学同窓会
会長 生駒 等

編集後記

「昭和25年9月10日は「大阪歯科大学々報」として、大阪歯科大学同窓会報の第1号が刊行された記念すべき日である。」

昭和55年10月31日刊行の第100号の編集後記は、この一文から始まります。続いて、「いま年4回の発刊として200号の節は25年先である」とありましたが、程なく年2回発刊に改められた為、さらに14年後の令和初の本号がまさにその第200号と相成りました。

大正にお生まれの先達が築かれた礎を受け継ぎ、昭和に生まれた私たちは、平成を経て、そして本年5月1日に令和の御代を迎えました。

第100号に倣えば、「300号の節は50年先である」となりましょう。

平成生まれの若い世代に、これからの未来を託します。

さて本号ですが、生駒会長と川添理事長・学長から200号に相応しい原稿を頂き、また会員投稿には、名誉学長の古跡養之眞先生（大8）と森 昌彦先生（専30）から非常に興味深いご寄稿が、また黒川森夫先生（大12）からも心情溢れるご寄稿（再構成分）をいただきました。そのほか支部だより、クラス会だよりのご報告も多数お寄せ頂きましたこと厚く御礼申し上げます。いよいよ来年が大阪歯科大学同窓会設立100周年、これからもますます同窓会活動に深い関心をお寄せいただき、この会報を楽しんでいただけますように。

なお、100号には次のような記述もあります。

同窓会報の一粒の種は大正15年11月に「校友会誌創刊号」として蒔かれている。

又学生会誌は生野時代の「生野」から牧野への移転を期して「聚楽」と改称され戦時中の昭和18年まで刊行されている。

もしかしたら、ご自宅の本棚に、或いは診療所の書架に、貴重な歴史が並んでいませんか？

次は201号、さあ！新たな歴史を刻んでまいりましょう。

池尾裕子（大30）

編集部より

本号発行直前に、名誉会長の三谷 卓先生（大8）がご逝去されました。

突然の訃報に驚きと悲しみを禁じ得ません。

哀悼の意を表しますとともに、安らかにご永眠されますよう心よりお祈り申し上げます。

なお、次号におきまして改めて追悼記事を掲載させていただきます。



編集委員長 山口邦夫（大16）

委員 大野 榮（大16）、砂田直子（大18）、
坂田秀敏（大21）、土居正英（大24）、
池尾裕子（大30）、野井実親（大30）、
山本範子（大30）、岩佐勝也（大32）、
吉田誠孝（大40）、松井啓祐（大42）

大会登録費事前登録のお願い

必要事項をご記入の上、事務局までFAXをお願い致します。

※大会登録費（参加費）のお支払いは「事前振込」をお願い致します。
金額はお1人様10,000円です。（ただし、小学生以下のお子様は無料）

振込口座

りそな銀行 船場支店 普通0569059
大阪歯科大学同窓会

●振込手数料は、各自でご負担をお願い致します。

支部、クラス、OB会などで一括振込の場合は、
別途、事務局までご一報下さい。

支部名	支部
お名前 (ご代表者)	(専・大 回)
お名前 ①	(専・大 回) (家族・スタッフ)
お名前 ②	(専・大 回) (家族・スタッフ)

※記入欄が不足する場合は本紙をコピーしてご使用下さい。

《 送 信 先 》

FAX : 06-6943-1389

お問い合わせ

大阪歯科大学同窓会 事務局

〒540-0008 大阪市中央区大手町1丁目5番17号

<http://www.osakadent-dousou.jp/>

TEL : 06-6910-1061 FAX : 06-6943-1389

E-Mail : dousou@cc.osaka-dent.ac.jp



会員名簿の訂正について

会員名簿の内容に変更があった場合は、お手数ですが、速やかに下記FAX用紙・次ページ綴じ込みハガキ・同窓会ホームページの住所変更フォームのいずれかの方法により変更手続きを行って下さい。

※ホームページからの変更方法について（解説）

- 1. 同窓会ホームページ(<http://osakadent-dousou.jp/>)を開く
- 2. 「同窓会会員専用ページ」をクリック
- 3. 「住所変更・お問い合わせ」をクリック
- 4. ユーザ名に「dosokai」、パスワードに「hp200908」を入力
- 5. 「住所変更フォーム」をクリック
- 6. 必要事項を入力し、「入力内容を確認する」をクリック
- 7. 間違いがなければ、「この内容で送信する」をクリック

※提供された個人情報と同窓会事業以外には使用致しません。
また名簿の取り扱い厳正にし、部外者には提供致しません。

会員名簿訂正用FAX

大阪歯科大学同窓会

専門、大学（ 回）		
支 部 （ ）		
氏名（旧姓） [ふりがな]		
自 宅	住 所	（〒 — ）
	TEL	— —
診療所 勤務先 (いずれかに○)	住 所	（〒 — ）
	TEL	— —
備考欄		

協賛広告企業名一覧

(五十音順)

アサヒプリテック株式会社

医療共済会

株式会社ジーシー

株式会社松風

株式会社モリタ

株式会社ヨシダ

歯科医師国民年金基金

大和ハウス工業株式会社

タカラベルモント株式会社

リーガロイヤルホテル

和田精密歯研株式会社

会報発行に際し、広告掲載にご協力くださいました各企業様に
深く感謝申し上げます。

関係各位のご厚情に改めて御礼申し上げます。

ご存知ですか？

アサヒプリテック(株)だからできること

AMS(アサヒメタルアカウントシステム)という

金・白金・パラジウム・銀を、それぞれ今より高く売却する方法があること

アサヒプリテック(株)の分析能力が、世界的に評価されているということ



小さな資源を、あらたな資産へ



ASAHI PRETEC

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー

TEL (03) 6270-1831 FAX (03) 6270-1825 URL : <http://www.asahipretec.com>

■営業所 / 札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・大阪・神戸・岡山・広島・四国・福岡・鹿児島・沖縄

弔慰金
制度

医師
賠償責任
補償制度

休業
補償制度

70歳までの
収入あんしん
補償制度

ファミリー
お見舞金
制度

個人
賠償責任
補償制度

学術
講演会

傷害
補償制度

しっかりとした
安心を。



医療共済会

〒454-0011

名古屋市中川区山王1丁目7番24号 山王ビル

フリー
ダイヤル

0120-351153

ホームページで
簡単!資料請求!!

<http://www.ikyousai.jp>

医療共済会 |

検索

口腔機能検査・口腔機能管理・ 有床義歯咀嚼機能検査に関する主な製品



咬合力分析システム 咬合力を可視化!客観的に把握可能!

咬合力測定システム用フィルム
デンタルプレスケールⅡ
咬合力分析ソフト
バイトフォース アナライザ

歯科用咬合力計 デンタルプレスケールⅡ
一般医療機器 特定保守管理医療機器 13B1X00155000295

動画による
製品説明はこちら



咀嚼能力検査システム 数値で診る!咀嚼能力を簡単測定!

咀嚼能力検査装置
グルコセンサー GS-II

GS-II センサーチップ
グルコラム (グルコース含有グミ)
ろ過セット

グルコース分析装置 ジーシー グルコセンサー GS-II
一般医療機器 特定保守管理医療機器 13B1X00155000268

動画による
製品説明はこちら



有床義歯咀嚼機能検査システム 咀嚼のパターン・安定性を診る!

歯科用下顎運動測定器
モーションビジトレナー V-1
有床義歯咀嚼機能検査システム

歯科用下顎運動測定器 モーションビジトレナー V-1
管理医療機器 特定保守管理医療機器 222AFBZX00130000
製造販売元 株式会社フジタ医科器械 東京都文京区本郷3丁目6番1号

製品説明はこちら



舌圧測定器 舌の運動機能を最大舌圧として測定!

舌圧測定器
JMS舌圧測定器

舌圧測定器 JMS舌圧測定器
管理医療機器 22200BZX00758000
製造販売元 株式会社ジェイ・エム・エス 広島市中区加古町12番17号

動画による
製品説明はこちら



発売元 **株式会社 ジーシー** / 製造販売元 **株式会社 ジーシー**
東京都文京区本郷3丁目2番14号 東京都板橋区蓮沼町76番1号

DIC (デンタルインフォメーションセンター) お客様窓口 ☎ 0120-416480 受付時間 9:00a.m.~5:00p.m. (土曜日、日曜日、祝日を除く) www.gcdental.co.jp/
東京都文京区本郷3丁目2番14号 〒113-0033 ※アフターサービスについては、最寄りの営業所へお願いします。
支店 ●東京 (03)3813-5751 ●大阪 (06)4790-7333 営業所 ●北海道 (011)729-2130 ●東北 (022)207-3370 ●名古屋 (052)757-5722 ●九州 (092)441-1286

※掲載は2019年3月現在のものです。※色調は印刷のため、現品と若干異なることがあります。



保険適用

CAD/CAM冠用材料(Ⅱ) 大臼歯 CAD/CAM冠対応

松風ブロック HC スーパーハード

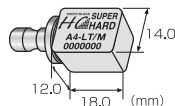
SHOFU BLOCK
HC SUPER HARD

曲げ強さ
301MPa
※37℃水中浸漬1日後(代表値)



松風ブロック HC スーパーハード

〈サイズ〉1種類 Mサイズ
〈色調〉4色 A2-LT、A3-LT、A3.5-LT、A4-LT
5個入…¥24,200



販売名	一般的名称	承認・登録・届出番号
松風ブロック HC スーパーハード	歯科切削加工用レジン材料	管理医療機器 医療機器認証番号 231AKBZX00002000

進化したDUO-Tech テクノロジー 新開発Ω(オメガ)フィラーで高強度化を実現

松風ブロックHC スーパーハードは新開発フィラー(Ω-PFSフィラー)と実績あるモノマーテクノロジー(PUDAモノマー)の2つの技術を融合した「DUO-Techテクノロジー」によって生まれました。

フィラーテクノロジー

Ω(オメガ)-PFSフィラー

Ω-PFSフィラーは機械的結合力と化学的結合力の両面からフィラーとレジンマトリックスの結合力を向上させた新開発フィラーです。

i-PFSフィラー

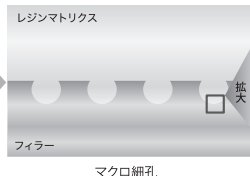


機械的結合

Ω-PFSフィラーは、従来のi-PFSフィラーより細孔サイズを小さく設計し、フィラーとレジンマトリックスの界面を減少させることで、以下の物性を発現します。
フィラー高充填化 → ブロックの高弾性化、高強度化
吸水量の減少 → 吸水による諸物性の低下を抑制

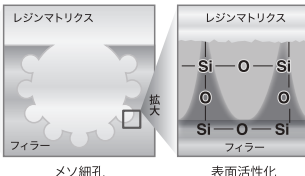
Ω-PFSフィラー

機械的結合



マクロ細孔

化学的結合



表面活性化

モノマーテクノロジー

PUDA

PUDA®モノマーは、「剛性」×「靱性」の両立をコンセプトに開発されたモノマーです。これにより高強度・高靱性を付与する事に成功しました。
※(Phenylene-included Urethan Di-Acrylate: フェニル基含有型ウレタンアクリレート)



	松風ブロック HC スーパーハード	保険適用基準: CAD/CAM冠用材料(Ⅱ)
無機成分量(wt%)	76	70以上
曲げ強さ(MPa) ※37℃水中浸漬1日後	301	—
曲げ強さ(MPa) ※37℃水中浸漬7日後	288	240以上
ビッカース硬さ(HV0.2)	138	75以上
吸水量(μg/mm³)	11.6	20以下

製品の詳細はこちらまで…

松風 検索 <http://www.shofu.co.jp/>



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社:〒605-0983京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/京都(075)757-6968/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

<http://www.shofu.co.jp>

価格は2019年7月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。

Thinking ahead. Focused on life.

Signo T300

シグノシリーズに
新たな歴史がいま刻まれる

SignoT300は、STUDIO F・A・PORSCHEの
デザイン哲学と、モリタのもの造りへのこだわり
を網羅したテクノロジーと匠の調和。

同時に高い機能性とメンテナンスの容易性を
実現し、ピュアホワイトのボディカラーは診療
環境にやさしいハーモニーを生み出します。

Debut

Design by **STUDIO F・A・PORSCHE**



販売 株式会社モリタ 大阪本社：大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06.6380 2525
東京本社：東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03.3834 6161
お問合せ：お客様相談センター T 0800.222 8020(フリーコール)
製造販売 株式会社モリタ東京製作所 本社工場：埼玉県北足立郡伊奈町小室7129番地 〒362-0806

販売名: シグノT 標準価格: 3,480,000円～(消費税別途) 2019年6月21日現在 一般の名称: 歯科用ユニット
機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器認証番号: 229AKBZX00081000 法定耐用年数(償却年数): 7年

www.dental-plaza.com

詳しくはWebサイトを
ご覧ください

シグノ T300



製品情報



ムービー

YOSHIDA

JIDA
DESIGN
MUSEUM



エクシードCsが
JIDAデザインミュージアムセレクションに
選定されました。

さあ、思い描いていた空間へ。

エクシードCsは

無駄を削ぎ落としたシンプルなデザイン。

様々なインテリアに馴染み、

使い勝手にも優れています。

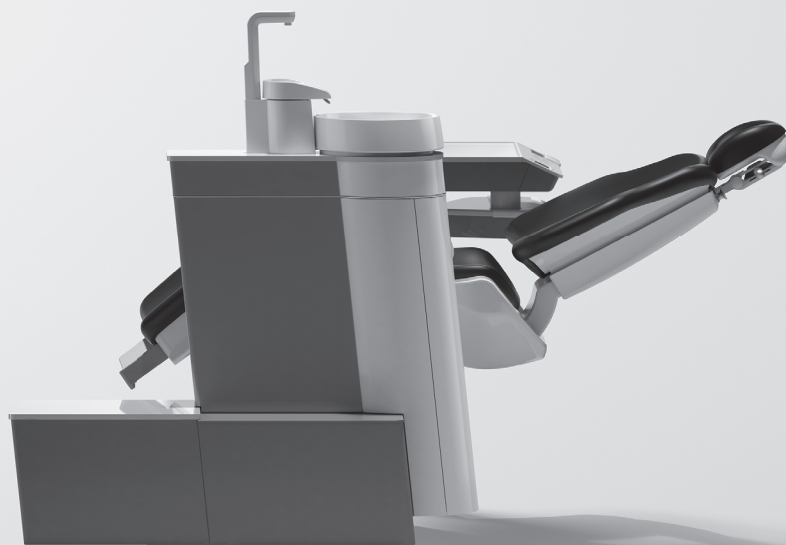
自分らしさを表現し、

こだわりの空間を完成させる重要なピース、

それがエクシードCsです。

思い描いていた空間で、

患者さん一人ひとりと心が通じ合うケアを。



EXCEED Cs

/ エクシード シェーズ /

特設サイトはこちら

エクシード Cs



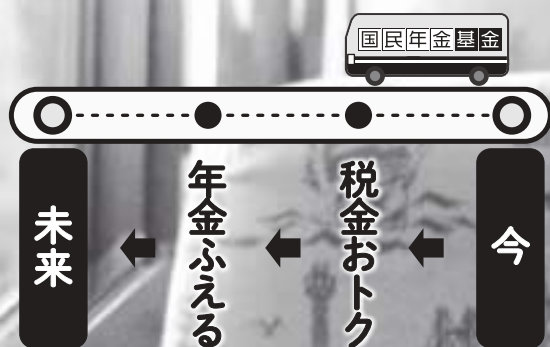
- 販売名:エクシード Cs ●一般的名称:歯科用ユニット
- 認証番号:228AKBZX00083000(管理 特管 設置)
- 製造販売元: 吉田製作所(株) 東京都墨田区江東橋1-3-6

発売元:  株式会社 **ヨシダ** 東京都台東区上野7-6-9 TEL.0120-178-148(コンタクトセンター) <http://www.yoshida-dental.co.jp>

JIDA概要 公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会/JIDAは1952年、25人のメンバーにより創立されたインダストリデザイナー唯一の全国組織。1969年には他のデザイナー団体に先がけて法人化に取り組み、「社団法人」として新発足した。それ以来、インダストリアルデザインの職能確立のために全国のフリーランス、インハウス(企業内)デザイナー、デザイン教育やデザイン振興関係者など、インダストリアルデザインに関わる会員が力を合わせさまざまな活動を行っている。これまで50年にわたり経済産業省(旧通商産業省)、公益法人 日本デザイン振興会、財団法人国際デザイン交流協会、D・8をはじめ各分野、各地域のデザイン関係団体とも協力し、日本のデザイン界と産業や社会、文化の発展のために積極的な努力を続けている。

歯科医師・従業員の
みなさんへ！

ゆとりのある
未来へ
行きましょう。



わたしも
入っています。
優香

歯科医師国民年金基金

国民年金にゆとりをプラス。自分で入る公的な個人年金。

60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で、国民年金に任意加入されている方も国民年金基金に加入できます。※非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。

- ◆掛金は全額社会保険料控除、確定申告で税金が軽減されます。
- ◆ライフプランに合わせ、年金額や受取期間を設計できます。
- ◆加入後も年金・掛金の額を口数単位で増減できます。

- ◆掛金を年度分前納すると、割引があります。
- ◆65歳から生涯受け取る終身年金（A型・B型）が基本ですので、長い老後の生活に備えることができます。
- ◆万が一早期に亡くなったとき、家族に遺族一時金が支給されますので、掛け捨てになりません。（B型を除く）

資料請求・ご相談・お問い合わせは
お気軽に今すぐこちらへ！

 **0120-155-950**

TEL 03-3262-9294 FAX 03-3262-9298

〒102-0076
東京都千代田区五番町12-11
泉館五番町ビル2F
<http://www.npfunddent.or.jp>



大阪歯科大学同窓会 会員の皆様へ 《販売価格(税込)より1%の提携割引がございました》



PREMIST

プレミストタワー大阪上本町
PREMIST TOWER OSAKA UEHOMMACHI

ダイワハウスの分譲マンション

上本町 MID FORT※1

上本町に佇むTOWER

外観完成予想図

免震タワーレジデンス「プレミストタワー大阪上本町」 モデルルーム案内会開催中

ターミナル駅 3分
近鉄難波線・奈良線、大阪線
「大阪上本町」駅徒歩

近鉄難波線・奈良線
「大阪上本町」駅より
「大阪難波」駅へ



直通3分

「大阪難波」駅周辺

Osaka Metro谷町線
「谷町九丁目」駅より
「東梅田」駅へ



直通10分

JR「大阪」駅周辺

Osaka Metro
谷町線・千日前線(7号出口)「谷町九丁目」駅
徒歩5分



お車でのご越しの場合は、マンションギャラリー隣接の
パーキングをご利用ください。

右記住所をご入力ください。【大阪市天王寺区小橋町9番24号】

※掲載の完成予想図は設計図書を基に描き起こしたもので実際とは多少異なる場合があります。植栽はある程度生育した後にイメージしたもので、竣工時には完成予想図程度には成長して
おらず、実際とは多少異なる場合があります。※徒歩分は80mを1分として算出(端数切り上げ)した概算時間です。※JR「大阪」駅の写真は2016年9月に撮影したもので、「大阪難波」駅周辺
写真は提供写真です。※1ターミナル駅の近鉄「大阪上本町」駅を中心に、利便施設が集積する立地である当マンションを「砦」と捉え、「MID FORT」というコンセプトワードで表現しています。
※本物件は、高さ60m超の超高層建築物(大臣認定)であるため、タワーと表現しております。※電車の所要時間は日中平常時のものであり時間帯により異なります。待ち時間は含まれません。

売主・販売代理
大和ハウス工業
Daiwa House
XRE/123456789

売主
株式会社 浅沼組

お問い合わせは
0120-520-109
営業時間/10:00~18:00(火・水曜日定休(祝日を除く))

ダイワ 上本町 検索

<http://dhms.jp/uehommachi/>

患者さんに加え、保護者の方を交えた
カウンセリングやコーチングが望まれています。

Multi-Counseling

TBI

心も動かす“4つ”のポジション

治療はもちろん、
対面や水平位の診断、検査
にも適したポジショニング
が可能です。

Face to face

Cure & Care

Rapport-i

〈ラポールi〉

これからの時代に
歯科医院で求められる“空間”を
そして生まれる新たな“シーン”を
この『ラポールi』が育んでいきます。

販売名	一般的名称	部品届出番号	クラス分類	特定保守	設置管理	製造販売元
ラポールi	歯科用ユニット	229AFBZX00021000	管理	該当	該当	タカラベルモント㈱
ラポールi チェア	歯科診査・治療用チェア	27B1X00042001040	一般	該当	該当	タカラベルモント㈱
ステラライトRタイプ	乳用歯科用照明器	27B1X00042002034	一般	非該当	非該当	タカラベルモント㈱

タカラベルモント株式会社 <http://www.takara-dental.jp>

【大阪本社】〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1 【東京本社】〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-19

札幌 (011)863-2007 盛岡 (019)652-9744 仙台 (022)232-4480 郡山 (024)925-0742
新潟 (025)268-0333 さいたま (048)640-5900 千葉 (043)302-0267 東京 (03)3405-6877
横浜 (045)681-6241 名古屋 (052)932-6251 金沢 (076)221-8412 京都 (075)241-3425
大阪 (06)6212-3602 神戸 (078)231-6751 岡山 (086)233-8825 広島 (082)278-2411
高松 (087)862-3480 福岡 (092)411-2746 鹿児島 (099)226-9481 沖縄 (098)897-6656

修理および
点検受付窓口

コールセンター
TEL(0120)194-222 [フリーダイヤル]
FAX(072)344-7985

Pride of OSAKA

－大阪が誇るホテルであり続けること－



特別な一瞬を。

歴史ある空間と伝統に培われた“おもてなし”を大切に。

これからもお客様の感動と満足を追いつけ、『本物』をご提供してまいります。

リーガロイヤルホテル

〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-68 TEL.(06)6448-1121
www.rihga.co.jp/osaka

 RIHGA ROYAL HOTEL

誤嚥予防

嚥下カトレーニングボトル

タン練くん[®]

MADE IN JAPAN

意匠登録済 意匠番号 第 1579721 号

特許申請済 特許証番号 第 6333487 号



「食べる」チカラを鍛える

お茶や飲料を「タン練くん」に入れて飲むことで、飲み込みに関する筋肉を鍛えるようにいたしました。

初回トレーニング用小容量タイプ30mlと舌圧が高まった方には、大容量タイプ200mlの2タイプがございます。

嚥下力低下による誤嚥

高齢化社会に伴い、高齢になるほど、誤嚥が原因による死亡率が年々高まってきております。

舌圧計による舌筋臨床検査



高齢者様は、
20Kpaを下回ると
誤嚥リスクが高くなると言われております。

F.O 様 98 歳 介護度 3

日付	Kpa	
7 / 6	7.7	初日
7 / 13	10.5	
7 / 20	体調不良	
7 / 27	体調不良	
8 / 3	11.0	
8 / 10	14.5	
8 / 17	14.0	
8 / 24	16.0	
9 / 7	21.0	
9 / 14	22.0	
9 / 21	19.5	
10 / 5	20.0	3ヶ月後

舌圧測定 (Kpa)

K.T 様 89 歳 介護度 3

日付	Kpa	
7 / 6	7.0	初日
7 / 13	20.5	
7 / 20	25.5	
7 / 27	22.0	
8 / 3	21.5	
8 / 10	20.5	
8 / 17	25.5	
8 / 24	25.5	
9 / 7	25.5	
9 / 14	28.0	
9 / 21	28.0	
9 / 28	35.5	3ヶ月後

舌圧測定 (Kpa)

約3ヶ月(毎日1回)のトレーニングで、
舌圧力が上がる事がわかりました。
※効果には個人差があります。

舌圧が大きく上昇

各3,982円(税別)

「タン練くん」は医療機器ではありません。

歯科医療経験30年の挑戦

30年の歯科医療経験とともに、特別養護老人ホームを開設しております。その中で、誤嚥による死亡者が脳血管障害を抜いて3位に上昇している原因を研究してまいりました。吸い口に特徴のある老人用哺乳瓶で水分及び栄養分を摂取しながら咽頭蓋を動かす筋群、じん帯を鍛える製品は今までになく、この「タン練くん」(嚥下カトレーニングボトル)は、食べる・飲むということの強化をはかる飲料器具です。

歯科医師 特別養護老人ホーム経営
笠原直樹



製造元

ReHEARTTEK[®]

販売元

和田精密歯研株式会社

〒532-0002 大阪市淀川区東三国 1-12-15 辻本ビル 6 階
TEL ; (06) 4807-6700 FAX ; (06) 4807-6788

大阪歯科大学同窓会報（200号）

令和元年8月20日発行

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-17

大阪歯科大学同窓会

TEL：06-6910-1061

FAX：06-6943-1389

編集発行人 山口 邦夫

印刷所 株式会社 一心社

同窓会の歴史に関する資料収集へのご協力依頼について

大阪歯科大学同窓会は、2020年に同窓会設立100周年を迎えるにあたり、各種の記念事業を計画しております。

その中でも同窓会設立100周年記念誌の編纂事業は、大阪歯科大学同窓会の歴史の中で、同窓会が担ってきた役割を検証する重要な事業と位置づけて、同窓会の歴史に関する資料の収集・整理の準備を進めています。

つきましては、大阪歯科大学同窓会の歩みを正しく将来に継承するため、会員の先生方のご協力をお願いいたします。

ご寄贈いただける資料などをお持ちの方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

例えば、卒業アルバムについても欠落している卒回のものがあります。また、戦時下の資料などは、ほとんど保存されておらず、情報収集が困難で大阪府同窓会においては、歴代の支部長の在任期間も定かでなく確認できません。

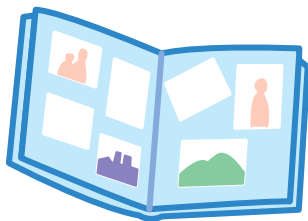
卒業アルバム（欠落している卒回）

専門1～3、専門6、専門8～9、専門18、専門23～25、
専門27～30、
大学1～3、大学5～8、大学10～13、大学15～17、大学19～20、
大学22、大29、大50～54、大57～58、大63～66

その他に

- 学生時代の写真、日記（記録）
- クラブ会報・記念誌
- クラブOB活動（課外活動）
- 県人会、地方会
- 記念品、グッズ 等々

このような同窓会に纏わる関係資料や情報をお持ちの方、あるいはお心当りのある方は、是非、事務局までご一報下さいますよう、ご支援とご協力をお願いいたします。



＜連絡先＞ 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-17
大阪歯科大学同窓会事務局
TEL 06-6910-1061
FAX 06-6943-1389
Mail dousou@cc.osaka-dent.ac.jp



大阪歯科大学 同窓会事務局

〒540-0008

大阪市中央区大手前1-5-17 天満橋学舎西館 7階

TEL : 06-6910-1061 FAX : 06-6943-1389

<http://www.osakadent-dousou.jp>